

## 学生の確保の見通し等を記載した書類（別添資料）

### 資料目次

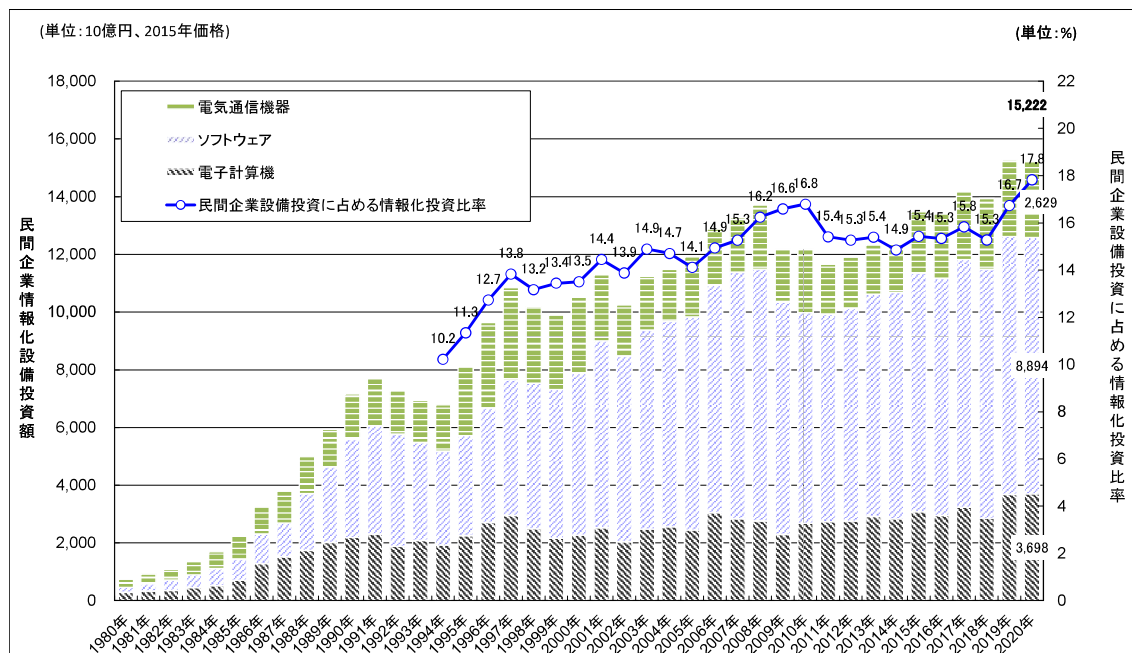
- 資料 1 ICT の経済分析に関する調査（一部抜粋）
- 資料 2 情報通信白書(令和 3 年版)（一部抜粋）
- 資料 3 日米における DX への取組状況
- 資料 4 国内・事業会社の IT 人材の「量」に対する過不足感
- 資料 5 第 144 回京都市中小企業経営動向実態調査（一部抜粋）
- 資料 6 IT 人材需給に関する調査（一部抜粋）
- 資料 7 国内・事業会社の IT 人材の「質」に対する過不足感
- 資料 8 IT 人材需給に関する調査（一部抜粋）
- 資料 9 第 1 回未来人材会議（一部抜粋）
- 資料 10 AI 等先端技術領域に関する社員の学び直しの方針
- 資料 11 近隣他大学情報系研究科納付金
- 資料 12 設置構想についての進学意向アンケート調査報告書
- 資料 13 全国の情報系学部の入学志願者・入学者動向
- 資料 14 京都・滋賀・大阪地区の私立大学情報系学部・学科 入学志願者の推移
- 資料 15 学部 4 年次の学生を対象とした大学院進学動向及び経済的な支援に関する調査（一部抜粋）
- 資料 16 我が国における IT 人材の動向（一部抜粋）
- 資料 17 第 144 回京都市中小企業経営動向実態調査（一部抜粋）
- 資料 18 近隣他大学情報系研究科入学定員および入学者数
- 資料 19 京都橘大学情報工学科入学者数等の推移
- 資料 20 第 11 回全国院生生活実態調査（一部抜粋）
- 資料 21 設置構想についての人材需要アンケート調査報告書
- 資料 22 情報通信白書(令和 4 年版)（一部抜粋）
- 資料 23 データで見る世界の IT エンジニアレポート（一部抜粋）
- 資料 24 情報通信白書(令和 4 年版)（一部抜粋）
- 資料 25 国内情報通信業の外国人雇用事業所数及び外国人労働者数

## 2. 日米の情報化投資の動向

### 2.1. 日本の情報化投資

2020年の我が国民間部門による電子計算機・同付属装置、電気通信機器、ソフトウェアに対する情報化投資額は約15.2兆円(2015年基準実質値)となっており、2019年の約15.3兆円より0.4%の減少となった。情報化投資の種類別では、ソフトウェア(受託開発及びパッケージソフト)が約8.9兆円(前年比0.5%減)となり、全体の約3分の2を占めるまでになっている。また、電子計算機・同付属装置の投資額は約3.7兆円(前年比0.5%増)、電気通信機器の投資額は約2.6兆円(前年比1.2%減)となっている。我が国のICT投資は、ハードウェア投資からソフトウェア投資へとシフトしてきていることが分かる(図表1-9)。

図表1-9 日本の情報化投資の推移



注)データの詳細については、付属資料 1.情報化投資(日本)を参照されたい。

これら情報化投資が民間企業設備投資に占める比率は、2020年時点で17.8%となった。2018年が15.3%、2019年が16.7%であり、設備投資の中でも情報化投資が占める割合は増加している(図表1-9)。

日本のGDPに占める情報化投資の比率に関しては2020年時点で2.9%となり、2018年の2.5%、2019年の2.8%と比較して増加傾向にある。一方で、2019年から2020年にかけて我が国の実質GDPは減少しており、情報化投資(増加傾向)はGDP(減少傾向)と異なる動きを呈していることがわかる。ただし長期で見ると、おおよそ情報化投資の増加傾向はGDPと同じであると言える(付属資料 1.情報化投資(日本)より)。

概して我が国の情報化投資は、情報化以外も含めた民間設備投資や国内GDPの増加に応じた水準を保って推移していると言える。

### 3 国際指標でみる我が国のデジタル化

続いて、我が国のデジタル化に関する世界での位置付けについて、国際指標に基づいて概観する。

#### 1 国際指標におけるポジション

ここでは、国際競争力に関する指標として、国際経営開発研究所（以下「IMD<sup>\*26</sup>」という。）が公表するデジタル競争力ランキングと世界経済フォーラム（以下「WEF<sup>\*27</sup>」という。）が公表する国際競争力ランキングを取り上げる。

また、電子政府に関する指標として、国連経済社会局（UNDESA）が公表する世界電子政府ランキングと早稲田大学電子政府・自治体研究所が公表する世界デジタル政府ランキングを取り上げる。

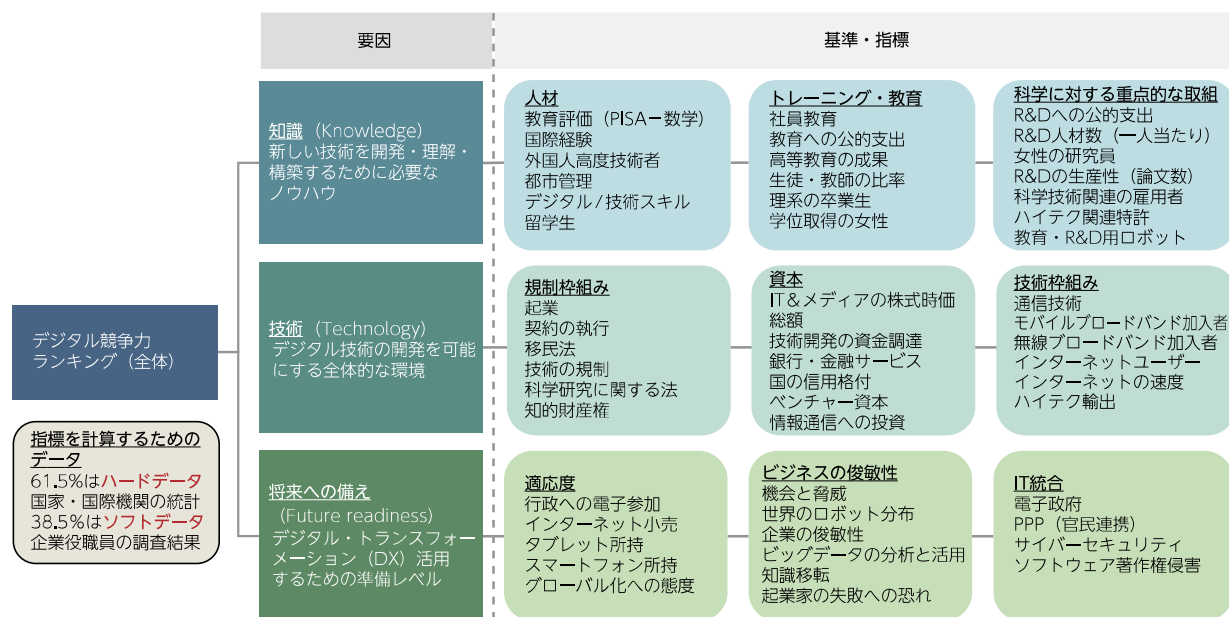
#### ア デジタル競争力ランキング (IMD)

##### (ア) 概要

デジタル競争力ランキングとは、IMDが策定・公表しているデジタル競争力に関する国際指標であり、国によるデジタル技術の開発・活用を通じ、政策、ビジネスモデル及び社会全般の変革をもたらす程度を分析し、点数とランクを付けている<sup>\*28</sup>。

デジタル競争力ランキングでは、デジタル競争力に影響を与える要因を「知識」、「技術」及び「将来への備え」の3つに分類し、各要因に関する52の基準・指標に基づいて算出される（図表0-1-3-1）。

図表0-1-3-1 デジタル競争力ランキングの基準・指標の詳細



(出典) 総務省 (2021)「ポストコロナの経済再生に向けたデジタル活用に関する調査研究」

\*26 International Institute for Management Development

\*27 World Economic Forum

\*28 国家・国際機関の統計及び企業役員への調査結果に基づき、測定。

(イ) 総合評価

2020年のデジタル競争力ランキングでは、米国が3年連続1位で、シンガポールが2位、デンマークが3位と続いている(図表0-1-3-2)。上位国には、欧米だけではなく、2位にシンガポール、5位に香港、8位に韓国となっている。

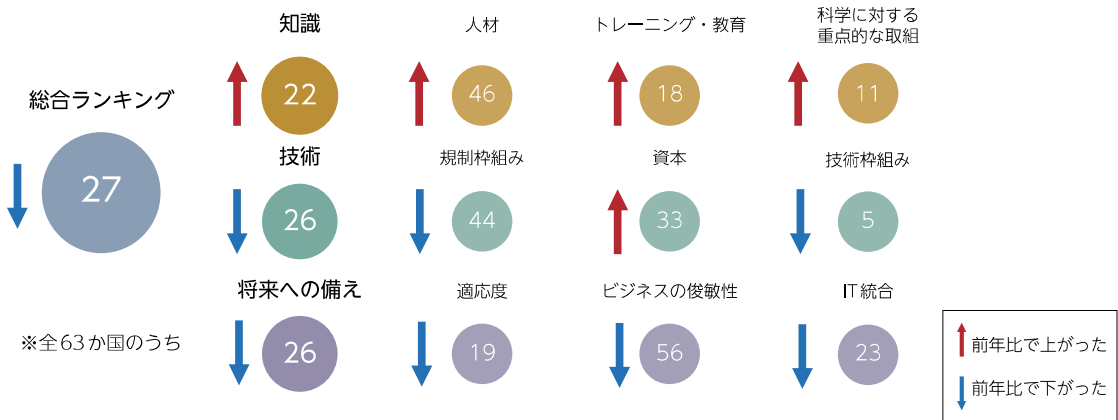
このようにアジアの国・地域も上位を占める中、我が国の順位は、ここ数年低下傾向にあり、2020年は、前年に比べて4位下がり、63か国・地域のうち27位となっている(図表0-1-3-3)。また、要因ごとに見ると、いずれもここ数年20位前後となっているが、特に「技術」及び「将来への備え」の順位が近年低下傾向にある(図表0-1-3-4)。

**図表0-1-3-2 デジタル競争力ランキング2020の上位10か国**

順位	国・地域	順位	国・地域
1	アメリカ	6	スイス
2	シンガポール	7	オランダ
3	デンマーク	8	韓国
4	スウェーデン	9	ノルウェー
5	香港	10	フィンランド

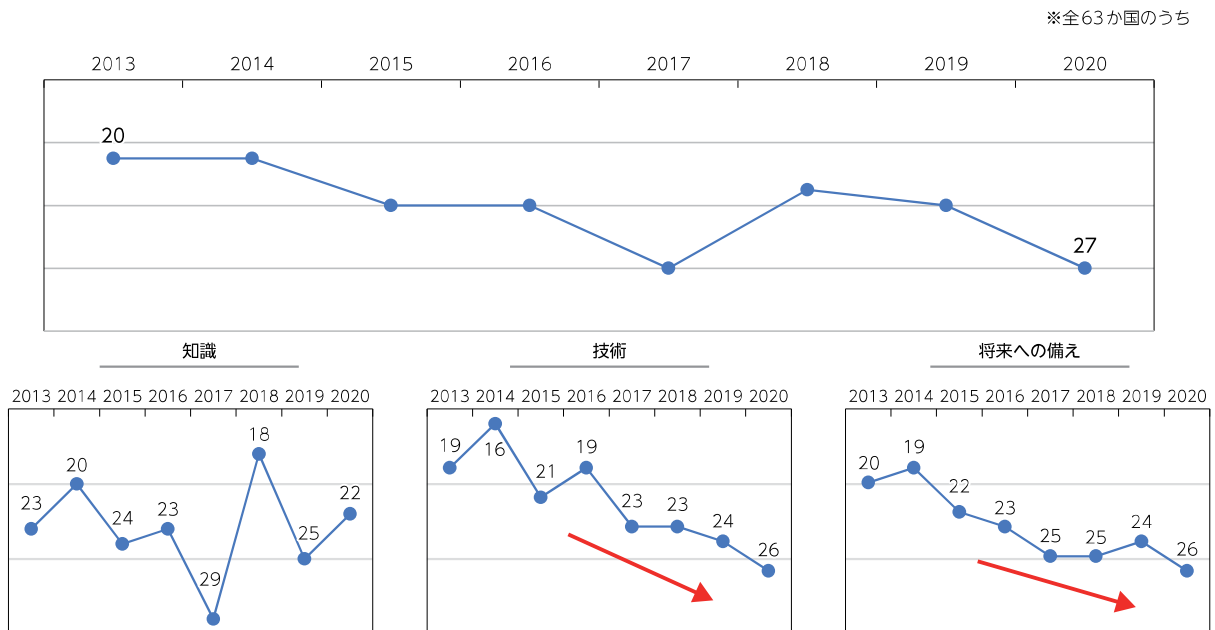
(出典) IMD World Digital Competitiveness Rankingを基に総務省作成

**図表0-1-3-3 デジタル競争力ランキングにおける我が国の順位 (2020)**



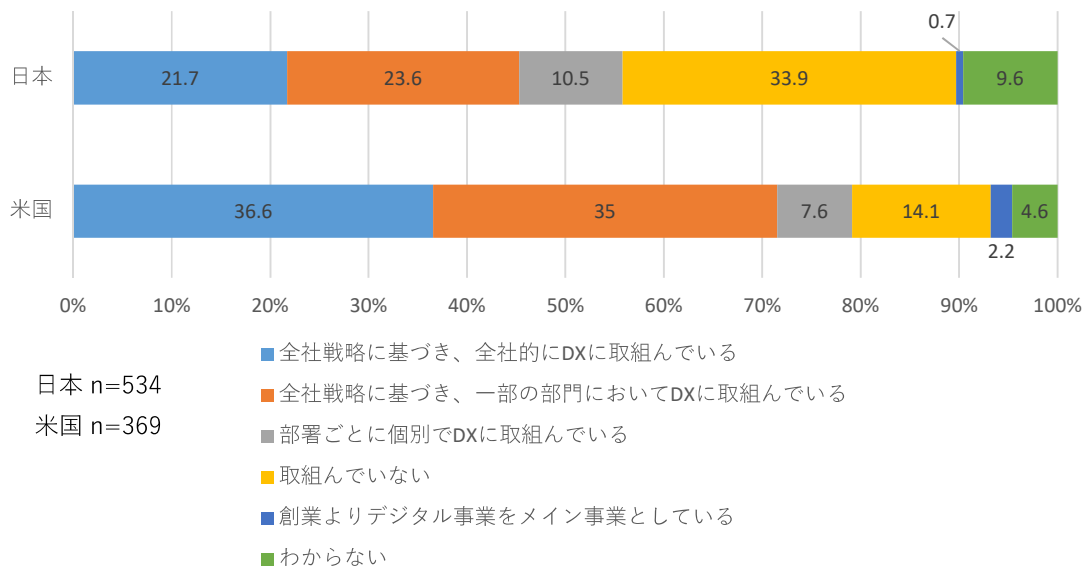
(出典) 総務省 (2021) 「ポストコロナの経済再生に向けたデジタル活用に関する調査研究」

**図表0-1-3-4 デジタル競争力ランキングにおける我が国の順位推移**



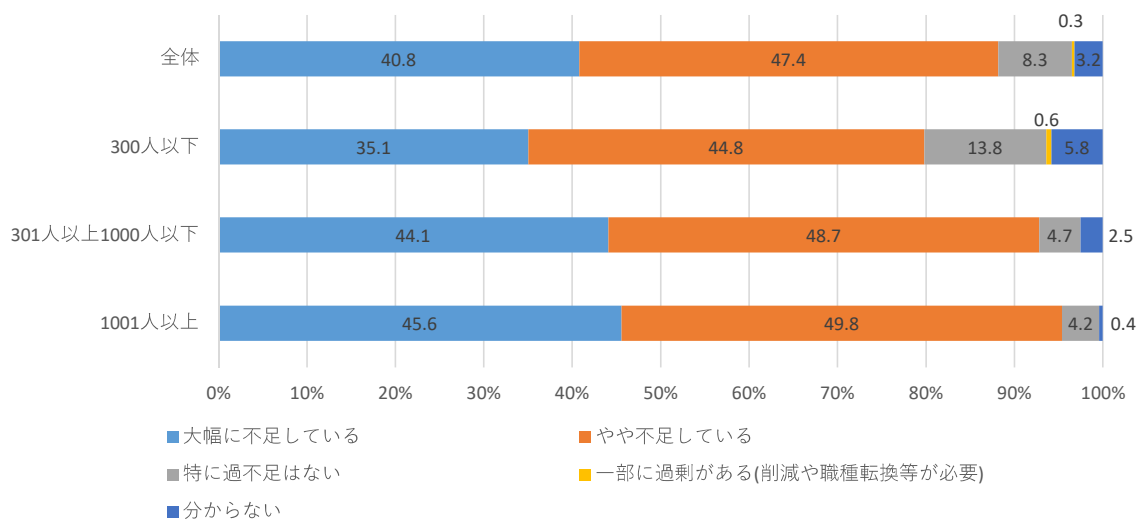
(出典) 総務省 (2021) 「ポストコロナの経済再生に向けたデジタル活用に関する調査研究」

### 資料3 日米におけるDXへの取組状況（DX白書2021より作成）



出典：独立行政法人情報処理推進機構「DX白書2021」（2021年）より作成

資料4 国内・事業会社のIT人材の「量」に対する過不足感（DX白書2021より作成）



全体 n=878

300人以下 n=362

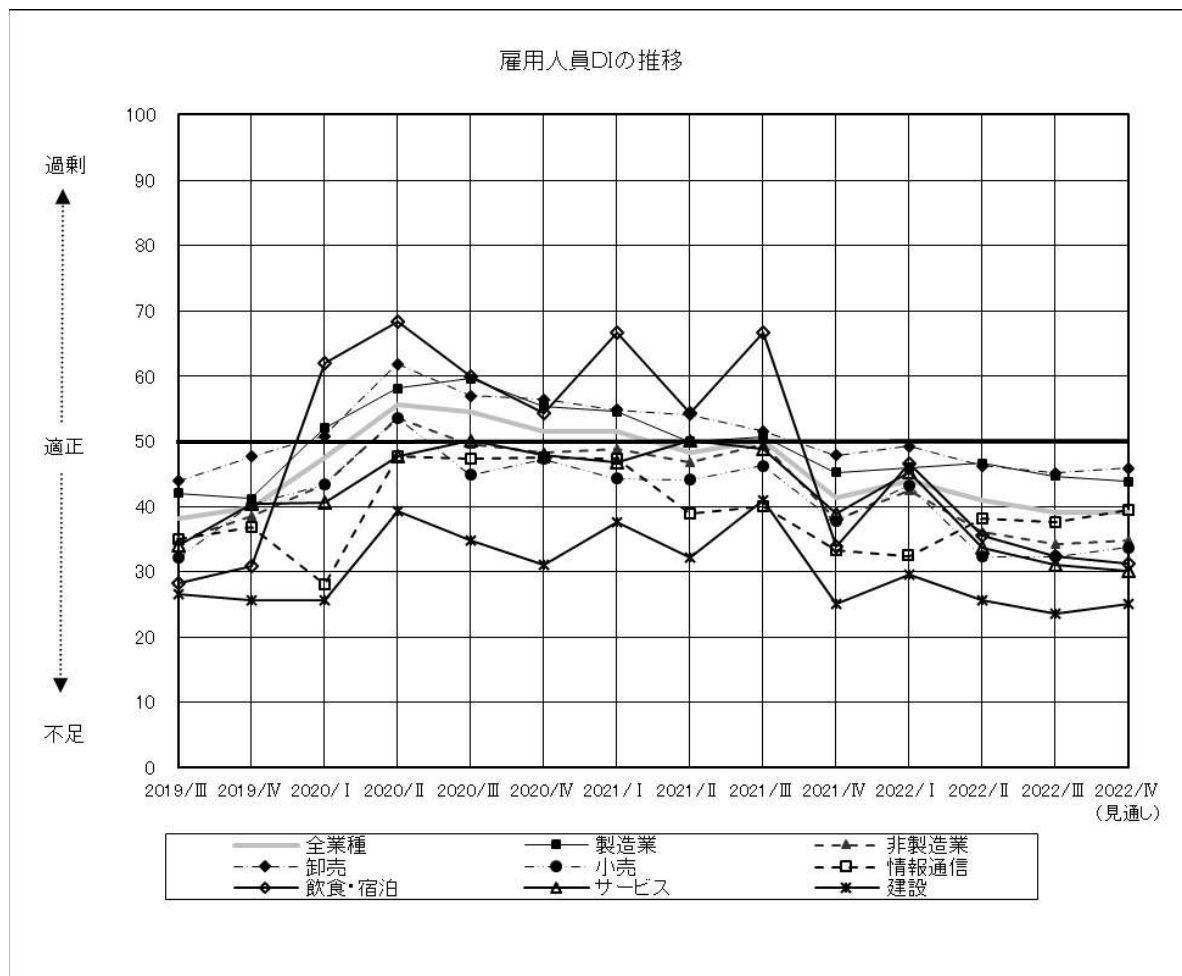
301人以上1000人以下 n=279

1001人以上 n=237

出典：独立行政法人情報処理推進機構「DX白書2021」（2021年）より作成

7. 雇用人員

図13. 雇用人員DIの推移(全体)



資料6 経済産業省「IT人材需給に関する調査」(2019年) ※抜粋

表 3-6 IT人材の需要と供給の差(需給ギャップ)の推移

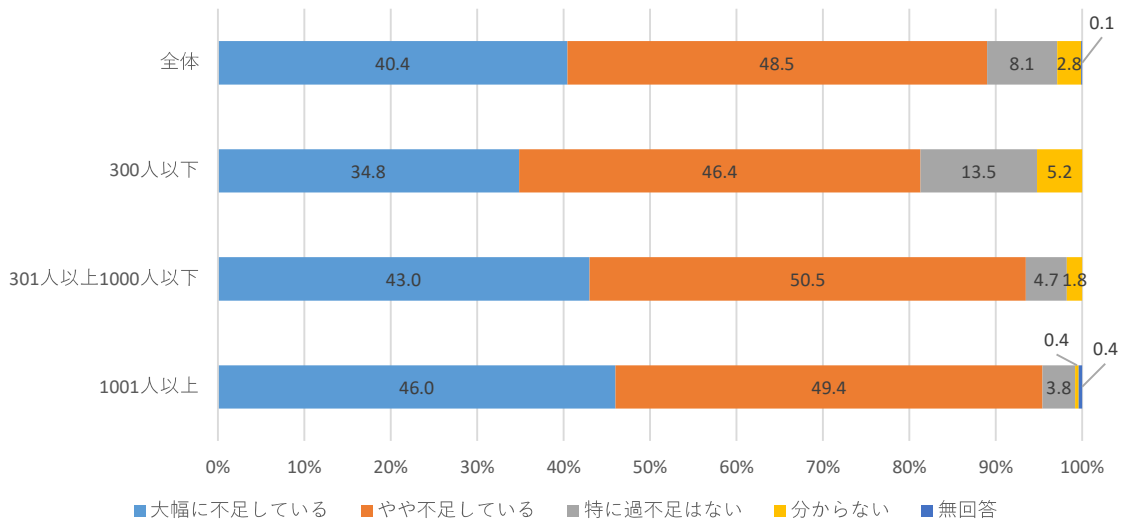
No.	IT 需要	生産性上昇率	需要と供給の差(需給ギャップ)			
			2018年	2020年	2025年	2030年
1	1% (低位)	0.7%	22.0万人	19.9万人	16.8万人	16.4万人
2		2.4%		15.7万人	2.6万人	△7.2万人
3		需給ギャップゼロ:1.84%		17.1万人	7.1万人	0万人
4	2~5% (中位)	0.7%	22.0万人	30.4万人	36.4万人	44.9万人
5		2.4%		25.9万人	20.1万人	16.1万人
6		需給ギャップゼロ:3.54%		23.0万人	10.3万人	0万人
7	3~9% (高位)	0.7%	22.0万人	41.2万人	58.4万人	78.7万人
8		2.4%		36.4万人	39.7万人	43.8万人
9		需給ギャップゼロ:5.23%		28.9万人	13.5万人	0万人

無印: 需要数>供給数、△: 供給数>需要数

(出所) 試算結果をもとにみずほ情報総研作成



資料7 国内・事業会社のIT人材の「質」に対する過不足感（DX白書2021より作成）



全体 n=878  
 300人以下 n=362  
 301人以上1000人以下 n=279  
 1001人以上 n=237

出典：独立行政法人情報処理推進機構「DX白書2021」（2021年）より作成

資料8 経済産業省「IT人材需給に関する調査」(2019年) ※抜粋

表 3-10 2030年時点の先端IT人材・従来型IT人材の需要と供給の差(需給ギャップ)

IT 需要の 伸び	生産性の 上昇率 <small>※需給ギャップゼロ</small>	Re スキル率						IT 人材全体
		1.0%固定		2.0%固定		IT 需要連動		
		先端 IT 人材	従来型 IT 人材	先端 IT 人材	従来型 IT 人材	先端 IT 人材	従来型 IT 人材	
1% (低位)	0.7%	<b>38.4 万人</b>	△22.0 万人	<b>28.8 万人</b>	△12.4 万人	10.7 万人	5.7 万人	16.4 万人
	2.4%	<b>25.0 万人</b>	△32.2 万人	<b>15.4 万人</b>	△22.6 万人	△2.6 万人	△4.6 万人	△7.2 万人
	※1.84%	<b>29.1 万人</b>	△29.1 万人	<b>19.5 万人</b>	△19.5 万人	<b>1.4 万人</b>	△1.4 万人	0 万人
2~5% (中位)	0.7%	<b>54.5 万人</b>	△9.7 万人	<b>44.9 万人</b>	0.0 万人	26.9 万人	18.0 万人	44.9 万人
	2.4%	<b>38.2 万人</b>	△22.1 万人	<b>28.6 万人</b>	△12.5 万人	10.6 万人	5.5 万人	16.1 万人
	※3.54%	<b>29.1 万人</b>	△29.1 万人	19.5 万人	19.5 万人	<b>1.4 万人</b>	△1.4 万人	0 万人
3~9% (高位)	0.7%	73.7 万人	5.0 万人	64.1 万人	14.6 万人	46.0 万人	32.7 万人	78.7 万人
	2.4%	<b>53.9 万人</b>	△10.1 万人	<b>44.3 万人</b>	△0.5 万人	26.2 万人	17.5 万人	43.8 万人
	※5.23%	<b>29.1 万人</b>	△29.1 万人	19.5 万人	19.5 万人	<b>1.4 万人</b>	△1.4 万人	0 万人

(注1) ※は、2030年時点でIT人材の需給ギャップをゼロにするための生産性の上昇率

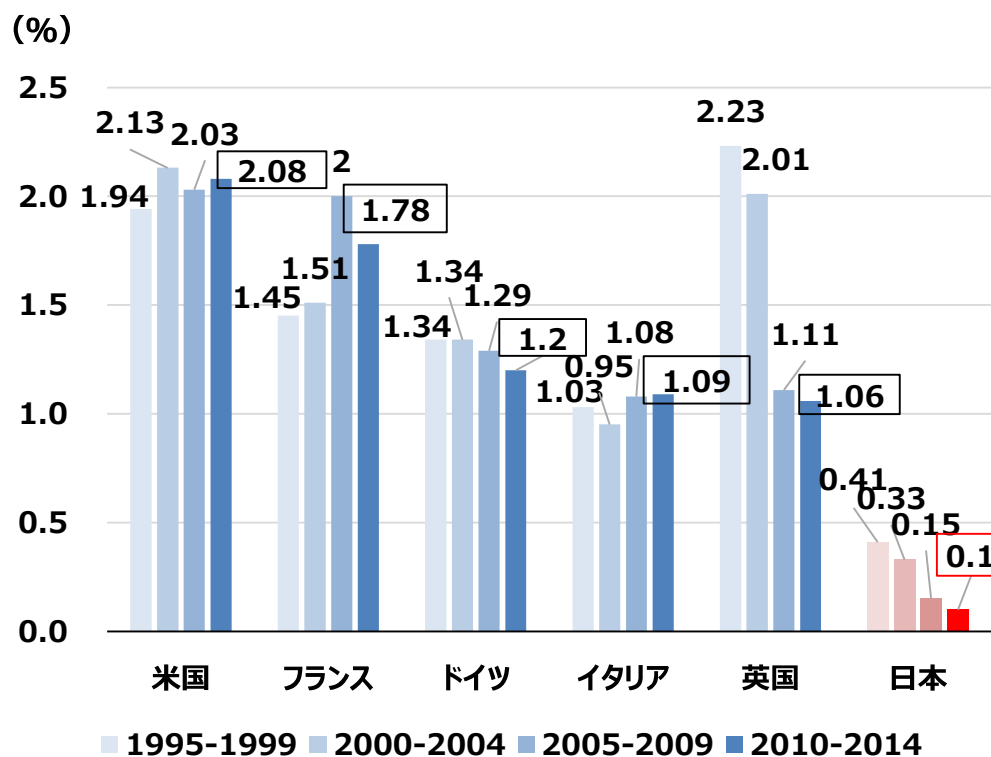
(注2) 需給ギャップに関しては、無印：需要数>供給数、△：供給数>需要数

(出所) 試算結果をもとにみずほ情報総研作成

## 企業の人材投資や個人の社外学習等の国際比較

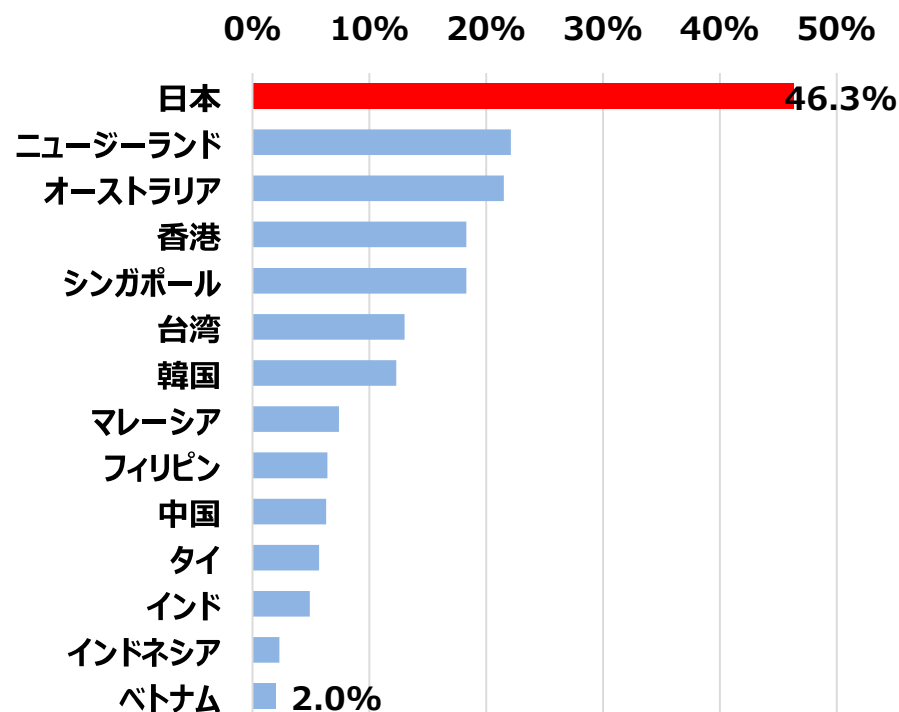
- 日本企業のOJT以外の人材投資（GDP比）は、諸外国と比較して最も低く、低下傾向。
- 社外学習・自己啓発を行っていない個人の割合は半数近くで、諸外国と比較しても不十分。

### 人材投資（OJT以外）の国際比較（GDP比）



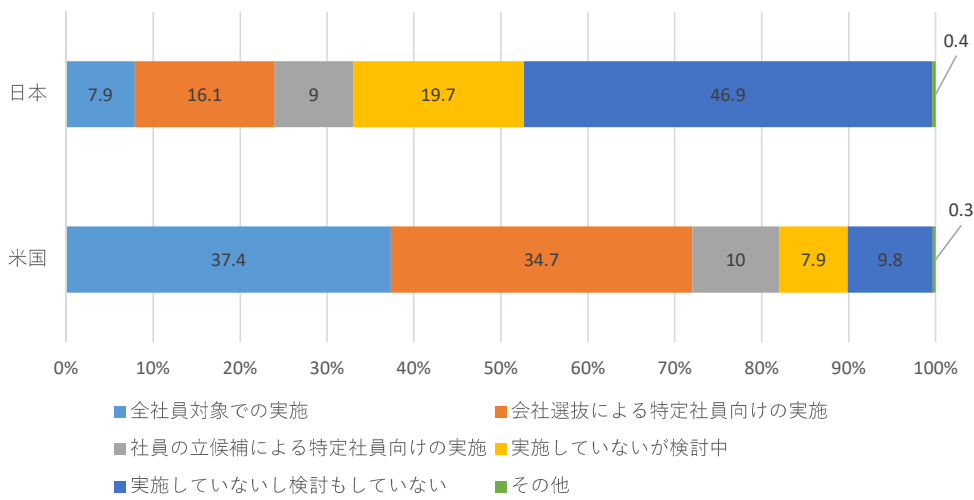
(出所) 厚生労働省「平成30年版 労働経済の分析」を基に経済産業省が作成。

### 社外学習・自己啓発を行っていない人の割合



(出所) パーソル総合研究所「APAC就業実態・成長意識調査（2019年）」を基に経済産業省が作成。

### 資料10 AI等先端技術領域に関する社員の学び直しの方針（DX白書2021より作成）



日本 n=533

米国 n=369

出典：独立行政法人情報処理推進機構「DX白書2021」（2021年）より作成

資料11\_近隣他大学情報系研究科納付金

大学	研究科	専攻	初年次				2年次				2年間総計	学費の卒業生免除				
			入学金	授業料	教育充実 施設費等	実験実習料	授業料	教育充実 施設費等	実験実習料	免除内容		初年次計	2年次計	免除者総計		
京都橋	情報学	情報学	200,000	650,000	150,000	0	1,000,000	650,000	150,000	0	800,000	1,800,000	-	-	-	-
京都産業	先端情報学	先端情報学	200,000	694,000	172,000	102,000	1,168,000	694,000	172,000	102,000	968,000	2,136,000	入学金半額	1,068,000	968,000	2,036,000
同志社	理工学	情報工学	200,000	844,000	155,000	0	1,199,000	1,044,000	155,000	0	1,199,000	2,398,000	入学金半額	1,099,000	1,199,000	2,298,000
立命館	情報理工	情報理工学	200,000	1,156,600	0	0	1,356,600	1,156,600	0	0	1,156,600	2,513,200	入学金全額	1,156,600	1,156,600	2,313,200
龍谷	理工	電子情報学	200,000	471,000	280,000	143,600	1,094,600	471,000	280,000	143,600	894,600	1,989,200	入学金5万円減額 施設費7万円減額	974,600	824,600	1,799,200
		情報メディア学	200,000	471,000	280,000	143,600	1,094,600	471,000	280,000	143,600	894,600	1,989,200	入学金5万円減額 施設費7万円減額	974,600	824,600	1,799,200
大阪学院	コンピュータ サイエンス	コンピュータ サイエンス	305,000	776,000	206,000	0	1,287,000	776,000	206,000	0	982,000	2,269,000	入学金半額	1,134,500	982,000	2,116,500
大阪工業	情報科学	情報科学	150,000	1,020,000	0	0	1,170,000	1,020,000	0	0	1,020,000	2,190,000	入学金半額	1,095,000	1,020,000	2,115,000
大阪産業	工学	情報システム工学	250,000	669,000	171,000	0	1,090,000	669,000	171,000	0	840,000	1,930,000	入学金10万円減額	965,000	840,000	1,805,000
大阪電気通信	総合情報学	総合情報学	100,000	900,000	0	150,000	1,150,000	900,000	0	150,000	1,050,000	2,200,000	-	1,150,000	1,050,000	2,200,000
関西	総合情報学	知識情報学	130,000	979,000	0	0	1,109,000	979,000	0	0	979,000	2,088,000	入学金全額	979,000	979,000	1,958,000
近畿	総合理工学	エレクトロニクス系 工学	200,000	950,000	0	0	1,150,000	1,000,000	0	0	1,000,000	2,150,000	入学金半額	1,050,000	1,000,000	2,050,000

他大学平均： 2,168,418

他大学平均： 2,044,555

京都橘大学大学院  
「情報学研究科（仮称・設置構想中）」  
設置に係る学生確保の見通し調査  
（設置構想についての進学意向アンケート調査）  
報告書

令和5年1月

株式会社紀伊國屋書店

株式会社高等教育総合研究所

京都橘大学大学院  
「情報学研究科(仮称・設置構想中)」  
設置に係る学生確保の見通し調査  
(設置構想についての進学意向アンケート調査)

報告書 目次

<b>進学意向アンケート調査Ⅰ(社会人等対象)</b>	<b>3</b>
1. 進学意向アンケート調査Ⅰ(社会人等対象)実施概要	4
2. 進学意向アンケート調査Ⅰ(社会人等対象)集計結果	5
3. 進学意向アンケート調査Ⅰ(社会人等対象)集計結果ポイント	10
<b>進学意向アンケート調査Ⅱ(京都橘大学工学部情報工学科在学生対象)</b>	<b>21</b>
1. 進学意向アンケート調査Ⅱ(京都橘大学工学部情報工学科在学生対象)実施概要	22
2. 進学意向アンケート調査Ⅱ(京都橘大学工学部情報工学科在学生対象)集計結果	23
3. 進学意向アンケート調査Ⅱ(京都橘大学工学部情報工学科在学生対象)集計結果ポイント	24
<b>添付資料</b>	<b>27</b>
進学意向アンケート調査Ⅰ(インターネット)実施画面	28
進学意向アンケート調査Ⅰ(紙)用紙	45
進学意向アンケート調査Ⅱ用紙	48
京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称・設置構想中)」概要資料	50
<b>参考資料</b>	<b>51</b>
進学意向アンケート調査Ⅰクロス集計表①	52
進学意向アンケート調査Ⅰクロス集計表②	53
進学意向アンケート調査Ⅰクロス集計表③	54
進学意向アンケート調査Ⅰクロス集計表④	55

進学意向アンケート調査 I  
(社会人等対象)



## 1. 進学意向アンケート調査 I (社会人等対象) 実施概要

調査対象	京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科(仮称・設置構想中)」への進学需要測定のために、京都府および近隣地域在住の20～50代の社会人等(一部、学生を含む)を対象とし、進学意向アンケート調査を実施した。
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●回答者の基本情報(居住地、性別、年代、職業・現在の状況、最終学歴および学問分野、在職中の場合に従事する業種・職種)</li> <li>●京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称・設置構想中)」への受験・入学意向(入学意向がある場合、研究科開設時の2024年4月・2025年4月以降・未定から選択)</li> </ul> 全13問ですべて選択肢式。
調査時期	令和4(2022)年10月～11月
調査方法	①上記・調査対象の条件を満たす者を対象にインターネットアンケートを実施(アンケート実施協力:株式会社クロス・マーケティング) ②京都橘大学近隣企業10社(支社を含む)に勤務する社会人にアンケート用紙・京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称・設置構想中)」概要を配布の上、回答済アンケート用紙を郵送受領(アンケート配布・回収:京都橘大学)  ※①②の重複回答を避けるため、3ヶ月以内に京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称・設置構想中)」に関連するアンケート回答の有無を問1で確認。回答履歴がある場合は、無効とした。 ※①②では設問順が一部異なる(内容は同じ)だが、次頁以降の集計は①の順とした。
回答件数	有効回答数2,099人

## 2. 進学意向アンケート調査 I（社会人等対象）集計結果

Q1 あなたは過去3ヵ月以内に、京都橘大学大学院「情報学研究科（仮称）」の進学意向についてのアンケート調査に回答されたことはありますか。（あてはまるもの1つを選択）

選択肢		回答数	構成比
1	いいえ	2,099	100.0%
2	はい	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		2,099	100.0%

Q2 あなたが現在お住まいの都道府県をお答えください。（あてはまるもの1つを選択）

選択肢		回答数	構成比
1	北海道	0	0.0%
2	青森県	0	0.0%
3	岩手県	0	0.0%
4	宮城県	0	0.0%
5	秋田県	0	0.0%
6	山形県	0	0.0%
7	福島県	0	0.0%
8	茨城県	0	0.0%
9	栃木県	0	0.0%
10	群馬県	0	0.0%
11	埼玉県	0	0.0%
12	千葉県	0	0.0%
13	東京都	0	0.0%
14	神奈川県	0	0.0%
15	新潟県	0	0.0%
16	富山県	0	0.0%
17	石川県	0	0.0%
18	福井県	20	1.0%
19	山梨県	0	0.0%
20	長野県	0	0.0%
21	岐阜県	80	3.8%
22	静岡県	0	0.0%
23	愛知県	512	24.4%
24	三重県	74	3.5%
25	滋賀県	80	3.8%
26	京都府	245	11.7%
27	大阪府	568	27.1%
28	兵庫県	385	18.3%
29	奈良県	88	4.2%
30	和歌山県	46	2.2%
31	鳥取県	0	0.0%
32	島根県	0	0.0%
33	岡山県	0	0.0%
34	広島県	0	0.0%
35	山口県	0	0.0%
36	徳島県	0	0.0%
37	香川県	0	0.0%
38	愛媛県	0	0.0%
39	高知県	0	0.0%
40	福岡県	0	0.0%
41	佐賀県	0	0.0%
42	長崎県	0	0.0%
43	熊本県	0	0.0%
44	大分県	0	0.0%
45	宮崎県	0	0.0%
46	鹿児島県	0	0.0%
47	沖縄県	0	0.0%
	無回答	1	0.0%
合計		2,099	100.0%

Q3 あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つを選択）

選択肢		回答数	構成比
1	男性	1,306	62.2%
2	女性	793	37.8%
	無回答	0	0.0%
合計		2,099	100.0%

Q4\_1 あなたの年齢をお答えください。

選択肢		回答数	構成比
1	10代	0	0.0%
2	20代	169	8.1%
3	30代	441	21.0%
4	40代	802	38.2%
5	50代	686	32.7%
	無回答	1	0.0%
合計		2,099	100.0%

※社会人向けネットアンケートでは年齢の入力を求めた。上記は年代別に分類した結果。

Q5 あなたの現在の状況についてお答えください。（あてはまるもの1つを選択）

選択肢		回答数	構成比
1	大学1年生	0	0.0%
2	大学2年生	0	0.0%
3	大学3年生	13	0.6%
4	大学4年生以上	20	1.0%
5	大学院生	9	0.4%
6	その他の学生	0	0.0%
7	在職中	1,242	59.2%
8	主婦	261	12.4%
9	無職	126	6.0%
10	その他（学生以外）	428	20.4%
	無回答	0	0.0%
合計		2,099	100.0%

Q6 あなたの最終学歴をお答えください。（あてはまるもの1つを選択）

選択肢		回答数	構成比
1	中学校	0	0.0%
2	高等学校	22	1.0%
3	短期大学	16	0.8%
4	高等専門学校	0	0.0%
5	専門学校	6	0.3%
6	大学（学部）	1,786	85.1%
7	大学院（修士）	177	8.4%
8	大学院（博士）	51	2.4%
	無回答	41	2.0%
合計		2,099	100.0%

Q7・Q8はQ5で「在職中」の場合に回答を求めた（対象は1,242人）。

Q7 あなたの現在の勤務先の業種をお答えください。（あてはまるもの1つを選択）

	選択肢	回答数	構成比
1	農業、林業、漁業、鉱業	5	0.4%
2	建設業	76	6.1%
3	電気、ガス、熱供給、水道業	18	1.4%
4	製造業	330	26.6%
5	通信業	13	1.0%
6	IT関連業	68	5.5%
7	放送、新聞、出版業	5	0.4%
8	運輸業、郵便業	44	3.5%
9	金融業（銀行・信託・証券・貸金）	63	5.1%
10	保険業	20	1.6%
11	卸売業、小売業	122	9.8%
12	学術研究、専門・技術サービス	36	2.9%
13	不動産業、物品賃貸業	32	2.6%
14	宿泊業、飲食サービス業	24	1.9%
15	教育、学習支援業（教育機関以外）	32	2.6%
16	生活関連サービス業、娯楽業	21	1.7%
17	医療、福祉	97	7.8%
18	その他サービス業	78	6.3%
19	教育機関（大学）	23	1.9%
20	教育機関（大学以外）	28	2.3%
21	国家公務	7	0.6%
22	地方公務	39	3.1%
23	非営利団体	10	0.8%
24	その他	49	3.9%
	無回答	2	0.2%
	合計	1,242	100.0%

Q8 あなたが現在従事する職種をお答えください。（あてはまるもの1つを選択）

	選択肢	回答数	構成比
1	経営	78	6.3%
2	営業	191	15.4%
3	事務	292	23.5%
4	企画	29	2.3%
5	サービス・販売	108	8.7%
6	専門職	111	8.9%
7	技術	141	11.4%
8	開発	58	4.7%
9	研究	23	1.9%
10	クリエイティブ	29	2.3%
11	教員	34	2.7%
12	その他	146	11.8%
	無回答	2	0.2%
	合計	1,242	100.0%

Q9 学生の方は在学中の、既卒の方は卒業された学部・研究科の学問分野をお答えください。  
(あてはまるもの1つを選択)

選択肢		回答数	構成比
1	文学	169	8.1%
2	語学・言語学	100	4.8%
3	史学・考古学	33	1.6%
4	哲学・倫理学	10	0.5%
5	心理学	50	2.4%
6	社会学	96	4.6%
7	国際関係学	31	1.5%
8	経済学	287	13.7%
9	経営学	127	6.1%
10	商学・会計学	102	4.9%
11	法学	171	8.1%
12	政治学	12	0.6%
13	教育学	63	3.0%
14	保育・児童学	7	0.3%
15	理学	66	3.1%
16	工学	256	12.2%
17	情報学	44	2.1%
18	医学	34	1.6%
19	歯学	6	0.3%
20	薬学	34	1.6%
21	看護・福祉	40	1.9%
22	食物・栄養学	27	1.3%
23	農学・水産学・獣医学	35	1.7%
24	芸術学	25	1.2%
25	体育・健康・保健科学	14	0.7%
26	ビジネス・マーケティング	4	0.2%
27	栄養・調理・製菓	3	0.1%
28	旅行・観光・ホテル・ブライダル	8	0.4%
29	美容・理容・ヘアメイク・メイク・ネイル・エステ	2	0.1%
30	アート・デザイン・写真	12	0.6%
31	ファッション・和裁	2	0.1%
32	ゲーム・マルチメディア・コンピュータ	4	0.2%
33	自動車・航空・宇宙	14	0.7%
34	建築・上木・インテリア	51	2.4%
35	その他	138	6.6%
	無回答	22	1.0%
	合計	2,099	100.0%

Q10 あなたは京都橋大学が設置構想中の大学院「情報学研究科(仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つを選択)

選択肢		回答数	構成比
1	受験したい	214	10.2%
2	受験しない	1,884	89.8%
	無回答	1	0.0%
	合計	2,099	100.0%

Q11はQ10で「受験したい」の場合に回答を求めた(対象は214人)。

Q11 あなたは京都橋大学が設置構想中の大学院「情報学研究科(仮称)」を受験した場合、進学したいと思いますか。(あてはまるもの1つを選択)

選択肢		回答数	構成比
1	合格した場合、進学したい(2024年度開設時)	65	30.4%
2	合格した場合、進学したい(2025年度以降)	38	17.8%
3	合格した場合、状況(勤務先の了解、経済状況等)によって進学したい	111	51.9%
	無回答	0	0.0%
	合計	214	100.2%

Q12・Q13はQ10で「受験しない」の場合に回答を求めた（対象は1,884人）。

Q12 あなたが京都橋大学が設置構想中の大学院「情報学研究科（仮称）」を「受験しない」とされた理由をお答えください。（あてはまるものすべてを選択）

	選択肢	回答数	回答率
1	大学院進学に興味はないから	1,103	58.5%
2	大学院進学に興味はあるが、関心のある専攻ではないから	163	8.7%
3	大学院進学に興味はあるが、他に進学を希望している大学院・研究科があるから	19	1.0%
4	京都橋大学大学院「情報学研究科（仮称）」に興味はあるが、更に詳細を知った上で検討したいから	20	1.1%
5	仕事や家事との両立が不安だから	349	18.5%
6	在学期卒業後は就職をしたいから	39	2.1%
7	現時点ではわからない	285	15.1%
8	その他	56	3.0%

Q13 大学院とは別に、情報系の分野で京都橋大学が社会人向け教育プログラムを実施する場合、受講したいと思いますか。（あてはまるもの1つを選択）

	選択肢	回答数	構成比
1	受講したい	32	1.7%
2	状況（勤務先の了解等）によって受講したい	323	17.1%
3	受講しない	1,499	79.6%
	無回答	30	1.4%
	合計	1,884	89.8%

### 3. 進学意向アンケート調査 I (社会人等対象) 集計結果ポイント

#### ①回答者の基本情報・1

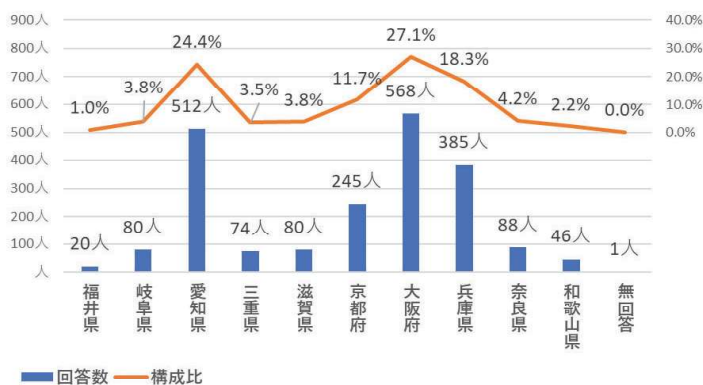
##### Point 1

京都橋大学所在地・京都府および隣接県・周辺県の社会人を中心とした2,099人が進学意向アンケート調査に回答。

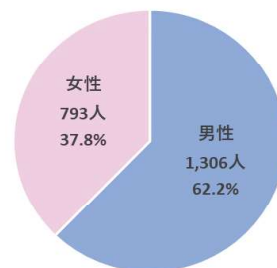
京都橋大学が設置構想中の大学院「情報学研究科(仮称・設置構想中)」への進学需要測定のために、進学意向アンケート調査を京都橋大学学内で実施し、2,099人から回答を得た。

回答者の居住地は京都橋大学所在地である「京都府」245人(11.7%)の他、京都府と隣接する「大阪府」568人(27.1%)、「兵庫県」385人(18.3%)、「奈良県」88人(4.2%)、「滋賀県」80人(3.8%)、「三重県」74人(3.5%)、「福井県」20人(1.0%)であった。以上で回答者全体のおよそ7割を占めた。その他、「愛知県」512人(24.4%)などの隣接県の居住者から回答を得た(グラフ I-1)。回答者の性別は「男性」1,306人(62.2%)、「女性」793人(37.8%)であった(グラフ I-2)。回答者の年代は「40代」802人(38.2%)が最も多く、他に「20代」169人(8.1%)、「30代」441人(21.0%)、「50代」686人(32.7%)であった(グラフ I-3)。回答者の現在の状況としては「在職中」1,242人(59.2%)が最も多く、他に「主婦」261人(12.4%)、「無職」126人(6.0%)、「その他(学生以外)」428人(20.4%)であった。以上、社会人・既卒者で回答者全体の9割以上を占めた。他に学生が42人いたが、全員が大学3年生以上(京都橋大学大学院「情報学研究科(仮称)」開設時に進学可能な者)を対象とした(グラフ I-4)。

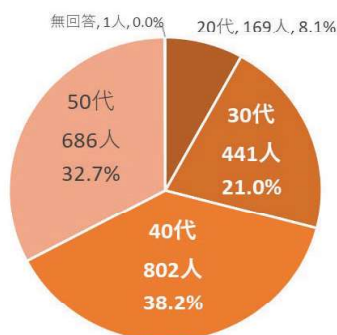
グラフ I-1：回答者の居住地



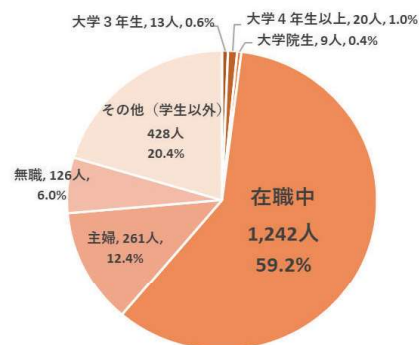
グラフ I-2：回答者の性別



グラフ I-3：回答者の年代



グラフ I-4：回答者の現在の状況



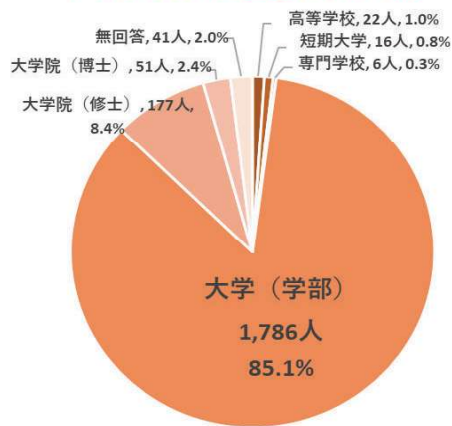
## ②回答者の基本情報・2

### Point 2

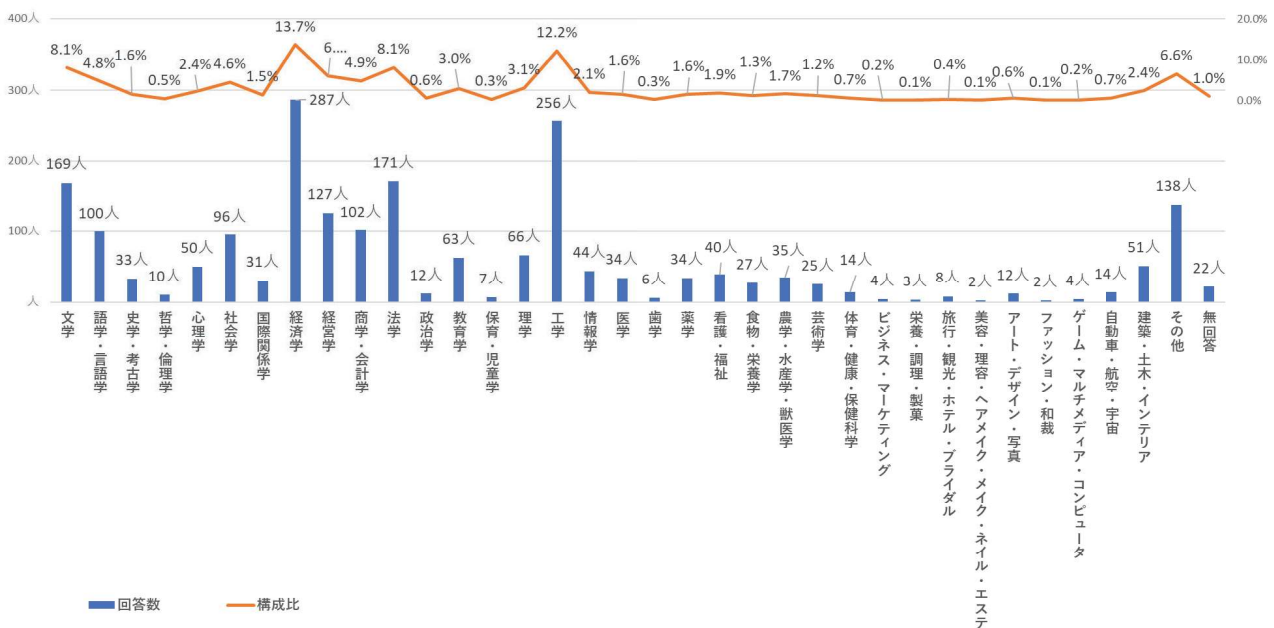
回答者の最終学歴は「大学(学部)」1,786人(85.1%)が最も多く、大卒以上が全体の96.0%。学問分野は「工学」256人(12.2%)で「理学」「情報学」との合計は366人(17.4%)。

回答者の最終学歴は「大学(学部)」が最も多く1,786人(85.1%)であった。次いで「大学院(修士)」177人(8.4%)、大学院(博士)」51人(2.4%)であった。大学以上卒業生・修了生で全体の96.0%を占める結果であった(グラフ I-5)。最終学歴における学問分野は「経済学」287人(13.7%)が最も多かった。次いで多かったのが「工学」256人(12.2%)であった。「理学」66人(3.1%)、「情報学」44人(2.1%)との合計は366人(17.4%)であった(グラフ I-6)。

グラフ I-5：回答者の最終学歴



グラフ I-6：回答者の最終学歴における学問分野





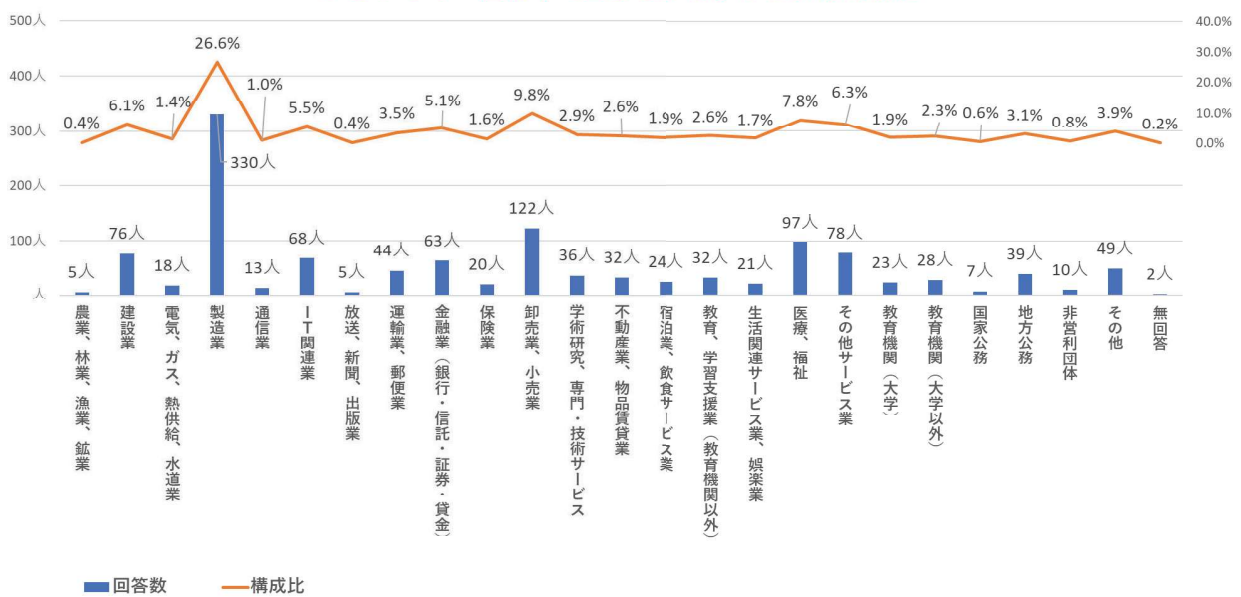
### ③回答者の基本情報・3

#### Point 3

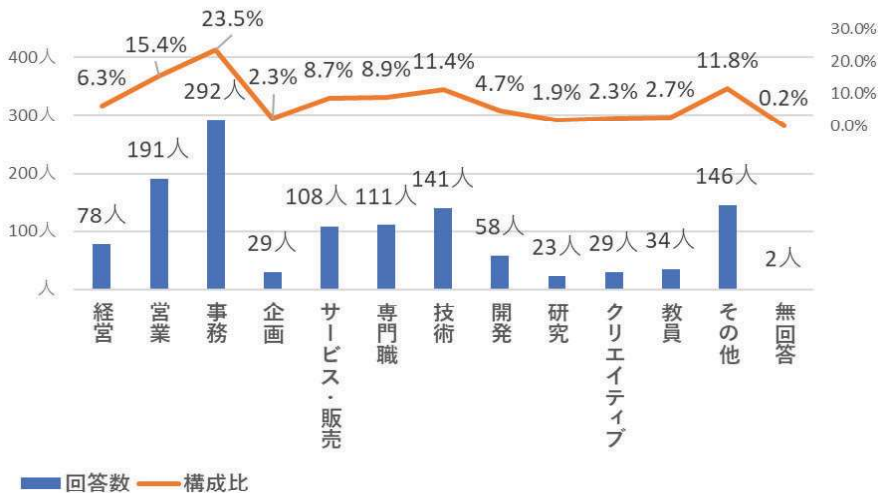
在職中の回答者が従事する勤務先業種として最も多いのは「製造業」330人(在職者の26.6%)他、IT・情報・通信関連81人(同6.5%)。職種が「技術」141人(11.4%)。

在職中の回答者が従事する勤務先業種として最も多かったのは「製造業」330人(在職中1,242人の26.6%/以下同様)、次いで「卸売業、小売業」122人(9.8%)であった。「IT関連業」68人(5.5%)、「通信業」13人(1.0%)で、IT・情報・通信関連は合計81人(6.5%)であった(グラフ I-7)。従事する職種として最も多かったのは「事務」292人(23.5%)であった。この他、「技術」141人(11.4%)であった(グラフ I-8)。

グラフ I-7：在職中の回答者が従事する勤務先業種



グラフ I-8：在職中の回答者が従事する職種



#### ④京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称・設置構想中)」への 受験・進学意向について・1

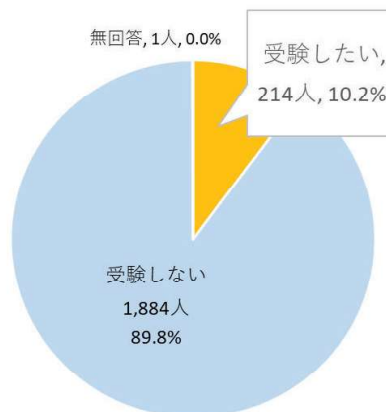
### Point 4

京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称)」を214人(10.2%)が「受験したい」とし、開設1年目の2024年度より入学定員10名を上回る65人の進学希望者が存在。

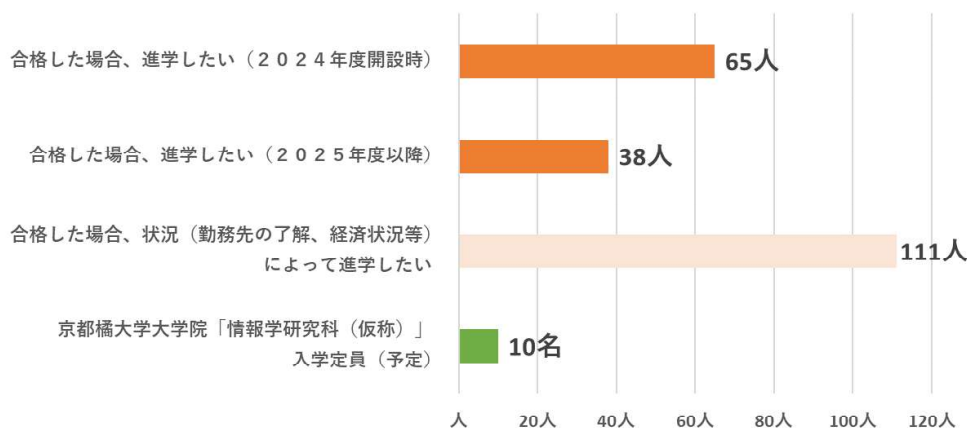
京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科(仮称・設置構想中)」の受験・進学意向について回答を求めた。

結果、「受験したい」としたのは214人(10.2%)がであった(グラフ I-9)。その上で「合格した場合、進学したい(2024年度開設時)」は65人おり、「情報学研究科(仮称)」の開設1年目より入学定員10名(予定)を上回る進学希望者がいた。また、「合格した場合、進学したい(2025年度以降)」が38人いることから、開設2年目以降も継続して学生確保が見込めることが明らかとなった。加えて、「合格した場合、状況(勤務先の了解、経済状況等)によって進学したい」も111人いることから、社会人が学びやすい環境整備に努めることでさらなる志願者確保が見込めることがうかがえる(グラフ I-10)。

グラフ I-9：回答者の京都橘大学大学院  
「情報学研究科(仮称)」受験意向



グラフ I-10：回答者の京都橘大学大学院  
「情報学研究科(仮称)」進学意向



## ⑤京都橋大学大学院「情報学研究科(仮称・設置構想中)」への受験・進学意向について・2(受験意向を示した回答者の属性)

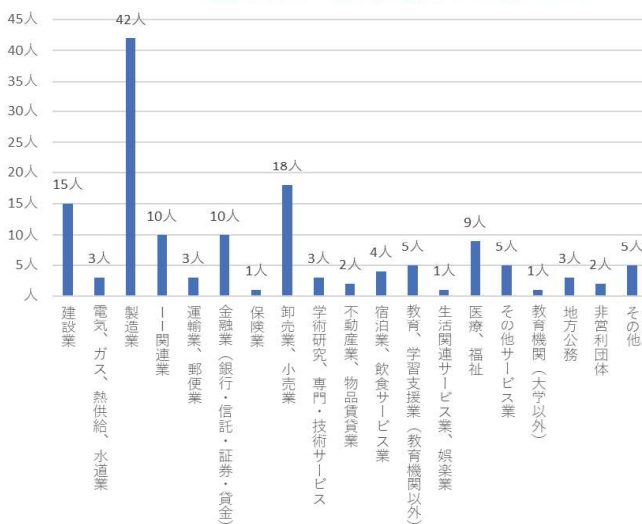
### Point 5

幅広い業種・職種に従事、あるいはさまざまな学問分野を学んだ層が京都橋大学大学院「情報学研究科(仮称)」に受験意向を示す。

京都橋大学大学院「情報学研究科(仮称)」を「受験したい」とした214人について現在の状況を見ると、多い順に「在職中」142人、「その他(学生以外)」36人、「主婦」16人となっている(次頁・表 I-1)。最も多い「在職中」142人が従事する業種は設問24種中19種に分布、職種は設問12種中11種に分布している。この点から、幅広い業種・職種から京都橋大学大学院「情報学研究科(仮称)」への関心が寄せられていることがうかがえる(グラフ I-11・I-12)。これは最終学歴の学問分野についても同様で、回答内容を確認すると設問35種中27種に分布しており、「工学」を学んだ者に留まらず幅広い層が情報学に関心を抱いていることがわかった(グラフ I-13/「在職中」以外の回答者を含む)。

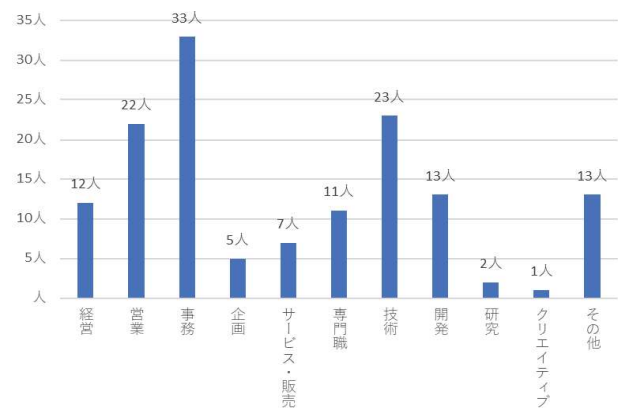
グラフ I-11: 京都橋大学大学院「情報学研究科(仮称)」

に受験意向を示す回答者(在職中)が勤務する業種



グラフ I-12: 京都橋大学大学院「情報学研究科(仮称)」

に受験意向を示す回答者(在職中)が従事する職種



グラフ I-13: 京都橋大学大学院「情報学研究科(仮称)」

に受験意向を示す回答者(全体)の最終学歴における専攻分野

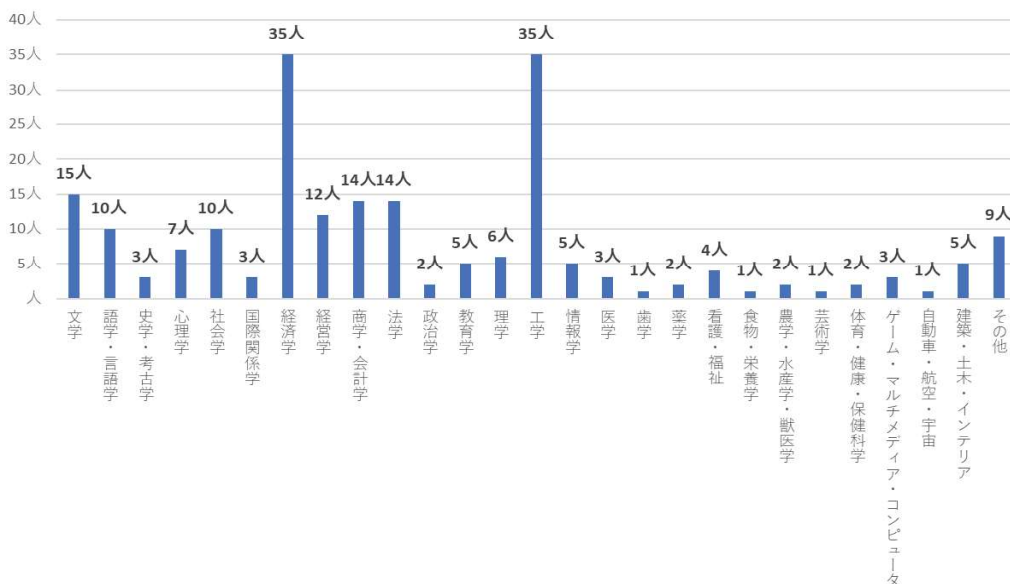


表 I-1 京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称)」に  
受験意向を示した回答者の属性

最終学歴	最終学歴の学問分野	現在の状況	在職中の場合、業種	職種
大学(学部)	法学	1 在職中	建設業	経営
大学(学部)	経済学	2 在職中	建設業	営業
大学(学部)	経済学	3 在職中	建設業	営業
大学院(修士)	工学	4 在職中	建設業	営業
高等学校	(高等学校卒)	5 在職中	建設業	営業
大学(学部)	法学	6 在職中	建設業	事務
短期大学	建築・土木・インテリア	7 在職中	建設業	事務
大学(学部)	工学	8 在職中	建設業	専門職
専門学校	建築・土木・インテリア	9 在職中	建設業	専門職
大学(学部)	工学	10 在職中	建設業	技術
大学(学部)	工学	11 在職中	建設業	技術
大学(学部)	工学	12 在職中	建設業	技術
大学(学部)	工学	13 在職中	建設業	技術
高等学校	(高等学校卒)	14 在職中	建設業	技術
大学院(修士)	工学	15 在職中	建設業	開発
大学(学部)	工学	16 在職中	電気、ガス、熱供給、水道業	技術
大学(学部)	工学	17 在職中	電気、ガス、熱供給、水道業	開発
大学(学部)	心理学	18 在職中	電気、ガス、熱供給、水道業	その他
大学(学部)	経済学	19 在職中	製造業	経営
大学(学部)	経営学	20 在職中	製造業	経営
大学(学部)	商学・会計学	21 在職中	製造業	経営
大学(学部)	文学	22 在職中	製造業	営業
大学(学部)	文学	23 在職中	製造業	営業
大学(学部)	商学・会計学	24 在職中	製造業	営業
大学(学部)	工学	25 在職中	製造業	営業
大学(学部)	その他	26 在職中	製造業	営業
高等学校	(高等学校卒)	27 在職中	製造業	営業
大学(学部)	社会学	28 在職中	製造業	事務
大学(学部)	社会学	29 在職中	製造業	事務
大学(学部)	経済学	30 在職中	製造業	事務
大学(学部)	経済学	31 在職中	製造業	事務
大学(学部)	経済学	32 在職中	製造業	事務
大学(学部)	経済学	33 在職中	製造業	事務
短期大学	商学・会計学	34 在職中	製造業	事務
大学(学部)	理学	35 在職中	製造業	事務
大学(学部)	工学	36 在職中	製造業	事務
大学(学部)	工学	37 在職中	製造業	事務
大学(学部)	心理学	38 在職中	製造業	企画
大学(学部)	社会学	39 在職中	製造業	企画
大学(学部)	経済学	40 在職中	製造業	企画
大学(学部)	社会学	41 在職中	製造業	専門職
大学(学部)	文学	42 在職中	製造業	技術
大学院(修士)	国際関係学	43 在職中	製造業	技術
大学(学部)	経済学	44 在職中	製造業	技術
大学(学部)	工学	45 在職中	製造業	技術
大学(学部)	工学	46 在職中	製造業	技術
大学(学部)	工学	47 在職中	製造業	技術
大学(学部)	工学	48 在職中	製造業	技術
大学院(修士)	工学	49 在職中	製造業	技術
大学院(修士)	工学	50 在職中	製造業	技術
専門学校	ゲーム・マルチメディア・コンピュー	51 在職中	製造業	技術
高等学校	(高等学校卒)	52 在職中	製造業	技術
大学院(修士)	経済学	53 在職中	製造業	開発
大学(学部)	経済学	54 在職中	製造業	開発
大学院(修士)	理学	55 在職中	製造業	開発
大学(学部)	工学	56 在職中	製造業	開発

最終学歴	最終学歴の学問分野	現在の状況	在職中の場合、業種	職種
大学(学部)	自動車・航空・宇宙	57 在職中	製造業	開発
大学院(修士)	工学	58 在職中	製造業	研究
大学院(修士)	工学	59 在職中	製造業	研究
大学(学部)	工学	60 在職中	製造業	その他
大学(学部)	経済学	61 在職中	IT関連業	営業
大学(学部)	法学	62 在職中	IT関連業	サービス・販売
大学院(修士)	理学	63 在職中	IT関連業	技術
大学(学部)	工学	64 在職中	IT関連業	技術
大学(学部)	工学	65 在職中	IT関連業	技術
大学(学部)	法学	66 在職中	IT関連業	開発
大学(学部)	理学	67 在職中	IT関連業	開発
大学院(修士)	工学	68 在職中	IT関連業	開発
大学院(修士)	工学	69 在職中	IT関連業	開発
大学(学部)	ゲーム・マルチメディア・コンピューター	70 在職中	IT関連業	開発
大学(学部)	法学	71 在職中	運輸業、郵便業	事務
大学(学部)	社会学	72 在職中	運輸業、郵便業	企画
大学(学部)	看護・福祉	73 在職中	運輸業、郵便業	その他
大学(学部)	文学	74 在職中	金融業(銀行・信託・証券・貸金)	営業
大学(学部)	経済学	75 在職中	金融業(銀行・信託・証券・貸金)	営業
大学(学部)	法学	76 在職中	金融業(銀行・信託・証券・貸金)	営業
大学(学部)	政治学	77 在職中	金融業(銀行・信託・証券・貸金)	営業
大学(学部)	語学・言語学	78 在職中	金融業(銀行・信託・証券・貸金)	事務
大学(学部)	経済学	79 在職中	金融業(銀行・信託・証券・貸金)	事務
大学(学部)	経済学	80 在職中	金融業(銀行・信託・証券・貸金)	事務
大学(学部)	商学・会計学	81 在職中	金融業(銀行・信託・証券・貸金)	事務
大学(学部)	法学	82 在職中	金融業(銀行・信託・証券・貸金)	事務
大学(学部)	法学	83 在職中	金融業(銀行・信託・証券・貸金)	事務
大学(学部)	商学・会計学	84 在職中	保険業	事務
大学(学部)	経済学	85 在職中	卸売業、小売業	経営
大学(学部)	工学	86 在職中	卸売業、小売業	経営
大学(学部)	芸術学	87 在職中	卸売業、小売業	経営
大学(学部)	文学	88 在職中	卸売業、小売業	営業
大学(学部)	経済学	89 在職中	卸売業、小売業	営業
大学(学部)	商学・会計学	90 在職中	卸売業、小売業	営業
大学院(修士)	理学	91 在職中	卸売業、小売業	営業
大学(学部)	文学	92 在職中	卸売業、小売業	事務
大学(学部)	語学・言語学	93 在職中	卸売業、小売業	事務
大学(学部)	法学	94 在職中	卸売業、小売業	事務
大学(学部)	経済学	95 在職中	卸売業、小売業	企画
大学(学部)	社会学	96 在職中	卸売業、小売業	サービス・販売
大学(学部)	商学・会計学	97 在職中	卸売業、小売業	サービス・販売
大学院(修士)	経済学	98 在職中	卸売業、小売業	技術
大学(学部)	法学	99 在職中	卸売業、小売業	クリエイティブ
大学(学部)	社会学	100 在職中	卸売業、小売業	その他
大学(学部)	経済学	101 在職中	卸売業、小売業	その他
大学(学部)	法学	102 在職中	卸売業、小売業	その他
大学(学部)	商学・会計学	103 在職中	学術研究、専門・技術サービス	営業
大学(学部)	文学	104 在職中	学術研究、専門・技術サービス	専門職
大学(学部)	文学	105 在職中	学術研究、専門・技術サービス	専門職
大学(学部)	社会学	106 在職中	不動産業、物品賃貸業	技術
大学(学部)	文学	107 在職中	不動産業、物品賃貸業	その他
大学(学部)	経営学	108 在職中	宿泊業、飲食サービス業	経営
大学(学部)	国際関係学	109 在職中	宿泊業、飲食サービス業	サービス・販売
大学(学部)	商学・会計学	110 在職中	宿泊業、飲食サービス業	サービス・販売
大学(学部)	法学	111 在職中	宿泊業、飲食サービス業	サービス・販売
大学院(博士)	工学	112 在職中	教育、学習支援業(教育機関以外)	経営
大学院(修士)	その他	113 在職中	教育、学習支援業(教育機関以外)	経営
大学(学部)	文学	114 在職中	教育、学習支援業(教育機関以外)	事務
大学(学部)	体育・健康・保健科学	115 在職中	教育、学習支援業(教育機関以外)	事務

最終学歴	最終学歴の学問分野	現在の状況	在職中の場合、業種	職種
大学(学部)	体育・健康・保健科学	116 在職中	教育、学習支援業(教育機関以外)	開発
大学(学部)	文学	117 在職中	生活関連サービス業、娯楽業	事務
大学(学部)	経済学	118 在職中	医療、福祉	事務
大学(学部)	その他	119 在職中	医療、福祉	サービス・販売
大学(学部)	語学・言語学	120 在職中	医療、福祉	専門職
大学(学部)	史学・考古学	121 在職中	医療、福祉	専門職
大学(学部)	医学	122 在職中	医療、福祉	専門職
大学院(博士)	医学	123 在職中	医療、福祉	専門職
大学院(博士)	歯学	124 在職中	医療、福祉	専門職
大学(学部)	看護・福祉	125 在職中	医療、福祉	専門職
大学(学部)	看護・福祉	126 在職中	医療、福祉	技術
大学(学部)	経営学	127 在職中	その他サービス業	経営
大学(学部)	経営学	128 在職中	その他サービス業	営業
大学(学部)	文学	129 在職中	その他サービス業	その他
大学(学部)	教育学	130 在職中	その他サービス業	その他
大学(学部)	教育学	131 在職中	その他サービス業	その他
大学(学部)	心理学	132 在職中	教育機関(大学以外)	事務
大学(学部)	経済学	133 在職中	地方公務	事務
大学(学部)	法学	134 在職中	地方公務	事務
大学(学部)	心理学	135 在職中	地方公務	その他
大学(学部)	史学・考古学	136 在職中	非営利団体	経営
大学(学部)	理学	137 在職中	非営利団体	事務
大学(学部)	経営学	138 在職中	その他	営業
大学(学部)	心理学	139 在職中	その他	事務
大学(学部)	その他	140 在職中	その他	事務
大学(学部)	経済学	141 在職中	その他	その他
大学(学部)	医学	142 在職中	その他	その他
大学(学部)	文学	1 その他(学生以外)		
大学(学部)	語学・言語学	2 その他(学生以外)		
大学院(博士)	史学・考古学	3 その他(学生以外)		
大学(学部)	心理学	4 その他(学生以外)		
大学院(修士)	心理学	5 その他(学生以外)		
大学(学部)	社会学	6 その他(学生以外)		
大学(学部)	経済学	7 その他(学生以外)		
大学(学部)	経済学	8 その他(学生以外)		
大学(学部)	経済学	9 その他(学生以外)		
大学(学部)	経済学	10 その他(学生以外)		
大学(学部)	経済学	11 その他(学生以外)		
大学(学部)	経営学	12 その他(学生以外)		
大学(学部)	経営学	13 その他(学生以外)		
大学(学部)	経営学	14 その他(学生以外)		
大学(学部)	経営学	15 その他(学生以外)		
大学院(修士)	経営学	16 その他(学生以外)		
大学(学部)	商学・会計学	17 その他(学生以外)		
大学(学部)	商学・会計学	18 その他(学生以外)		
大学(学部)	商学・会計学	19 その他(学生以外)		
大学(学部)	法学	20 その他(学生以外)		
大学(学部)	教育学	21 その他(学生以外)		
大学(学部)	工学	22 その他(学生以外)		
大学(学部)	工学	23 その他(学生以外)		
大学(学部)	工学	24 その他(学生以外)		
大学院(修士)	工学	25 その他(学生以外)		
大学院(修士)	工学	26 その他(学生以外)		
大学(学部)	情報学	27 その他(学生以外)		
大学院(修士)	情報学	28 その他(学生以外)		
大学(学部)	情報学	29 その他(学生以外)		
大学(学部)	薬学	30 その他(学生以外)		
大学(学部)	看護・福祉	31 その他(学生以外)		
大学(学部)	農学・水産学・獣医学	32 その他(学生以外)		

最終学歴	最終学歴の学問分野	現在の状況	在職中の場合、業種	職種
大学院（修士）	ゲーム・マルチメディア・コンピュー	33 その他（学生以外）		
専門学校	建築・土木・インテリア	34 その他（学生以外）		
大学（学部）	その他	35 その他（学生以外）		
大学（学部）	その他	36 その他（学生以外）		
大学（学部）	語学・言語学	1 主婦		
大学（学部）	語学・言語学	2 主婦		
短期大学	語学・言語学	3 主婦		
大学（学部）	語学・言語学	4 主婦		
大学（学部）	語学・言語学	5 主婦		
大学（学部）	語学・言語学	6 主婦		
大学（学部）	国際関係学	7 主婦		
大学（学部）	経済学	8 主婦		
大学（学部）	経済学	9 主婦		
大学（学部）	経営学	10 主婦		
大学（学部）	教育学	11 主婦		
大学院（修士）	工学	12 主婦		
短期大学	情報学	13 主婦		
大学（学部）	食物・栄養学	14 主婦		
大学（学部）	農学・水産学・獣医学	15 主婦		
大学（学部）	その他	16 主婦		
大学（学部）	文学	17 無職		
大学（学部）	文学	18 無職		
大学（学部）	経済学	19 無職		
大学（学部）	経済学	20 無職		
大学院（修士）	経済学	21 無職		
大学（学部）	経済学	22 無職		
大学（学部）	経営学	23 無職		
大学（学部）	政治学	24 無職		
大学（学部）	工学	25 無職		
大学（学部）	その他	26 無職		
	教育学	1 大学3年生		
	薬学	2 大学3年生		
	建築・土木・インテリア	3 大学3年生		
	その他	4 大学3年生		
	経済学	1 大学4年生以上		
	商学・会計学	2 大学4年生以上		
	商学・会計学	3 大学4年生以上		
	情報学	4 大学4年生以上		
	社会学	1 大学院生		
	建築・土木・インテリア	2 大学院生		

## ⑥京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称・設置構想中)」への受験・進学意向について・3(進学意向を示した回答者の属性)

**Point 6** 京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称)」を受験し、入学したいとした回答者について、最終学歴が「大学(学部)」でかつ専攻した学問分野が「工学」「情報学」であったのは、開設1年目の2024年度のみでも入学定員10名を上回る12名。

京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称)」を「受験したい」とし、「合格した場合、進学したい(2024年度開設時)」とした回答者65人について、最終学歴が「大学(学部)」でかつ学問分野が「工学」または「情報学」とした者を抽出した。結果、該当する者は12人いた(グラフ I-12、次頁の表 I-2)。「情報学研究科(仮称)」の出願資格として学部における専攻分野の指定はないが、その専門分野は「情報学」、学位の分野は「工学関係」であることから、一定の専門知識を有する者を選抜する必要がある。上記の通り、それにあてはまる者は予定する入学定員10名を上回る12人おり、志願者属性を踏まえた上でも定員充足が可能であると言える。

**グラフ I-12：京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称)」  
に進学意向を示す回答者のうち  
「工学」「情報学」系学部出身者**

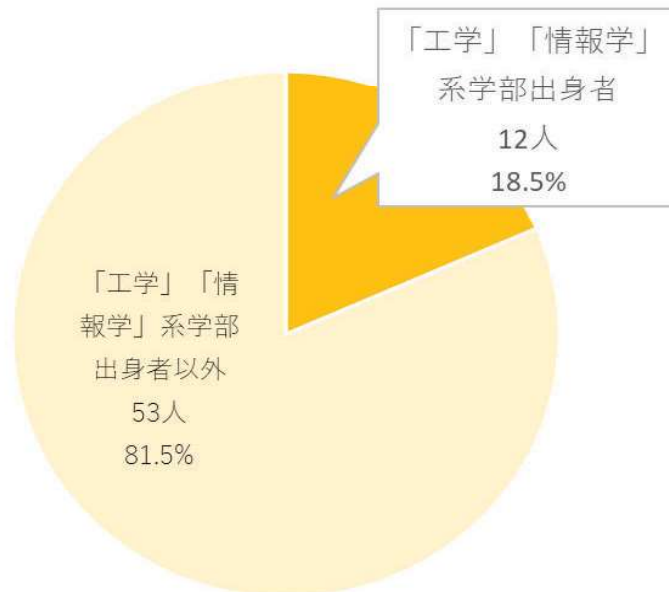




表 I-2 京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称)」を受験し  
「合格した場合、進学したい(2024年度開設時)」とした回答者の属性

最終学歴	最終学歴の学問分野	現在の状況	在職中の場合、業種	職種
項目	項目	項目	項目	項目
高等学校		在職中	製造業	技術
短期大学	情報学	主婦		
専門学校	建築・土木・インテリア	在職中	建設業	専門職
大学(学部)	文学	在職中	金融業(銀行・信託・証券・貸金)	営業
大学(学部)	文学	在職中	卸売業、小売業	営業
大学(学部)	文学	無職		
大学(学部)	語学・言語学	在職中	卸売業、小売業	事務
大学(学部)	語学・言語学	主婦		
大学(学部)	語学・言語学	主婦		
大学(学部)	心理学	在職中	電気、ガス、熱供給、水道業	その他
大学(学部)	心理学	在職中	教育機関(大学以外)	事務
大学(学部)	心理学	その他(学生以外)		
大学(学部)	社会学	在職中	製造業	事務
大学(学部)	社会学	在職中	製造業	事務
大学(学部)	社会学	在職中	製造業	企画
大学(学部)	社会学	在職中	運輸業、郵便業	企画
大学(学部)	国際関係学	主婦		
大学(学部)	経済学	在職中	建設業	営業
大学(学部)	経済学	在職中	製造業	経営
大学(学部)	経済学	在職中	製造業	事務
大学(学部)	経済学	在職中	金融業(銀行・信託・証券・貸金)	営業
大学(学部)	経済学	在職中	金融業(銀行・信託・証券・貸金)	事務
大学(学部)	経済学	在職中	金融業(銀行・信託・証券・貸金)	事務
大学(学部)	経済学	在職中	卸売業、小売業	営業
大学(学部)	経済学	在職中	医療、福祉	事務
大学(学部)	経済学	無職		
大学(学部)	経済学	その他(学生以外)		
大学(学部)	経営学	主婦		
大学(学部)	商学・会計学	在職中	金融業(銀行・信託・証券・貸金)	事務
大学(学部)	商学・会計学	在職中	宿泊業、飲食サービス業	サービス・販売
大学(学部)	法学	在職中	IT関連業	開発
大学(学部)	法学	在職中	金融業(銀行・信託・証券・貸金)	営業
大学(学部)	法学	在職中	卸売業、小売業	事務
大学(学部)	法学	在職中	卸売業、小売業	その他
大学(学部)	法学	在職中	地方公務	事務
大学(学部)	法学	その他(学生以外)		
大学(学部)	理学	在職中	非営利団体	事務
大学(学部)	工学	在職中	建設業	技術
大学(学部)	工学	在職中	建設業	技術
大学(学部)	工学	在職中	建設業	技術
大学(学部)	工学	在職中	電気、ガス、熱供給、水道業	技術
大学(学部)	工学	在職中	製造業	営業
大学(学部)	工学	在職中	製造業	事務
大学(学部)	工学	在職中	製造業	事務
大学(学部)	工学	在職中	製造業	技術
大学(学部)	工学	在職中	製造業	技術
大学(学部)	工学	在職中	IT関連業	技術
大学(学部)	工学	その他(学生以外)		
大学(学部)	情報学	その他(学生以外)		
大学(学部)	薬学	その他(学生以外)		
大学(学部)	看護・福祉	在職中	運輸業、郵便業	その他
大学(学部)	看護・福祉	在職中	医療、福祉	技術
大学(学部)	農学・水産学・獣医学	その他(学生以外)		
大学(学部)	体育・健康・保健科学	在職中	教育、学習支援業(教育機関以外)	事務
大学(学部)	体育・健康・保健科学	在職中	教育、学習支援業(教育機関以外)	開発
大学(学部)	その他	在職中	医療、福祉	サービス・販売
大学院(修士)	工学	在職中	建設業	開発
大学院(修士)	工学	主婦		
大学院(修士)	情報学	その他(学生以外)		
大学院(博士)	工学	在職中	教育、学習支援業(教育機関以外)	経営
大学院(博士)	歯学	在職中	医療、福祉	専門職
	経済学	大学4年生以上		
	商学・会計学	大学4年生以上		
	教育学	大学3年生		
	建築・土木・インテリア	大学3年生		

進学意向アンケート調査Ⅱ  
(京都橘大学工学部情報工学科在学生対象)

## 1. 進学意向アンケート調査Ⅱ(京都橘大学工学部情報工学科在学生対象)実施概要

調査対象	京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科(仮称・設置構想中)」への進学が見込まれる、京都橘大学工学部情報工学科の在学生(2021年4月に入学し2025年3月卒業予定/2022年4月に入学し2026年3月卒業予定)を対象とし、進学意向アンケート調査を実施した。
調査内容	<ul style="list-style-type: none"><li>●回答者の基本情報(性別、京都橘大学工学部情報工学科への入学時期)</li><li>●京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称・設置構想中)」への受験・入学意向</li></ul> 全5問ですべて選択肢式。
調査時期	令和4(2022)年11月
調査方法	上記の調査対象に授業後、教員よりアンケート調査用紙・京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称・設置構想中)」概要を配布。5分程度の回答時間を設けた上、その場で回収した。
回答件数	有効回答数232人(2021年4月入学者108人、2022年4月入学者124人)

## 2. 進学意向アンケート調査Ⅱ（京都橘大学工学部情報工学科在学生対象）集計結果

問1 あなたの性別をお答えください。（あてはまるものにマーク）

選択項目		全体		2021年4月入学者		2022年4月入学者	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	男性	194	83.6%	96	88.9%	98	79.0%
2	女性	38	16.4%	12	11.1%	26	21.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計		232	100.0%	108	100.0%	124	100.0%

問2 あなたが工学部情報工学科に入学した年度をお答えください。（あてはまるものにマーク）

選択項目		全体		2021年4月入学者		2022年4月入学者	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	2021年4月	108	46.6%	108	100.0%	0	0.0%
2	2022年4月	124	53.4%	0	0.0%	124	100.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計		232	100.0%	108	100.0%	124	100.0%

問3 あなたは京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科（仮称）」の修士課程を受験したいと思いますか。（あてはまるものにマーク）

選択項目		全体		2021年4月入学者		2022年4月入学者	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	受験したい	88	37.9%	49	45.4%	39	31.5%
2	受験しない	144	62.1%	59	54.6%	85	68.5%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計		232	100.0%	108	100.0%	124	100.0%

問4は問3で「受験したい」とした場合、回答対象。

問4 あなたは京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科（仮称）」を受験し合格した場合、進学したいと思いますか。（あてはまるものにマーク）

選択項目		全体		2021年4月入学者		2022年4月入学者	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	合格した場合、進学したい	37	42.0%	22	44.9%	15	38.5%
2	合格した場合、状況によって進学したい	51	58.0%	27	55.1%	24	61.5%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計		88	100.0%	49	100.0%	39	100.0%

問5は問3で「受験しない」とした場合、回答対象。

問5 あなたが京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科（仮称）」を「受験しない」とされた理由をお答えください。（あてはまるもの全てにマーク）

選択項目		全体		2021年4月入学者		2022年4月入学者	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	学部卒業後は就職をしたいから	59	41.0%	24	40.7%	35	41.2%
2	大学院進学に興味はないから	29	20.1%	12	20.3%	17	20.0%
3	大学院進学に興味はあるが、他に進学を希望している研究科があるから（京都橘大学内）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4	大学院進学に興味はあるが、他に進学を希望している研究科があるから（他大学）	10	6.9%	4	6.8%	6	7.1%
5	京都橘大学大学院「情報学研究科（仮称）」に興味はあるが、更に詳細を知った上で検討したいから	29	20.1%	10	16.9%	19	22.4%
6	現時点ではわからない	53	36.8%	22	37.3%	31	36.5%
7	その他	7	4.9%	4	6.8%	3	3.5%

### 3. 進学意向アンケート調査Ⅱ(京都橘大学工学部情報工学科在学学生対象)集計結果ポイント

#### ①回答者の基本情報

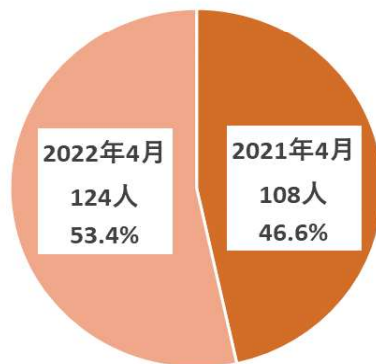
##### Point 1

京都橘大学工学部情報工学科の在学学生(2021年4月に入学し2025年3月卒業予定/2022年4月に入学し2026年3月卒業予定)計232人が進学意向アンケート調査に回答。

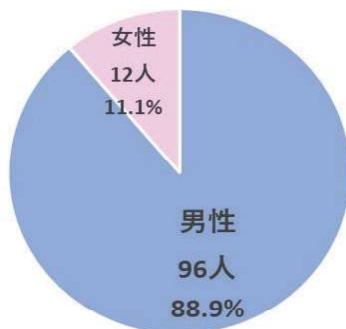
京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科(仮称・設置構想中)」への進学需要測定のために、進学意向アンケート調査を京都橘大学学内で工学部情報工学科の在学学生を対象に実施し、合計232人から回答を得た。

結果、2021年4月に入学し2025年3月に卒業予定で、「情報学研究科(仮称)」が開設2年目に進学時期を迎える者は108人(男性96人、女性12人)であった(グラフⅡ-1・Ⅱ-2)。他に、2022年4月に入学し2026年3月に卒業予定で、「情報学研究科(仮称)」が開設3年目に進学時期を迎える者は124人(男性98人、女性26人)であった(グラフⅡ-1・Ⅱ-3)。

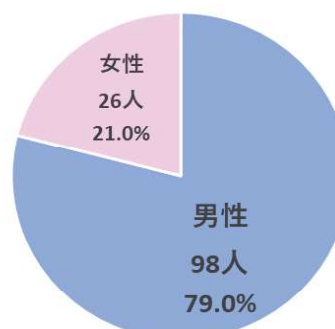
グラフⅡ-1：回答者の京都橘大学工学部  
情報工学科への入学時期



グラフⅡ-2：回答者の性別  
(2021年度入学生)



グラフⅡ-3：回答者の性別  
(2022年度入学生)



## ②京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称・設置構想中)」への 受験・進学意向について・1(開設2年目)

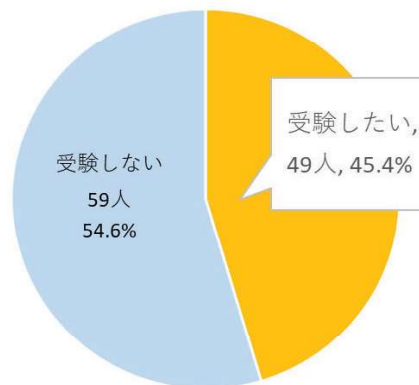
### Point 2

京都橘大学工学部情報工学科の学生の中で、大学院「情報学研究科(仮称)」開設2年目に、入学定員10名を上回る22人の進学希望者が存在。

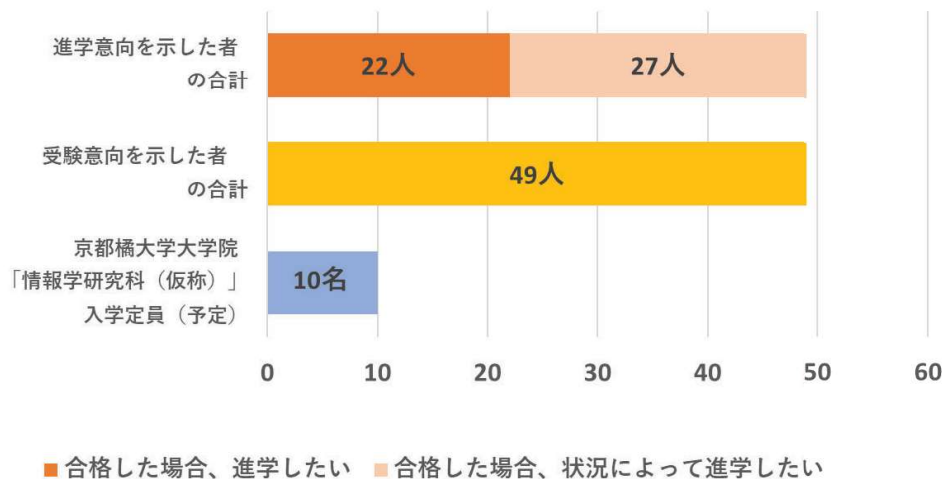
京都橘大学工学部情報工学科2年生(2021年4月に入学し2025年3月卒業予定)108人に対し、京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科(仮称・設置構想中)」の受験・進学意向について回答を求めた。

結果、「受験したい」としたのは49人(45.4%)いた。その上で「合格した場合、進学したい」は22人、「合格した場合、状況によって進学したい」は27人いた。「情報学研究科(仮称)」開設2年目である2025年4月に「合格した場合、進学したい」とした者のみで、予定する入学定員10名を上回る22人存在することが明らかとなった。

グラフⅡ-4：回答者の京都橘大学大学院  
「情報学研究科(仮称)」受験意向  
(2021年度入学生)



グラフⅡ-5：回答者の京都橘大学大学院  
「情報学研究科(仮称)」受験・入学意向  
(2021年度入学生)



### ③京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称・設置構想中)」への 受験・進学意向について・2(開設3年目)

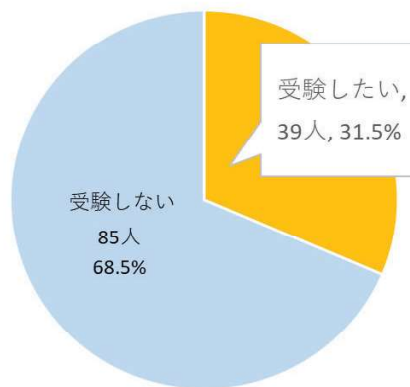
#### Point 3

京都橘大学工学部情報工学科の学生の中で、大学院「情報学研究科(仮称)」開設3年目に、入学定員10名を上回る15人の進学希望者が存在。

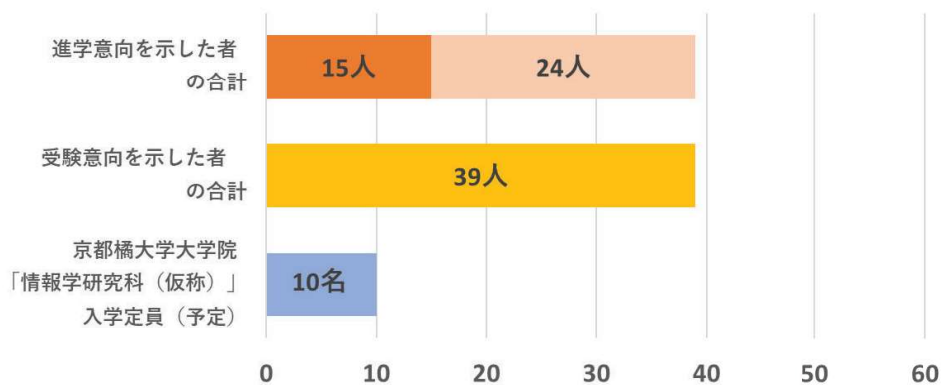
京都橘大学工学部情報工学科1年生(2022年4月に入学し2026年3月卒業予定)124人に対し、京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科(仮称・設置構想中)」の受験・進学意向について回答を求めた。

結果、「受験したい」としたのは39人(31.5%)いた。その上で「合格した場合、進学したい」は15人、「合格した場合、状況によって進学したい」は24人いた。「情報学研究科(仮称)」開設3年目である2026年4月に「合格した場合、進学したい」とした者のみで、予定する入学定員10名を上回る15人存在することが明らかとなった。

グラフ II-6：回答者の京都橘大学大学院  
「情報学研究科(仮称)」受験意向  
(2022年度入学生)



グラフ II-7：回答者の京都橘大学大学院  
「情報学研究科(仮称)」受験・入学意向  
(2022年度入学生)



■ 合格した場合、進学したい ■ 合格した場合、状況によって進学したい

添付資料



対象外条件 Q2 ≠ 「18. 福井県」, 「21. 岐阜県」 かつ ( Q2 ≠ 「23. 愛知県」 ~ 「30. 和歌山県」 ) (即時回答終了)

対象外条件 Q4\_1 < 20 または Q4\_1 > 55 (即時回答終了)

対象外条件 Q1 = 「2. はい」 (即時回答終了)

対象外条件 Q5 = 「1. 大学1年生」, 「2. 大学2年生」, 「6. その他の学生」 (即時回答終了)

対象外条件 Q6 = 「1. 中学校」 ~ 「5. 専門学校」 (即時回答終了)

## アンケート画面開始

Page 1

Q1

必須設定 回答必須

対象外条件 Q1 = 「2. はい」 (即時回答終了)

Q1

あなたは過去3ヵ月以内に、京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称)」の進学意向についてのアンケート調査に回答されたことはありますか。

- 1  いいえ
- 2  はい

次へ

0 50 100(%)

Q2

必須設定 回答必須

対象外条件 Q2 ≠ 「18. 福井県」, 「21. 岐阜県」かつ ( Q2 ≠ 「23. 愛知県」 ~ 「30. 和歌山県」 ) (即時回答終了)

Q2

あなたが現在お住まいの都道府県をお答えください。

--- ▼

次へ

0 50 100(%)

Q3

必須設定 回答必須

Q3

あなたの性別をお答えください。

- 1  男性
- 2  女性

次へ

0 50 100(%)

Q4

**対象外条件** Q4\_1 < 20 または Q4\_1 > 55 (即時回答終了)

- カテゴリ 1: ※年齢を入力

**必須設定** 回答必須

**回答制御** 回答範囲「0~99」に該当しない場合はアラートを表示

Q4

あなたの年齢をお答えください。

歳

次へ

0 50 100(%)

Q5

必須設定 回答必須

対象外条件 Q5 = 「1. 大学1年生」, 「2. 大学2年生」, 「6. その他の学生」(即時回答終了)

Q5

あなたの現在の状況についてお答えください。

- 1  大学1年生
- 2  大学2年生
- 3  大学3年生
- 4  大学4年生以上
- 5  大学院生
- 6  その他の学生
- 7  在職中
- 8  主婦
- 9  無職
- 10  その他(学生以外)

次へ



0 50 100(%)

Q6

必須設定 回答必須

回答者条件 Q5 = 「7. 在職中」～「10. その他(学生以外)」

対象外条件 Q6 = 「1. 中学校」～「5. 専門学校」(即時回答終了)

Q6

あなたの最終学歴をお答えください。

- 1  中学校
- 2  高等学校
- 3  短期大学
- 4  高等専門学校
- 5  専門学校
- 6  大学(学部)
- 7  大学院(修士)
- 8  大学院(博士)

次へ

0 50 100(%)

Q7

**必須設定** 回答必須**回答者条件** Q5 = 「7. 在職中」

Q7

あなたの現在の勤務先の業種をお答えください。

- 1  農業、林業、漁業、鉱業
- 2  建設業
- 3  電気、ガス、熱供給、水道業
- 4  製造業
- 5  通信業
- 6  IT関連業
- 7  放送、新聞、出版業
- 8  運輸業、郵便業
- 9  金融業(銀行・信託・証券・貸金)
- 10  保険業
- 11  卸売業、小売業
- 12  学術研究、専門・技術サービス
- 13  不動産業、物品賃貸業
- 14  宿泊業、飲食サービス業
- 15  教育、学習支援業(教育機関以外)
- 16  生活関連サービス業、娯楽業
- 17  医療、福祉
- 18  その他サービス業
- 19  教育機関(大学)
- 20  教育機関(大学以外)
- 21  国家公務
- 22  地方公務
- 23  非営利団体
- 24  その他

次へ

0 50 100(%)

Q8

必須設定 回答必須

回答者条件 Q5 = 「7. 在職中」

Q8

あなたが現在従事する職種をお答えください。

- 1  経営
- 2  営業
- 3  事務
- 4  企画
- 5  サービス・販売
- 6  専門職
- 7  技術
- 8  開発
- 9  研究
- 10  クリエイティブ
- 11  教員
- 12  その他

次へ



0 50 100(%)



Q9

必須設定 回答必須

Q9

学生の方は在学中の、既卒の方は卒業された学部・研究科の学問分野をお答えください。

- 1  文学
- 2  語学・言語学
- 3  史学・考古学
- 4  哲学・倫理学
- 5  心理学
- 6  社会学
- 7  国際関係学
- 8  経済学
- 9  経営学
- 10  商学・会計学
- 11  法学
- 12  政治学
- 13  教育学
- 14  保育・児童学
- 15  理学
- 16  工学
- 17  情報学
- 18  医学
- 19  歯学
- 20  薬学
- 21  看護・福祉
- 22  食物・栄養学
- 23  農学・水産学・獣医学
- 24  芸術学
- 25  体育・健康・保健科学
- 26  ビジネス・マーケティング
- 27  栄養・調理・製菓
- 28  旅行・観光・ホテル・ブライダル
- 29  美容・理容・ヘアメイク・メイク・ネイル・エステ
- 30  アート・デザイン・写真
- 31  ファッション・和裁
- 32  ゲーム・マルチメディア・コンピュータ
- 33  自動車・航空・宇宙

34 ○ 建築・土木・インテリア

35 ○ その他

次へ

0 50 100(%)

以降は京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科(仮称)」概要を見てお答えください。

アンケートに答える前に以下・京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称・設置構想中)」の概要をお読みください。

# 京都橘大学 2024年4月開設に向け、設置構想中

## 大学院 情報学研究科 情報学専攻 修士課程 (仮称)

本研究科の概要

名称 : 情報学研究科 情報学専攻 修士課程(仮称)  
 開設時期 : 2024(令和6)年4月(予定)  
 開設場所 : 京都橘大学(〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34)  
 修業年限 : 2年  
 入学定員 : 10名を予定(収容定員:20名を予定)  
 取得学位 : 修士(工学)

情報学研究科(仮称)の特色

### ◆「情報学研究科(仮称)」の対象者 & 修了後のイメージ

- 例1** 情報工学科(他大学含む)卒業生  
 修了後は... 学士レベルで身につけた体系的な知識をベースに、社会で実践的に活用できる先進的な知識・技術を修得し活躍。  
 情報系企業等で働く、あるいは情報技術の事業への活用を志向する一般企業の社会人
- 例2** 修了後は... 情報学の基礎的な知識と業務基礎をベースに社会に対応した先進的な知識・技術を身につけ、  
 ① 自組織や事業の課題について具体的なソリューションを考案・計画・実施。  
 ② 自身のキャリアをステップアップ。

### ◆「情報学研究科(仮称)」の養成する人材・特色

情報分野の専門的知識・技術とそれらを実践する力を修得し、社会における課題解決・価値創造に貢献することのできる人材を養成します。  
 そのために、本研究科では共通領域、専門領域(基盤情報学・応用情報学)、課題研究の3領域を設け、専門的知識・技術とそれらの実践までを一貫して学び、研究課題に取り組みます。  
 \*仕事と両立がしやすいよう、オンラインによる指導・授業を一部予定しています。

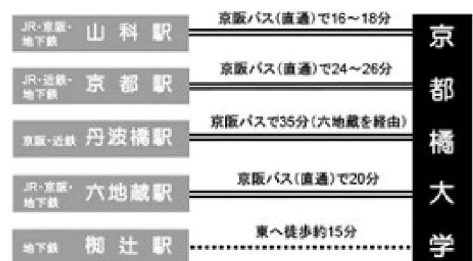
研究課題	教員の指導のもと、具体的な研究課題に取り組み、専門性やその実践力の定着を図る。
専門領域	<b>応用情報学</b> 基盤的技術を応用して様々な分野の価値創造に取り組む知識・技術 (グラフィックス、ロボティクス、セキュリティ、パターン認識等)  <b>基盤情報学</b> 情報分野の基盤となる情報ネットワークの構築と運用に関する知識・技術 (ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークやこれらの横断的技術等)
領域共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究科で学ぶための導入的知識・技術</li> <li>情報分野の専門性を社会で実践・活用するための知識・技術</li> </ul>

初年度学費(他大学を参照)

大学院・研究科名 (所在地)	入学金	初年度 合計
	授業料他	
京都橘大学大学院 情報学研究科(仮称) (京都市山科区)	200,000円	1,000,000円
龍谷大学院大学院 理工学研究科 情報メディア学専攻 (滋賀県大津市)	800,000円	
京都産業大学大学院 先端情報学研究科 (京都市北区)	200,000円	1,094,600円
	894,600円	
	200,000円	1,168,000円
	968,000円	

※ 京都橘大学大学院 情報学研究科(仮称)の学費は予定のものです。  
 ※ 他大学大学院の学費は各大学ホームページ掲載情報に基づきます。  
 (2022年7月時点)  
 ※ いずれの大学院も諸会費を含みません。  
 ※ 他大学大学院の入学金は学外から入学の場合となります。

アクセス



- 山科・京都・丹波橋・六地蔵の各駅からキャンパスまで乗り換えなしの直通バスが運行されています。
- 京都市営地下鉄の「柳辻(なぎつじ)駅」からは徒歩約15分です。

上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

## Q10

あなたは京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科(仮称)」を受験したいと思いますか。

- 1  受験したい
- 2  受験しない

次へ

0 50 100(%)

アンケートに答える前に以下・京都橋大学大学院「情報学研究科（仮称・設置構想中）」の概要をお読みください。

# 京都橋大学 2024年4月開設に向け、設置構想中

## 大学院 情報学研究科 情報学専攻 修士課程 (仮称)

本研究科の概要

名称：情報学研究科 情報学専攻 修士課程(仮称)  
 開設時期：2024(令和6)年4月(予定)  
 開設場所：京都橋大学(〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34)  
 修業年限：2年  
 入学定員：10名を予定(収容定員:20名を予定)  
 取得学位：修士(工学)

情報学研究科(仮称)の特色

### ◆「情報学研究科(仮称)」の対象者 & 修了後のイメージ

例1 情報工学科(他大学含む)卒業生

修了後は… 学士レベルで身につけた体系的な知識をベースに、社会で実践的に活用できる先進的な知識・技術を修得し活用。

情報系企業等で働く、あるいは情報技術の事業への活用を志向する一般企業の社会人

例2

修了後は… 情報学の基礎的な知識と業務経験をベースに社会に対応した先進的な知識・技術を身につけ、  
 ① 自組織や事業の課題について具体的なソリューションを考案・計画・実施。  
 ② 自身のキャリアをステップアップ。

### ◆「情報学研究科(仮称)」の養成する人材・特色

情報分野の専門的知識・技術とそれらを実践する力を修得し、社会における課題解決・価値創造に貢献することのできる人材を養成します。

そのために、本研究科では共通領域、専門領域(基盤情報学・応用情報学)、課題研究の3領域を設け、専門的知識・技術とそれらの実践までを一貫して学び、研究課題に取り組みます。

\*仕事と両立がしやすいよう、オンラインによる指導・授業を一部予定しています。

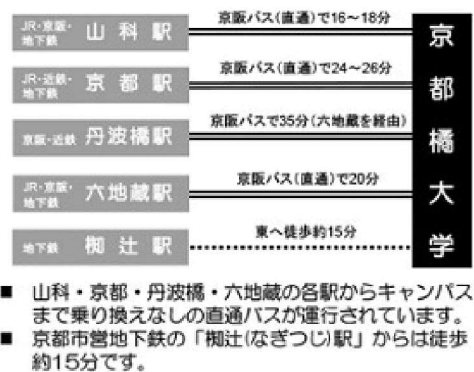
研究課題	教員の指導のもと、具体的な研究課題に取り組み、専門性やその実践力の定着を図る。
専門領域	<p><b>応用情報学</b>                      基盤的技術を応用して様々な分野の価値創造に取り組む知識・技術                      (グラフィックス、ロボティクス、セキュリティ、パターン認識等)</p> <p><b>基盤情報学</b>                      情報分野の基盤となる情報ネットワークの構築と運用に関する知識・技術                      (ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークやこれらの横断的技術等)</p>
領域共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究科で学ぶための導入的知識・技術</li> <li>情報分野の専門性を社会で実践・活用するための知識・技術</li> </ul>

初年度学費(他大学を比べ)

大学院・研究科名 (所在地)	入学金 授業料他	初年度 合計
京都橋大学大学院 情報学研究科(仮称) (京都市山科区)	200,000円 800,000円	1,000,000円
龍谷大学院大学院 理工学研究科 情報メディア学専攻 (滋賀県大津市)	200,000円 894,600円	1,094,600円
京都産業大学大学院 先端情報学研究科 (京都市北区)	200,000円 968,000円	1,168,000円

※ 京都橋大学大学院 情報学研究科(仮称)の学費は予定のものです。  
 ※ 他大学大学院の学費は各大学ホームページ掲載情報に基づきます。  
 (2022年7月時点)  
 ※ いずれの大学院も諸会費を含みません。  
 ※ 他大学大学院の入学金は学外から入学の場合となります。

アクセス



上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

Q11

必須設定 回答必須

回答者条件 Q10 = 「1. 受験したい」

### Q11

あなたは京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科(仮称)」を受験し合格した場合、進学したいと思いますか。

- 1  合格した場合、進学したい(2024年度開設時)
- 2  合格した場合、進学したい(2025年度以降)
- 3  合格した場合、状況(勤務先の了解、経済状況等)によって進学したい

次へ

0 50 100(%)

アンケートに答える前に以下・京都橋大学大学院「情報学研究科（仮称・設置構想中）」の概要をお読みください。

# 京都橋大学 2024年4月開設に向け、設置構想中

## 大学院 情報学研究科 情報学専攻 修士課程 (仮称)

本研究科の概要

名称：情報学研究科 情報学専攻 修士課程(仮称)  
 開設時期：2024(令和6)年4月(予定)  
 開設場所：京都橋大学(〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34)  
 修業年限：2年  
 入学定員：10名を予定(収容定員:20名を予定)  
 取得学位：修士(工学)

情報学研究科(仮称)の特色

### ◆「情報学研究科(仮称)」の対象者 & 修了後のイメージ

例1 情報工学科(他大学含む)卒業生

修了後は… 学士レベルで身につけた体系的な知識をベースに、社会で実践的に活用できる先進的な知識・技術を修得し活用。

情報系企業等で働く、あるいは情報技術の事業への活用を志向する一般企業の社会人

例2

修了後は… 情報学の基礎的な知識と業務経験をベースに社会に対応した先進的な知識・技術を身につけ、  
 ① 自組織や事業の課題について具体的なソリューションを考案・計画・実施。  
 ② 自身のキャリアをステップアップ。

### ◆「情報学研究科(仮称)」の養成する人材・特色

情報分野の専門的知識・技術とそれらを実践する力を修得し、社会における課題解決・価値創造に貢献することのできる人材を養成します。

そのために、本研究科では共通領域、専門領域(基盤情報学・応用情報学)、課題研究の3領域を設け、専門的知識・技術とそれらの実践までを一貫して学び、研究課題に取り組みます。

\*仕事と両立がしやすいよう、オンラインによる指導・授業を一部予定しています。

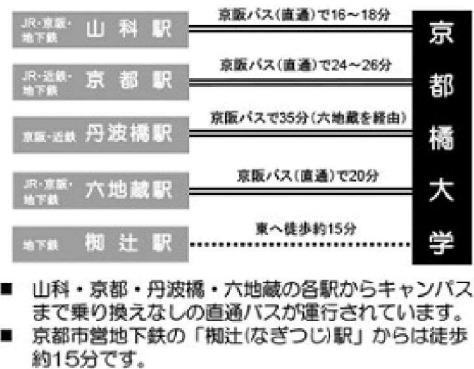
研究課題	教員の指導のもと、具体的な研究課題に取り組み、専門性やその実践力の定着を図る。
専門領域	<p><b>応用情報学</b>                      基盤的技術を応用して様々な分野の価値創造に取り組む知識・技術                      (グラフィックス、ロボティクス、セキュリティ、パターン認識等)</p> <p><b>基盤情報学</b>                      情報分野の基盤となる情報ネットワークの構築と運用に関する知識・技術                      (ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークやこれらの横断的技術等)</p>
領域共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究科で学ぶための導入的知識・技術</li> <li>情報分野の専門性を社会で実践・活用するための知識・技術</li> </ul>

初年度学費(他大学を比べ)

大学院・研究科名 (所在地)	入学金 授業料他	初年度 合計
京都橋大学大学院 情報学研究科(仮称) (京都市山科区)	200,000円 800,000円	1,000,000円
龍谷大学院大学院 理工学研究科 情報メディア学専攻 (滋賀県大津市)	200,000円 894,600円	1,094,600円
京都産業大学大学院 先端情報学研究科 (京都市北区)	200,000円 968,000円	1,168,000円

※ 京都橋大学大学院 情報学研究科(仮称)の学費は予定のものです。  
 ※ 他大学大学院の学費は各大学ホームページ掲載情報に基づきます。  
 (2022年7月時点)  
 ※ いずれの大学院も諸会費を含みません。  
 ※ 他大学大学院の入学金は学外から入学の場合となります。

アクセス



上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

Q12

必須設定 回答必須

回答者条件 Q10 = 「2. 受験しない」

- カテゴリ 7.現時点ではわからない

回答制御 ( Q12 ≠ 「1. 大学院進学に興味はないから」～「6. 在 school を卒業後は就職をしたいから」) かつ  
Q12 ≠ 「8. その他」 に該当しない場合はアラートを表示

- カテゴリ 8.その他

- カテゴリ 8.その他 の詳細入力 1

必須設定 回答必須

入力文字数 100文字まで

## Q12

あなたが京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科(仮称)」を「受験しない」とされた理由をお答えください。(いくつでも)

- 1  大学院進学に興味はないから
- 2  大学院進学に興味はあるが、関心のある専攻ではないから
- 3  大学院進学に興味はあるが、他に進学を希望している大学院・研究科があるから
- 4  京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称)」に興味はあるが、更に詳細を知った上で検討したいから
- 5  仕事や家事との両立が不安だから
- 6  在 school を卒業後は就職をしたいから
- 7  現時点ではわからない
- 8  その他

次へ

0 50 100(%)



Q13

必須設定 回答必須

## Q13

大学院とは別に、情報系の分野で京都橘大学が社会人向け教育プログラムを実施する場合、受講したいと思いますか。

- 1  受講したい
- 2  状況(勤務先の了解等)によって受講したい
- 3  受講しない

送信

0 50 100(%)

京都橘大学大学院「情報学研究科（仮称）」  
設置構想についての進学意向アンケート調査  
（対象：学外の学部3年生以上／社会人）

問1 あなたは過去3ヵ月以内に、京都橘大学大学院「情報学研究科（仮称）」の進学意向についてのアンケート調査に回答されたことはありますか。（あてはまるもの1つに○）

※複数のアンケートに重複回答されることを避けるための設問です。

1. いいえ ⇒ 問2以降にご回答ください。
2. はい ⇒ 質問は以上となります。ご回答いただき、ありがとうございました。

問2 あなたが現在お住まいの都道府県をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

1. 京都府
2. 滋賀県
3. 大阪府
4. 奈良県
5. 兵庫県
6. その他

問3 あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

1. 男性
2. 女性
3. 回答しない

問4 あなたの年代をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

1. 10代
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代以上

問5 あなたの現在の状況についてお答えください。（あてはまるもの1つに○）

1. 大学1年生
2. 大学2年生
3. 大学3年生
4. 大学4年生
5. 在職中
6. 主婦
7. 無職
8. その他

問6 あなたの最終学歴をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

1. 中学校
2. 高等学校
3. 短期大学
4. 高等専門学校
5. 専門学校
6. 大学（学部）
7. 大学院（修士）
8. 大学院（博士）

問7 【問7は問6で3～8を選択した方がご回答ください。】

学生の方は在学中の、既卒の方は卒業された学部・研究科の学問分野をお答えください。

(あてはまるもの1つに○)

- |                             |            |                     |           |
|-----------------------------|------------|---------------------|-----------|
| 1. 文学                       | 2. 語学・言語学  | 3. 史学・考古学           | 4. 哲学・倫理学 |
| 5. 心理学                      | 6. 社会学     | 7. 国際関係学            | 8. 経済学    |
| 9. 経営学                      | 10. 商学・会計学 | 11. 法学              | 12. 政治学   |
| 13. 教育学                     | 14. 保育・児童学 | 15. 理学              | 16. 工学    |
| 17. 情報学                     | 18. 医学     | 19. 歯学              | 20. 薬学    |
| 21. 看護・福祉                   | 22. 食物・栄養学 |                     |           |
| 23. 農学・水産学・獣医学              |            | 24. 芸術学             |           |
| 25. 体育・健康・保健科学              |            | 26. ビジネス・マーケティング    |           |
| 27. 栄養・調理・製菓                |            | 28. 旅行・観光・ホテル・ブライダル |           |
| 29. 美容・理容・ヘアメイク・メイク・ネイル・エステ |            |                     |           |
| 30. アート・デザイン・写真             |            | 31. ファッション・和裁       |           |
| 32. ゲーム・マルチメディア・コンピュータ      |            | 33. 自動車・航空・宇宙       |           |
| 34. 建築・土木・インテリア             |            | 35. その他             |           |

問8 あなたの現在の勤務先の業種をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1. 農業、林業、漁業、鉱業       | 2. 建設業             |
| 3. 電気、ガス、熱供給、水道業     | 4. 製造業             |
| 5. 通信業               | 6. IT関連業           |
| 7. 放送、新聞、出版業         | 8. 運輸業、郵便業         |
| 9. 金融業(銀行・信託・証券・貸金)  | 10. 保険業            |
| 11. 卸売業、小売業          | 12. 学術研究、専門・技術サービス |
| 13. 不動産業、物品賃貸業       | 14. 宿泊業、飲食サービス業    |
| 15. 教育、学習支援業(教育機関以外) | 16. 生活関連サービス業、娯楽業  |
| 17. 医療、福祉            | 18. その他サービス業       |
| 19. 教育機関(大学)         | 20. 教育機関(大学以外)     |
| 21. 国家公務             | 22. 地方公務           |
| 23. 非営利団体            | 24. その他            |

問9 あなたが現在従事する職種をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- |            |             |        |         |
|------------|-------------|--------|---------|
| 1. 経営      | 2. 営業       | 3. 事務  | 4. 企画   |
| 5. サービス・販売 | 6. 専門職      | 7. 技術  | 8. 開発   |
| 9. 研究      | 10. クリエイティブ | 11. 教員 | 12. その他 |

以降は京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科（仮称）」概要を見てお答えください。

問 10 あなたは京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科（仮称）」を受験したいと思いますか。  
（あてはまるもの1つに○）

1. 受験したい ⇒ 問 11 へ
2. 受験しない ⇒ 問 12・問 13 へ

問 11 【問 11 は問 10 で 1 を選択した方がご回答ください。】

あなたは京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科（仮称）」を受験し合格した場合、進学したいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 合格した場合、進学したい（2024 年度開設時）
2. 合格した場合、進学したい（2025 年度以降）
3. 合格した場合、状況(勤務先の了解、経済状況等)によって進学したい

問 12 【問 12 は問 10 で 2 を選択した方がご回答ください。】

あなたが京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科（仮称）」を「受験しない」とされた理由をお答えください。（あてはまるもの全てに○）

1. 大学院進学に興味はないから
2. 大学院進学に興味はあるが、関心のある専攻ではないから
3. 大学院進学に興味はあるが、他に進学を希望している大学院・研究科があるから
4. 京都橘大学大学院「情報学研究科（仮称）」に興味はあるが、更に詳細を知った上で検討したいから
5. (既卒者の方) 仕事や家事との両立が不安だから
6. (学生の方) 卒業後は就職をしたいから
7. 現時点ではわからない
8. その他

問 13 【問 13 は問 10 で 2 を選択した方がご回答ください。】

大学院とは別に、情報系の分野で京都橘大学が社会人向け教育プログラムを実施する場合、受講したいと思いますか（あてはまるもの1つに○）

1. 受講したい
2. 状況(勤務先の了解等)によって受講したい
3. 受講しない

質問は以上になります。ご協力をいただき、ありがとうございました。



## 京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称・設置構想中)」 設置構想についての進学意向アンケート調査

(対象：京都橘大学工学部情報工学科在学中の皆さん)

京都橘大学は2024年度、大学院「情報学研究科(仮称)」の設置を構想しています。本学ではこのアンケート調査を通して皆さんの情報工学科卒業後の進学ニーズについて調査を行い、構想内容に反映したいと考えています。ご回答いただいた皆様から得られた情報は京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称)」設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。また、皆さんの回答結果は設置構想の検討のみに使用し、情報工学科卒業後の進路や大学院入学には影響及ぼしません。

アンケート調査へのご協力を、謹んでお願い申し上げます。

※このアンケート調査は京都橘大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

記入例を参考にご回答ください。



問1 あなたの性別をお答えください。（あてはまるものにマーク）

- 男性       女性

問2 あなたが工学部情報工学科に入学した年度をお答えください。（あてはまるものにマーク）

- 2021年4月       2022年4月

以降は京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科(仮称)」の概要（別紙）を見てお答えください。

問3 あなたは京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科（仮称）」の修士課程を受験したいと思いますか。（あてはまるものにマーク）

- 受験したい      ⇒ 下記の間4にお答えください。  
 受験しない      ⇒ 2ページの間5にお答えください。

問4 は問3で「受験したい」とした方がお答えください。

問4 あなたは京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科（仮称）」を受験し合格した場合、進学したいと思いますか。（あてはまるものにマーク）

- 合格した場合、進学したい  
 合格した場合、状況によって進学したい





問5は問3で「受験しない」とした方がお答えください。

問5 あなたが京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科（仮称）」を「受験しない」とされた理由をお答えください。（あてはまるもの全てにマーク）

- 学部卒業後は就職をしたいから
- 大学院進学に興味はないから
- 大学院進学に興味はあるが、他に進学を希望している研究科があるから（京都橘大学内）
- 大学院進学に興味はあるが、他に進学を希望している研究科があるから（他大学）
- 京都橘大学大学院「情報学研究科（仮称）」に興味はあるが、更に詳細を知った上で検討したいから
- 現時点ではわからない
- その他

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。



# 京都橋大学 2024年4月開設に向け、設置構想中

## 大学院 情報学研究科 情報学専攻 修士課程 (仮称)

本研究科の概要

名称：情報学研究科 情報学専攻 修士課程(仮称)  
 開設時期：2024(令和6)年4月(予定)  
 開設場所：京都橋大学(〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34)  
 修業年限：2年  
 入学定員：10名を予定(収容定員:20名を予定)  
 取得学位：修士(工学)

### ◆「情報学研究科(仮称)」の対象者 & 修了後のイメージ

例1 情報工学科(他大学含む)卒業生

修了後は… 学士レベルで身につけた体系的な知識をベースに、社会で実践的に活用できる先進的な知識・技能を修得し活躍。

例2 情報系企業等で働く、あるいは情報技術の事業への活用を志向する一般企業の社会人

修了後は… 情報学の基礎的な知識と業務経験をベースに社会に対応した先進的な知識・技能を身につけ、  
 ① 自組織や事業の課題について具体的なソリューションを考案・計画・実装。  
 ② 自身のキャリアをステップアップ。

### ◆「情報学研究科(仮称)」の養成する人材・特色

情報分野の専門的知識・技術とそれらを実践する力を修得し、社会における課題解決・価値創造に貢献することのできる人材を養成します。

そのために、本研究科では共通領域、専門領域（基盤情報学・応用情報学）、課題研究の3領域を設け、専門的知識・技術とそれらの実践までを一貫して学び、研究課題に取り組みます。

\*仕事と両立がしやすいよう、オンラインによる指導・授業を一部予定しています。

研究課題

教員の指導のもと、具体的な研究課題に取り組み、専門性やその実践力の定着を図る。

専門領域

#### 応用情報学

基盤的技術を応用して様々な分野の価値創造に取り組む知識・技術  
 (グラフィックス、ロボティクス、セキュリティ、パターン認識等)

#### 基盤情報学

情報分野の基盤となる情報ネットワークの構築と運用に関する知識・技術  
 (ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークやこれらの横断的技術等)

領域共通

- ・ 研究科で学ぶための導入的知識・技術
- ・ 情報分野の専門性を社会で実践・活用するための知識・技術

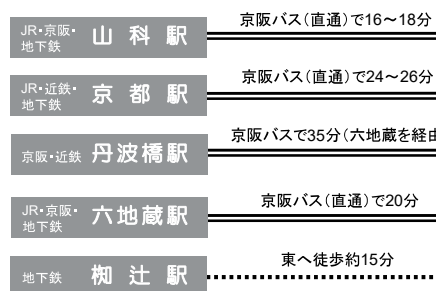
情報学研究科(仮称)の特色

初年度学費(他大学をきむ)

大学院・研究科名 (所在地)	入学金	初年度 合計
	授業料他	
京都橋大学大学院 情報学研究科(仮称) (京都市山科区)	200,000円	1,000,000円
	800,000円	
龍谷大学院大学院 理工学研究科 情報メディア学専攻 (滋賀県大津市)	200,000円	1,094,600円
	894,600円	
京都産業大学大学院 先端情報学研究科 (京都市北区)	200,000円	1,168,000円
	968,000円	

- ※ 京都橋大学大学院 情報学研究科(仮称)の学費は予定のものです。
- ※ 他大学大学院の学費は各大学ホームページ掲載情報に基づきます。(2022年7月時点)
- ※ いずれの大学院も諸会費を含みません。
- ※ 他大学大学院の入学金は学外から入学の場合となります。

アクセス



- 山科・京都・丹波橋・六地蔵の各駅からキャンパスまで乗り換えなしの直通バスが運行されています。
- 京都市営地下鉄の「柳辻(なぎつじ)駅」からは徒歩約15分です。

## 参考資料



進学意向アンケート調査Ⅰクロス集計表①（「受験したい」 x 「現在の状況」 x 「最終学歴の学問分野」）

「受験したい」214人	合計	在職中	その他（学生以外）	主婦	無職	大学3年生	大学4年生以上	大学院生
合計	214	142	36	16	10	4	4	2
文学	15	12	1		2			
語学・言語学	10	3	1	6				
史学・考古学	3	2	1					
哲学・倫理学								
心理学	7	5	2					
社会学	10	8	1					1
国際関係学	3	2		1				
経済学	35	23	5	2	4		1	
経営学	12	5	5	1	1			
商学・会計学	14	9	3				2	
法学	14	13	1					
政治学	2	1			1			
教育学	5	2	1	1		1		
保育・児童学								
理学	6	6						
工学	35	28	5	1	1			
情報学	5		3	1			1	
医学	3	3						
歯学	1	1						
薬学	2		1			1		
看護・福祉	4	3	1					
食物・栄養学	1			1				
農学・水産学・獣医学	2		1	1				
芸術学	1	1						
体育・健康・保健科学	2	2						
ビジネス・マーケティング								
栄養・調理・製菓								
旅行・観光・ホテル・ブライダル								
美容・理容・ヘアメイク・メイク・ネイル・エステ								
アート・デザイン・写真								
ファッション・和裁								
ゲーム・マルチメディア・コンピュータ	3	2	1					
自動車・航空・宇宙	1	1						
建築・土木・インテリア	5	2	1			1		1
その他	9	4	2	1	1	1		
無回答	4	4						

進学意向アンケート調査Ⅰクロス集計表②（「受験したい」x「勤務する業種」x「勤務する職種」）※現在の状況が「在職中」の回答者のみ

受験したい&在職中142人	合計	経営	営業	事務	企画	サービス・販売	専門職	技術	開発	研究	クリエイティブ	教員	その他	無回答
合計	142	12	22	33	5	7	11	23	13	2	1		13	
農業、林業、漁業、鉱業														
建設業	15	1	4	2			2	5	1					
電気、ガス、熱供給、水道業	3							1	1				1	
製造業	42	3	6	10	3		1	11	5	2			1	
通信業														
IT関連業	10		1			1		3	5					
放送、新聞、出版業														
運輸業、郵便業	3			1	1								1	
金融業（銀行・信託・証券・貸金）	10		4	6										
保険業	1			1										
卸売業、小売業	18	3	4	3	1	2		1			1		3	
学術研究、専門・技術サービス	3		1				2							
不動産業、物品賃貸業	2							1					1	
宿泊業、飲食サービス業	4	1				3								
教育、学習支援業（教育機関以外）	5	2		2					1					
生活関連サービス業、娯楽業	1			1										
医療、福祉	9			1		1	6	1						
その他サービス業	5	1	1										3	
教育機関（大学）														
教育機関（大学以外）	1			1										
国家公務														
地方公務	3			2									1	
非営利団体	2	1		1										
その他	5		1	2									2	
無回答														

進学意向アンケート調査Ⅰクロス集計表③

(「合格した場合、進学したい(2024年度開設時)」×「現在の状況」×「最終学歴の学問分野」)

「進学したい(2024年度)」65人	合計	在職中	その他(学生以外)	主婦	無職	大学3年生	大学4年生以上	大学院生	無回答
合計	65	45	8	6	2	2	2		
文学	3	2			1				
語学・言語学	3	1		2					
史学・考古学									
哲学・倫理学									
心理学	3	2	1						
社会学	4	4							
国際関係学	1			1					
経済学	11	8	1		1		1		
経営学	1			1					
商学・会計学	3	2					1		
法学	6	5	1						
政治学									
教育学	1					1			
保育・児童学									
理学	1	1							
工学	14	12	1	1					
情報学	3		2	1					
医学									
歯学	1	1							
薬学	1		1						
看護・福祉	2	2							
食物・栄養学									
農学・水産学・獣医学	1		1						
芸術学									
体育・健康・保健科学	2	2							
ビジネス・マーケティング									
栄養・調理・製菓									
旅行・観光・ホテル・ブライダル									
美容・理容・ヘアメイク・メイク・ネイル・エステ									
アート・デザイン・写真									
ファッション・和裁									
ゲーム・マルチメディア・コンピュータ									
自動車・航空・宇宙									
建築・土木・インテリア	2	1				1			
その他	1	1							
無回答	1	1							

進学意向アンケート調査Ⅰクロス集計表④

(「合格した場合、進学したい(2024年度開設時)」 x 「現在の状況」 x 「最終学歴の学問分野」)

※最終学歴が「大学(学部)」のみ

「進学したい(2024年度)」65人	合計	在職中	その他(学生以外)	主婦	無職	大学3年生	大学4年生以上	大学院生	無回答
合計	53	40	7	4	2				
文学	3	2			1				
語学・言語学	3	1		2					
史学・考古学									
哲学・倫理学									
心理学	3	2	1						
社会学	4	4							
国際関係学	1			1					
経済学	10	8	1		1				
経営学	1			1					
商学・会計学	2	2							
法学	6	5	1						
政治学									
教育学									
保育・児童学									
理学	1	1							
工学	11	10	1						
情報学	1		1						
医学									
歯学									
薬学	1		1						
看護・福祉	2	2							
食物・栄養学									
農学・水産学・獣医学	1		1						
芸術学									
体育・健康・保健科学	2	2							
ビジネス・マーケティング									
栄養・調理・製菓									
旅行・観光・ホテル・ブライダル									
美容・理容・ヘアメイク・メイク・ネイル・エステ									
アート・デザイン・写真									
ファッション・和裁									
ゲーム・マルチメディア・コンピュータ									
自動車・航空・宇宙									
建築・土木・インテリア									
その他	1	1							
無回答									

### 資料13 全国の情報系学部の入学志願者・入学者動向

区 分	2018年度 (平成30)	2019年度 (令和元)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)
入学定員(A)	4,101 人	3,901 人	3,920 人	3,965 人	4,655 人
対前年度伸び率	25.6 %	-4.9 %	0.5 %	1.1 %	17.4 %
入学志願者数(B)	53,038 人	59,364 人	65,521 人	63,278 人	88,305 人
対前年度伸び率	52.7 %	11.9 %	10.4 %	-3.4 %	39.6 %
入学者数(C)	4,139 人	4,165 人	4,099 人	4,323 人	4,983 人
対前年度伸び率	19.8 %	0.6 %	-1.6 %	5.5 %	15.3 %
入学定員充足率 (C/A × 100)	100.93 %	106.77 %	104.57 %	109.03 %	107.05 %
対前年度増減	-4.83	5.84	-2.20	4.46	-1.98

出典：日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター「私立大学・短期大学等入学志願動向」(各年度版)情報科学部、情報学部、情報理工学部を集計

資料14 京都・滋賀・大阪地区の私立大学情報系学部・学科 入学志願者の推移

大学	学部	学科	項目	2018年度 (平成30)	2019年度 (令和元)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)	キャンパス 所在地
京都産業	情報理工	情報理工	入学定員	160	160	160	160	160	京都府京都市
			志願者	5,400	5,182	6,333	4,940	4,320	
同志社	理工	インテリジェント情報工	入学定員	83	83	83	83	83	京都府京田辺市
			志願者	1,197	1,287	1,284	1,409	1,481	
		情報システムデザイン	入学定員	83	83	83	83	83	京都府京田辺市
			志願者	1,086	1,102	1,058	995	1,221	
立命館	情報理工	情報理工	入学定員	475	475	475	475	475	滋賀県草津市
			志願者	5,405	4,560	5,523	4,831	5,241	
	理工	電子情報工	入学定員	102	102	102	102	102	滋賀県草津市
			志願者	2,257	2,242	2,629	2,107	2,282	
龍谷	先端理工 ※1 2020年度改組	数理・情報科学 ※2 2020年度改組	入学定員	95	95	95	95	103	滋賀県大津市
			志願者	737	1,064	1,270	1,290	1,022	
		電子情報通信 ※3 2020年度改組	入学定員	95	95	95	95	103	滋賀県大津市
			志願者	1,068	1,433	1,510	1,453	1,518	
		知能情報メディア ※4 2020年度改組	入学定員	95	95	95	95	103	滋賀県大津市
			志願者	981	1,530	1,467	1,326	1,438	
大阪学院	情報	情報	入学定員	100	100	100	100	100	大阪府吹田市
			志願者	349	785	932	629	585	
大阪工業	情報科	情報知能 ※5 2019年度改称	入学定員	105	105	90	90	90	大阪府枚方市
			志願者	685	1,159	1,049	745	750	
		情報システム	入学定員	105	105	105	105	105	大阪府枚方市
			志願者	1,932	2,305	2,233	1,978	2,380	
		情報メディア	入学定員	105	105	105	105	105	大阪府枚方市
			志願者	1,093	1,893	1,509	1,042	992	
		ネットワークデザイン	入学定員	105	105	105	90	90	大阪府枚方市
			志願者	582	664	640	413	469	
大阪産業	デザイン工	情報システム	入学定員	105	105	105	105	105	大阪府大東市
			志願者	745	1,261	1,930	1,957	2,094	
大阪電気通信	情報通信工	情報工	入学定員	160	160	160	160	160	大阪府寝屋川市
			志願者	1,007	1,815	2,415	1,899	1,845	
	総合情報	情報	入学定員	90	90	90	90	90	大阪府寝屋川市
			志願者	472	788	1,131	830	862	
関西	総合情報	総合情報	入学定員	500	500	500	500	500	大阪府高槻市
			志願者	5,406	6,543	5,940	5,250	4,920	
近畿	情報 ※6 2022年度改組	情報	入学定員	190	190	190	190	330	大阪府東大阪市
			志願者	5,438	7,346	7,767	6,766	16,981	

合 計			入学定員	2,753	2,753	2,738	2,723	2,887
			志願者	35,840	42,959	46,620	39,860	50,401

出典：各大学公式HPおよび旺文社HPパスナビ

注1：一部の大学で入学志願者数ではなく、受験者数を記載している場合がある

注2：学部・学科名および入学定員は2022年度現在で記載

※1：2019年度までは「理工」

※2：2019年度までは「数理情報」

※3：2019年度までは「電子情報」

※4：2019年度までは「情報メディア」

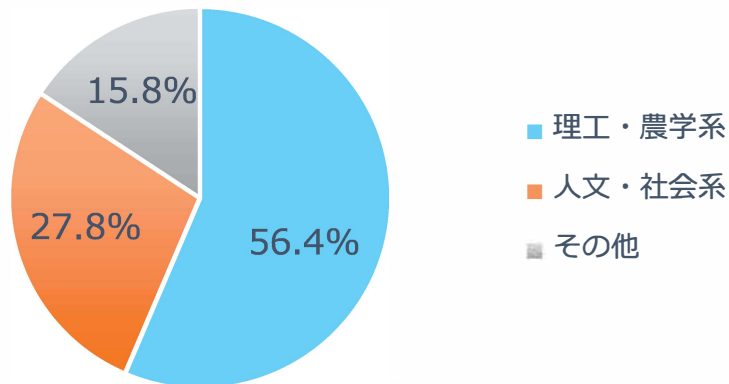
※5：2018年度までは「コンピュータ科」

※6：2021年度までは「理工」

## 結果の概要 1 (基礎情報)

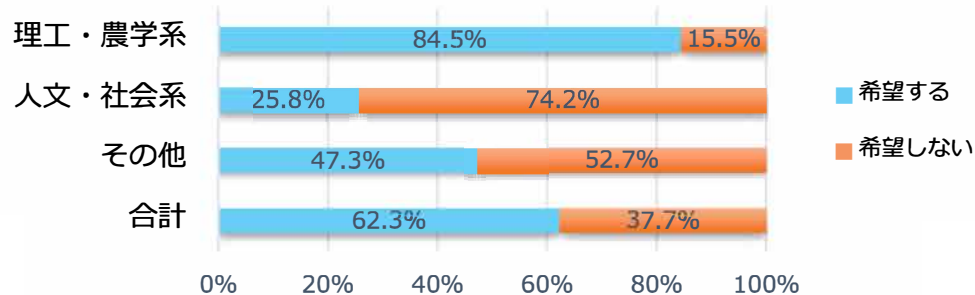
- 理工・農学系の学部等に所属する者は約**56%**。
- 人文・社会系の学部等に所属する者は約**28%**。

図1-1 所属する学部等の学問分野



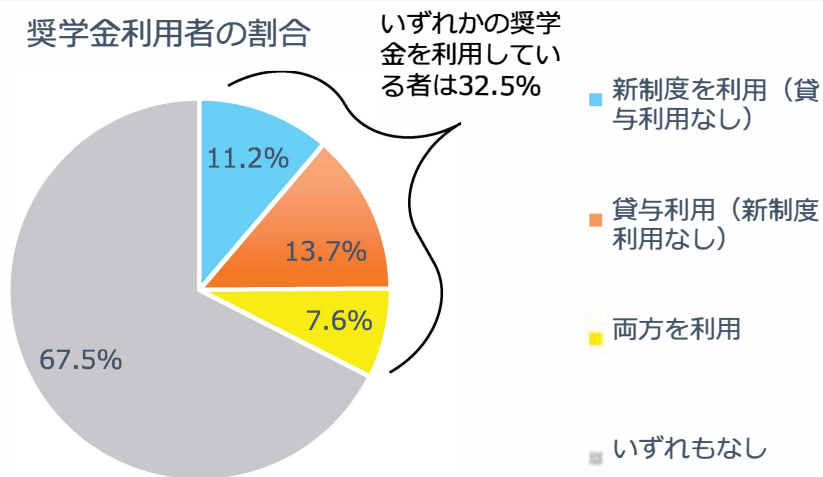
- 大学院への進学希望を有する者は約**6割**。
- 大学院への進学希望率について、専攻分野別にみると理工・農学系が約**85%**で、他の分野に比べて高い。

図1-2-1 大学院への進学の希望(専攻分野別)



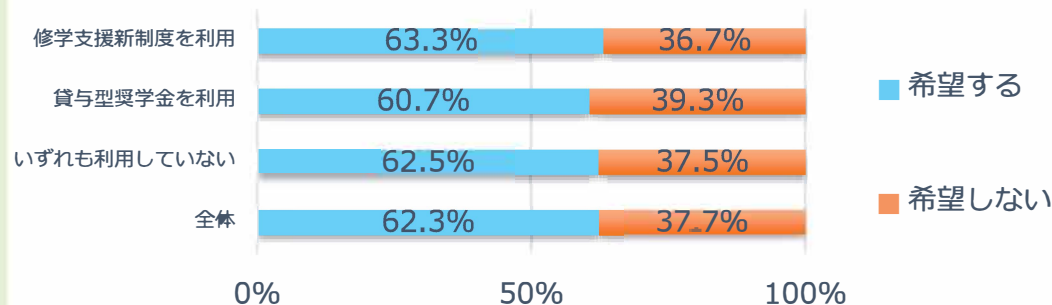
- 高等教育の修学支援新制度（授業料等減免及び給付型奨学金）を利用している者は約**19%**。
- 日本学生支援機構の貸与型奨学金を利用している者は約**22%**。

図1-3 奨学金利用者の割合



- 大学院への進学希望率について、奨学金の利用の有無によって傾向に差はみられなかった。

図1-2-2 大学院への進学の希望(奨学金利用状況別)



※修学支援新制度と貸与型奨学金をいずれも利用している回答者は、「修学支援新制度を利用」と「貸与型奨学金を利用」の両方に計上されている。以降の分類においても同じ。

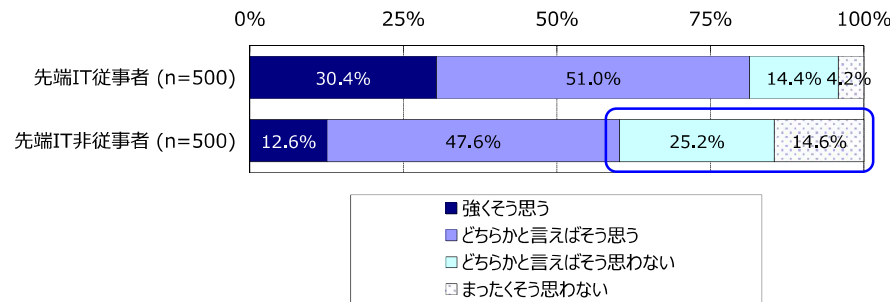
※「理工・農学系」は「理学・工学系」又は「農学系」を選択した学生。「人文社会系」は「文・外国語・国際・文化系」又は「法・政治・経済・商・社会」を選択した学生。「その他」は「薬学系」、「医学・歯学系」、「看護・保健系」、「教育・教員養成系」又は「その他（芸術、スポーツ、家政、学際分野など）」を選択した学生。以降の分類において同じ。

※各大学で回答者を抽出する際に、回答者の内20%が新制度利用者となるように依頼。

# デジタル人材と従来型人材のスキルアップに関する課題

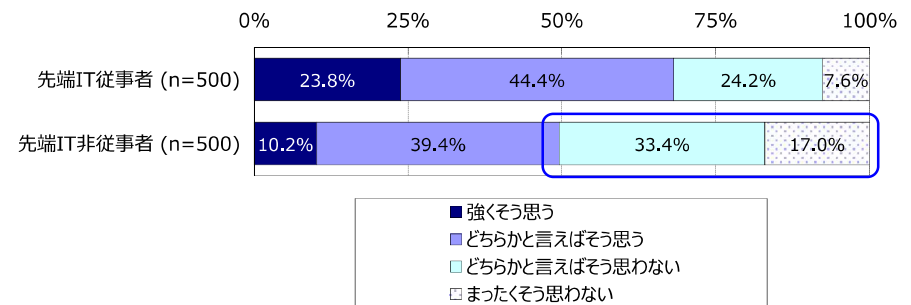
- 勉強の必要性を感じない背景には、今後も、現在と同じスキルが通用するという認識があると考えられる。
- 先端IT非従事者の約4割が、これからも活躍し続ける上で、新しいスキルの習得は特に必要ではないと感じているほか、約半数が、将来自分のスキルが陳腐化することを特に心配していない。
- このように、**すでに起こりつつあるデジタル時代の市場・環境変化の激しさが十分に認識されていないことが、現在と同じスキルが通用するという認識の裏にある**とみられる。

「これからも活躍し続けるためには、新しいスキルの習得が必要だと思う」



新しいスキルの習得が特に必要とは思わない=約4割

「将来、自分のスキルが陳腐化することを心配している」



将来自分のスキルが陳腐化することを特に心配していない=約5割

(出典) IPA 「Reスキル・人材流動の実態調査及び促進策検討」(2020年)



(3) 経営上の不安要素について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位7項目）のみの表示としている。

図 39. 経営上の不安要素（全体）回答状況

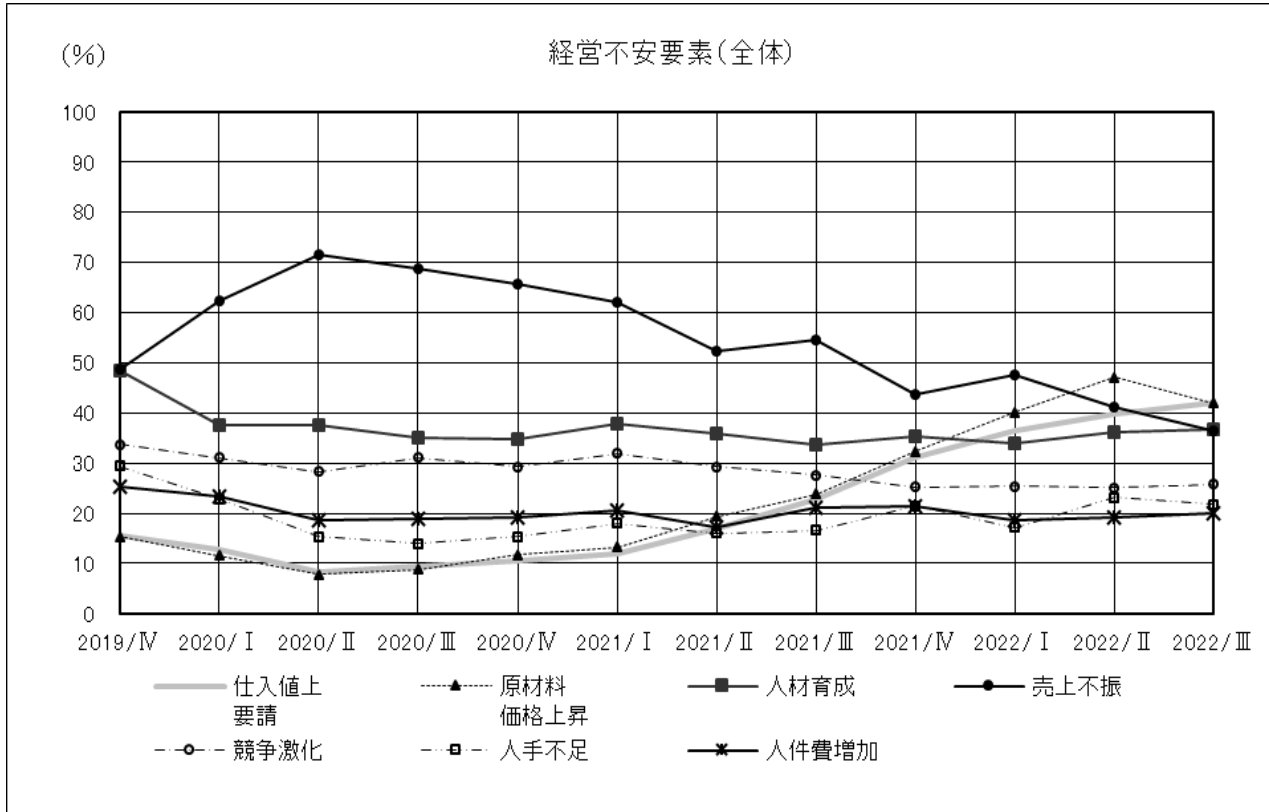
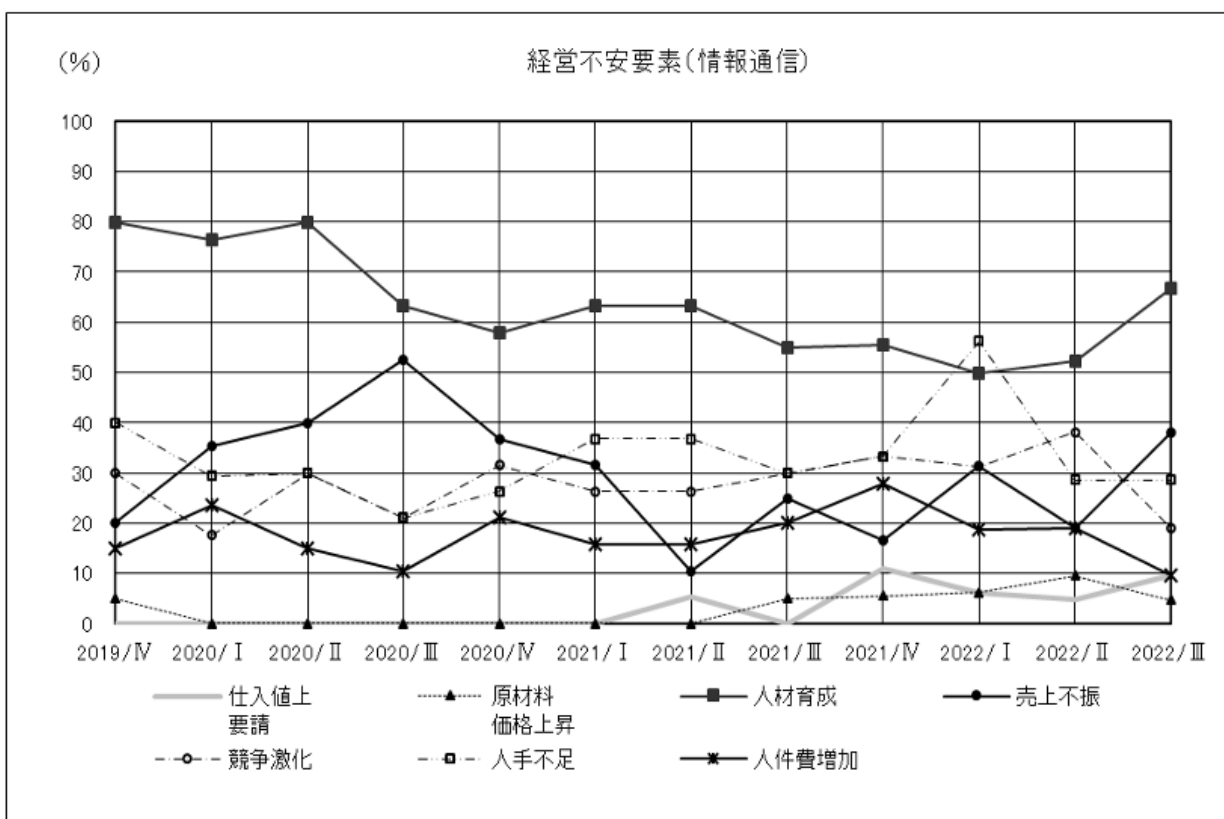


図 52. 経営上の不安要素（情報通信）



資料18 近隣他大学情報系研究科入学定員および入学者数

大学	研究科	専攻	項目	2020年度 (※1)	2021年度 (※1)	2022年度 (※1)
京都産業	先端情報学	先端情報学	定員	20	20	20
			志願者			
			合格			
			入学者	11	24	20
同志社	理工学	情報工学	定員	60	60	60
			志願者	77	82	104
			合格	66	73	98
			入学者	60	65	91
立命館	情報理工学	情報理工学	定員	200	200	200
			志願者	239	256	241
			合格	214	217	214
			入学者	188	187	181
龍谷	理工学	電子情報学	定員	25	25	25
			志願者	11	30	24
			合格	11	26	21
			入学者	8	23	15
		情報メディア学	定員	20	20	20
			志願者	8	18	25
			合格	5	17	24
			入学者	5	14	10
大阪学院	コンピュータサイエンス	コンピュータサイエンス	定員	10	10	10
			志願者			
			合格			
			入学者	0	7	1
大阪工業	情報科学	情報科学	定員	40	40	40
			志願者			
			合格			
			入学者	49	48	31
大阪産業	工学	情報システム工学	定員	10	10	10
			志願者	2	2	1
			合格	2	1	1
			入学者	2	1	1
大阪電気通信	総合情報学	総合情報学	定員	30	30	30
			志願者	25	25	
			合格	25	25	
			入学者※2	25	24	17
関西	総合情報	知識情報	定員	40	35	35
			志願者	22	27	37
			合格	21	26	33
			入学者	20	23	32
近畿	総合理工学	エレクトロニクス系工学	定員	30	30	30
			志願者	45	68	102
			合格	41	66	96
			入学者		61	44

出典：各大学公式HP

※1：斜線は公表データ無し

※2：大阪電気通信大学の2022年入学者は不明のため2022年4月1日の1年次在籍者を記載

### 資料19 京都橘大学情報工学科入学者数等の推移

区 分	2021年度 (令和3)			2022年度 (令和4)		
	延べ人数	実人数 <small>(受験方式や日程等の併願による重複を除く)</small>	うち他学科との併願者数	延べ人数	実人数 <small>(受験方式や日程等の併願による重複を除く)</small>	うち他学科との併願者数
入学定員	130 人			130 人		
志願者数	1,017 人	583 人	460 人	1,844 人	694 人	541 人
受験者数	853 人	515 人	405 人	1,694 人	672 人	529 人
合格者数	408 人	358 人	285 人	689 人	398 人	305 人
入学者数	128 人			156 人		
入学定員充足率	98.5%			120.0%		

## 資料20 第11回全国院生生活実態調査

出典 全国大学生協同組合連合会HP

引用範囲 [https://www.univcoop.or.jp/press/life/report\\_m11.html](https://www.univcoop.or.jp/press/life/report_m11.html)

説明 第11回全国院生生活実態調査概要報告から「4.進路」についての説明と図表22を抜粋

京都橘大学大学院  
「情報学研究科（仮称・設置構想中）」  
設置に係る人材需要の見通し調査  
（設置構想についての人材需要アンケート調査）  
報告書

令和5年1月

株式会社高等教育総合研究所

京都橘大学大学院  
「情報学研究科（仮称・設置構想中）」  
設置に係る人材需要の見通し調査  
（設置構想についての人材需要アンケート調査）

報告書 目次

1. 人材需要アンケート調査 実施概要	3
2. 人材需要アンケート調査 集計結果	4
3. 人材需要アンケート調査 集計結果ポイント	6
(添付資料)	
人材需要アンケート調査用紙	10
京都橘大学大学院「情報学研究科（仮称・設置構想中）」概要資料	12

## 1. 人材需要アンケート調査 実施概要

調査対象	京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科(仮称・設置構想中)」が養成する人材(修了生)の採用意向が見込まれる、主に京都府・大阪府(大阪市以北)・滋賀県に本社を置く以下の企業576箇所を対象とし、人材需要アンケート調査を送付した。 ●情報通信、インターネット業、ソフトウェア関連業(従業員200人以上)172箇所 ●上記以外の全業種(従業員1,000人以上)404箇所
調査内容	●回答企業の基本情報(業種、従業員規模、所在地) ●京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科(仮称・設置構想中)」が養成する人材のニーズ、採用意向、従業員への進学推奨について 全7問で主に選択肢式(一部記述)。
調査時期	令和4(2022)年10月～11月
調査方法	上記の調査対象に、アンケート調査用紙・京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称・設置構想中)」概要、返送用封筒を送付し、ご協力いただける場合に回答済アンケート調査用紙の返送を依頼した。
回答件数	有効回答数97箇所(返送率16.8%)

## 2. 人材需要アンケート調査 集計結果

問1 貴社・貴機関の主業種として、最もあてはまるものをお答えください。(最もあてはまるもの1つにマーク)

選択肢		回答数	構成比
1	農業、林業、漁業、鉱業	0	0.0%
2	建設業	5	5.2%
3	製造業：製造品目	11	11.3%
4	電気、ガス、熱供給、水道業	0	0.0%
5	通信業	2	2.1%
6	放送業、情報サービス業	13	13.4%
7	インターネット付随サービス業	2	2.1%
8	映像・音声・文字情報制作業	0	0.0%
9	運輸業、郵便業	6	6.2%
10	卸売業	6	6.2%
11	小売業	18	18.6%
12	金融業、保険業	2	2.1%
13	不動産業、物品賃貸業	2	2.1%
14	学術研究、専門・技術サービス業	2	2.1%
15	宿泊業、飲食サービス業	10	10.3%
16	生活関連サービス業、娯楽業	0	0.0%
17	教育、学習支援業	1	1.0%
18	医療、福祉	8	8.2%
19	複合サービス事業	1	1.0%
20	上記以外サービス業	5	5.2%
21	公務	0	0.0%
22	その他	3	3.1%
	無回答	0	0.0%
	合計	97	100.0%

問2 貴社・貴機関の従業員・職員数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択肢		回答数	構成比
1	～99人	3	3.1%
2	100～299人	16	16.5%
3	300～499人	2	2.1%
4	500～999人	17	17.5%
5	1,000～2,999人	37	38.1%
6	3,000～9,999人	17	17.5%
7	10,000人～	3	3.1%
	無回答	2	2.1%
	合計	97	100.0%

問3 貴社の本社、貴機関の主たる事業所の所在地をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択肢		回答数	構成比
1	京都府	16	16.5%
2	大阪府	73	75.3%
3	滋賀県	6	6.2%
4	奈良県	0	0.0%
5	兵庫県	0	0.0%
6	和歌山県	0	0.0%
7	その他	1	1.0%
	無回答	1	1.0%
	合計	97	100.0%



問 4 京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科(仮称)」が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択肢		回答数	構成比
1	ニーズは極めて高い	36	37.1%
2	ニーズはある程度高い	40	41.2%
3	ニーズはあまりない	7	7.2%
4	ニーズは全くない	1	1.0%
5	わからない	13	13.4%
	無回答	0	0.0%
合計		97	100.0%

問 5 京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科(仮称)」が養成する人材を、貴社・貴機関において採用したいと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択肢		回答数	構成比
1	採用したい	50	51.5%
2	採用しない	4	4.1%
3	わからない	43	44.3%
	無回答	0	0.0%
合計		97	100.0%

問 6 貴機関・貴施設で勤務されている人材を京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称)」で学ばせるために、進学・入学させるご意向についてお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択肢		回答数	構成比
1	研修制度(就学助成金)・休職制度などを利用させ、進学・入学させたい	1	1.0%
2	現職のまま進学・入学させたい	1	1.0%
3	進学・入学を推奨するが、本人の意思に任せる	4	4.1%
4	進学・入学を推奨する予定はない	50	51.5%
5	わからない	40	41.2%
	無回答	1	1.0%
合計		97	100.0%

問 7 京都橘大学が設置構想中の「情報学研究科(仮称)」について期待される点、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

1	ITサービスマネジメント(運用)設計、コンサルできる人材
2	IT化が進む昨今の社会情勢において貴学の学びはとてもニーズが高いと思われます。
3	現場のDX、IoT化等、製造業においても情報系の学生のニーズは極めて高い。机上やソフトウェア上で完結せず、学ばれた知識、技術をどのように製造現場に適用させるかという実践的な知識、技術を習得していただきたい。そのためにも、実際の現場に入って体験した上で問題点を見つけるという姿勢をもつ方になっていただきたいと考えます。
4	弊社は学部学科不問で採用を行っています。学生時代に興味関心を持ったことを深掘りする思考を身に付けていただきたいと考えております。
5	卒業後、業種を選ぶことなく社会へ出ていただきたい
6	プログラミングをはじめとしたシステムに関して得意で、システム導入に際して提案等ができる人材の輩出を期待しております。
7	病院なので、SEなどの学習があれば採用の可能性はある
8	個人のキャリアアップをはじめ、社会的ニーズにも適応されるよう発展することを期待しております。
9	様々な業界でデータ分析やDX化が課題となる中、人材の方が十分ではない状況です。情報処理やネットワーク知識がある人材はこれから益々必要になると思います。
10	IT業界である当社にとっては、とても興味深い内容でした。勤務者を推奨するとなると、なかなかハードルが高いですが専門知識を身に付けられた方の入社が叶うのであれば大変喜ばしいことです。
11	貴校の大学より入社後に幹部で業務されておられる方が2名おり、来期(R6年)の採用について積極的に会社説明会にご参加頂けると幸いです。

### 3. 人材需要アンケート調査 集計結果ポイント

#### ①回答元の基本情報

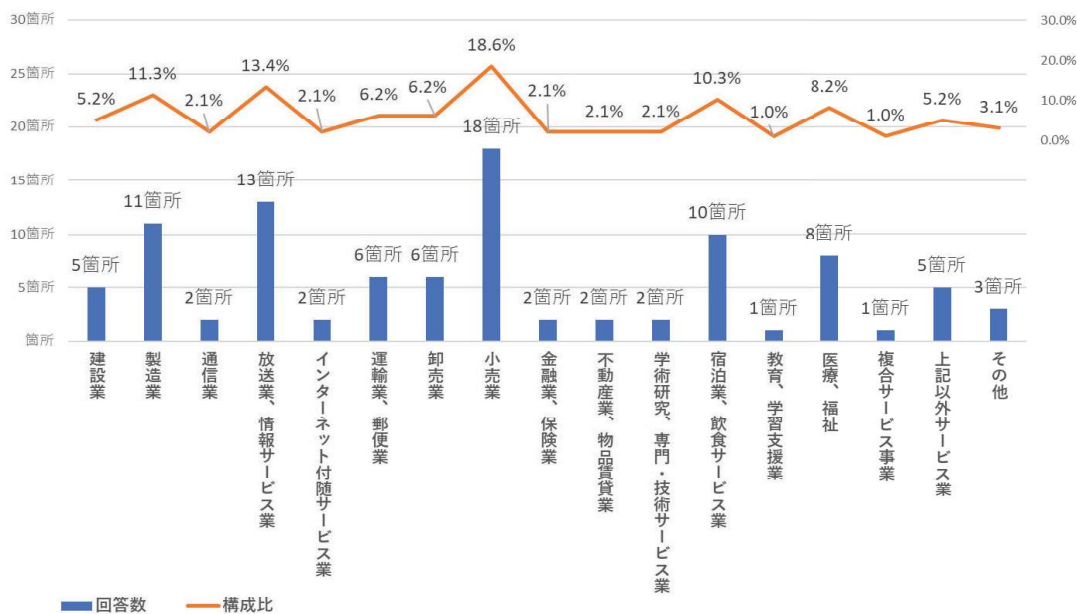
**Point 1** 本アンケート調査に対し、京阪地域の幅広い業種、さまざまな規模の企業97箇所が回答。

京都橋大学が設置構想中の大学院「情報学研究科(仮称)」の人材需要の見通しを検証するため、人材需要アンケート調査を実施し、97箇所より回答を得た。

回答元の業種としては「小売業」18箇所(18.6%)が最も多く、次いで「放送業、情報サービス業」13箇所(13.4%)、「製造業」11箇所(11.3%)の他、幅広い業種の企業から回答を得た(グラフ1)。従業員等規模別では「1,000～2,999人」37箇所(38.1%)が最も多く、次いで「500～999人」「3,000～9,999人」各17箇所(17.5%)、「100～299人」16箇所(16.5%)などであった(グラフ2)。所在地としては「情報学研究科(仮称)」の開設予定地である「京都府」16箇所(16.5%)の他、「大阪府」73箇所(75.3%)、「滋賀県」6箇所(6.2%)であった(グラフ3)。

以上の通り、本アンケート調査は京阪地域を中心とした幅広い業種のさまざまな規模の企業から回答を得た。

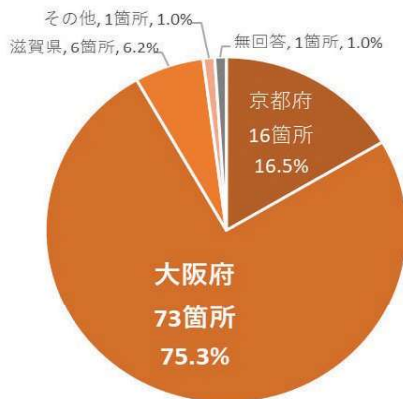
グラフ1： 回答元の業種



グラフ2： 回答元の従業員等規



グラフ3： 回答元の本社等所在地



## ②京都橘大学大学院「情報学研究科（仮称・設置構想中）」について・1

### Point 2

京都橘大学大学院「情報学研究科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズについて、8割近い76箇所（78.4%）が認める結果。

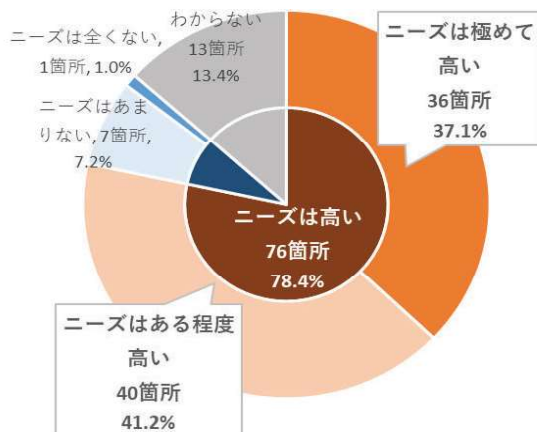
### Point 3

京都橘大学大学院「情報学研究科（仮称）」が養成する人材について、過半数の50箇所（51.5%）が採用意向を示す。

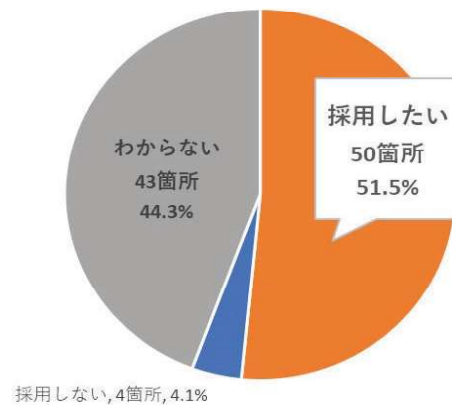
京都橘大学大学院「情報学研究科（仮称・設置構想中）」の概要を示した上で、養成する人材の社会的ニーズ、各回答元における採用意向について回答を求めた。

社会的ニーズについては「ニーズは極めて高い」36箇所（37.1%）、「ニーズはある程度高い」40箇所（41.2%）であった。合計すると約8割の76箇所（78.4%）が本研究科が養成する人材の社会的ニーズは高いとの認識を示した（グラフ4）。また、採用意向については「採用したい」としたのは、過半数の50箇所（51.5%）であった。

グラフ4：「情報学研究科（仮称）」  
社会的ニーズについて



グラフ5：「情報学研究科（仮称）」  
養成人材の採用意向



### ③京都橘大学大学院「情報学研究科（仮称・設置構想中）」について・2

#### Point 4

回答を得た17業種のうち、京都橘大学大学院「情報学研究科（仮称）」が養成する人材について全17業種の企業が社会的ニーズを認め、16業種の企業が採用意向を示す。

京都橘大学大学院「情報学研究科（仮称・設置構想中）」の養成する人材の社会的ニーズ、採用意向について、回答を得た業種別にクロス集計を行った。

結果、回答のあった17業種（「その他」は1業種でカウント）のうち、全17業種で「情報学研究科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズを認める企業が存在した。加えて、17業種のうち16業種で採用意向を示す企業があった。

このように「情報学研究科（仮称）」が養成する人材については、情報関連業にとどまらず幅広い業種においてその社会的ニーズを認めるとともに採用意向が示されることが確認できた。

**表 1： 回答業種別にみた「情報学研究科（仮称）」  
養成人材の社会的ニーズ・採用意向**

業種	回答数	ニーズは極めて高い	ニーズはある程度高い	ニーズは高い	採用したい
建設業	5	0	4	4	2
製造業	11	7	1	8	5
通信業	2	2	0	2	1
放送業、情報サービス業	13	5	5	10	10
インターネット付随サービス業	2	0	1	1	1
運輸業、郵便業	6	2	4	6	4
卸売業	6	1	4	5	2
小売業	18	6	8	14	10
金融業、保険業	2	1	1	2	2
不動産業、物品賃貸業	2	0	1	1	1
学術研究、専門・技術サービス業	2	0	2	2	1
宿泊業、飲食サービス業	10	4	2	6	6
教育、学習支援業	1	0	1	1	0
医療、福祉	8	3	3	6	1
複合サービス事業	1	0	1	1	0
上記以外サービス業	5	2	2	4	2
その他	3	3	0	3	2
合計	97	36	40	76	50

#### ④京都橘大学大学院「情報学研究科（仮称・設置構想中）」について・3

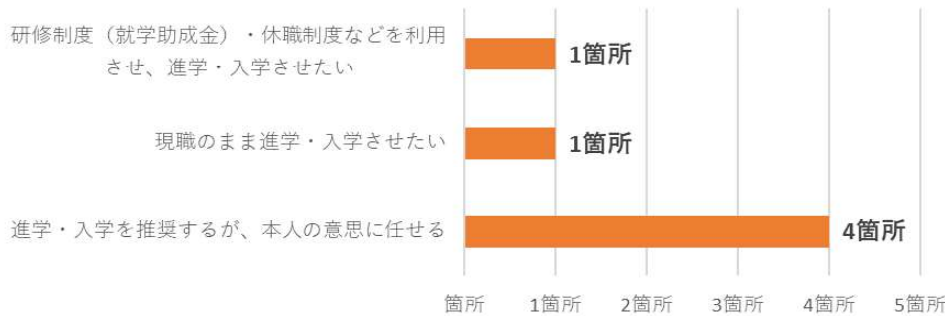
##### Point 5

自社で勤務する人材に対し6箇所(6.2%)が京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称)」への進学を推奨し、情報学の専門知識を身につけさせることに関心を抱く。

回答企業が自社で勤務する人材に対し、京都橘大学大学院「情報学研究科（仮称・設置構想中）」への進学・入学推奨の有無について回答を求めた。

結果、「研修制度(就学助成金)・休職制度を利用させ、進学・入学させたい」「現職のまま進学・入学させたい」が各1箇所、「進学・入学を推奨するが、本人の意志に任せる」が4箇所であった。合計すると97箇所中6箇所(6.2%)が自社で勤務する人材に対し、京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称)」への進学を推奨し、情報学の専門能力を身につけさせることに関心を抱いていることが明らかとなった。

**グラフ6：「情報学研究科（仮称）」への  
進学推奨意向**





## 京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称・設置構想中)」 設置構想についての人材需要アンケート調査

(対象：人事・採用ご担当者様)

京都橘大学は2024年度、大学院「情報学研究科(仮称)」の設置を構想しています。本学ではこのアンケート調査を通して、将来、修了生の採用をご検討いただく皆様からさまざまなご意見をお聞きし、構想内容に反映したいと考えています。ご回答いただいた皆様から得られた情報は、京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称)」設置構想に係る統計資料としてのみに活用いたします。アンケート調査へのご協力を、謹んでお願い申し上げます。

※このアンケート調査は京都橘大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

記入例を参考にご回答ください。



問1 貴社・貴機関の主業種として、最もあてはまるものをお答えください。（最もあてはまるもの1つにマーク）

- |  |                                       |   |
|--|---------------------------------------|---|
| <input type="radio"/> 農業、林業、漁業、鉱業              | <input type="radio"/> 建設業             | <input type="radio"/> 製造業：製造品目 <input type="text"/> |
| <input type="radio"/> 電気、ガス、熱供給、水道業            | <input type="radio"/> 通信業             | <input type="radio"/> 放送業、情報サービス業                   |
| <input type="radio"/> インターネット付随サービス業           | <input type="radio"/> 映像・音声・文字情報制作業   | <input type="radio"/> 運輸業、郵便業                       |
| <input type="radio"/> 卸売業                      | <input type="radio"/> 小売業             | <input type="radio"/> 金融業、保険業                       |
| <input type="radio"/> 不動産業、物品賃貸業               | <input type="radio"/> 学術研究、専門・技術サービス業 | <input type="radio"/> 宿泊業、飲食サービス業                   |
| <input type="radio"/> 生活関連サービス業、娯楽業            | <input type="radio"/> 教育、学習支援業        | <input type="radio"/> 医療、福祉                         |
| <input type="radio"/> 複合サービス事業                 | <input type="radio"/> 上記以外サービス業       | <input type="radio"/> 公務                            |
| <input type="radio"/> その他 <input type="text"/> |                                       |   |

問2 貴社・貴機関の従業員・職員数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- ~99人  100~299人  300~499人  500~999人  1,000~2,999人  3,000~9,999人  10,000人~

問3 貴社の本社、貴機関の主たる事業所の所在地をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 京都府  大阪府  滋賀県  奈良県  兵庫県  和歌山県
- その他

以降は京都橘理科大学が設置構想中の大学院「情報学研究科(仮称)」の概要（別紙）をご覧ください。

問4 京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科(仮称)」が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- ニーズは極めて高い  ニーズはある程度高い  ニーズはあまりない  ニーズは全くない  わからない





問 5 京都橘大学が設置構想中の大学院「情報学研究科(仮称)」が養成する人材を、貴社・貴機関において採用したいと思われますか。  
(あてはまるもの1つにマーク)

- 採用したい       採用しない       わからない

問 6 貴機関・貴施設で勤務されている人材を京都橘大学大学院「情報学研究科(仮称)」で学ばせるために、進学・入学させるご意向についてお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- 研修制度(就学助成金)・休職制度などを利用させ、進学・入学させたい  
 現職のまま進学・入学させたい  
 進学・入学を推奨するが、本人の意思に任せる  
 進学・入学を推奨する予定はない  
 わからない

問 7 京都橘大学が設置構想中の「情報学研究科(仮称)」について期待される点、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。



# 京都橋大学 2024年4月開設に向け、設置構想中

## 大学院 情報学研究科 情報学専攻 修士課程 (仮称)

本研究科の概要

名称：情報学研究科 情報学専攻 修士課程(仮称)  
開設時期：2024(令和6)年4月(予定)  
開設場所：京都橋大学(〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34)  
修業年限：2年  
入学定員：10名を予定(収容定員:20名を予定)  
取得学位：修士(工学)

### ◆「情報学研究科(仮称)」の対象者 & 修了後のイメージ

例1 情報工学科(他大学含む)卒業生

修了後は… 学士レベルで身につけた体系的な知識をベースに、社会で実践的に活用できる先進的な知識・技能を修得し活躍。

例2 情報系企業等で働く、あるいは情報技術の事業への活用を志向する一般企業の社会人

修了後は… 情報学の基礎的な知識と業務経験をベースに社会に対応した先進的な知識・技能を身につけ、  
① 自組織や事業の課題について具体的なソリューションを考案・計画・実装。  
② 自身のキャリアをステップアップ。

### ◆「情報学研究科(仮称)」の養成する人材・特色

情報分野の専門的知識・技術とそれらを実践する力を修得し、社会における課題解決・価値創造に貢献することのできる人材を養成します。

そのために、本研究科では共通領域、専門領域（基盤情報学・応用情報学）、課題研究の3領域を設け、専門的知識・技術とそれらの実践までを一貫して学び、研究課題に取り組みます。

\*仕事と両立がしやすいよう、オンラインによる指導・授業を一部予定しています。

研究課題

教員の指導のもと、具体的な研究課題に取り組み、専門性やその実践力の定着を図る。

専門領域

#### 応用情報学

基盤的技術を応用して様々な分野の価値創造に取り組む知識・技術  
(グラフィックス、ロボティクス、セキュリティ、パターン認識等)

#### 基盤情報学

情報分野の基盤となる情報ネットワークの構築と運用に関する知識・技術  
(ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークやこれらの横断的技術等)

領域共通

- 研究科で学ぶための導入的知識・技術
- 情報分野の専門性を社会で実践・活用するための知識・技術

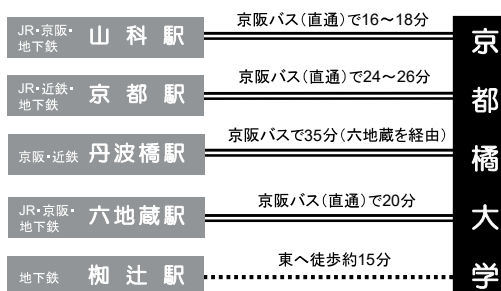
情報学研究科(仮称)の特色

初年度学費(他大学をきむ)

大学院・研究科名 (所在地)	入学金	初年度 合計
	授業料他	
京都橋大学大学院 情報学研究科(仮称) (京都市山科区)	200,000円	1,000,000円
	800,000円	
龍谷大学院大学院 理工学研究科 情報メディア学専攻 (滋賀県大津市)	200,000円	1,094,600円
	894,600円	
京都産業大学大学院 先端情報学研究科 (京都市北区)	200,000円	1,168,000円
	968,000円	

- ※ 京都橋大学大学院 情報学研究科(仮称)の学費は予定のものです。
- ※ 他大学大学院の学費は各大学ホームページ掲載情報に基づきます。(2022年7月時点)
- ※ いずれの大学院も諸会費を含みません。
- ※ 他大学大学院の入学金は学外から入学の場合となります。

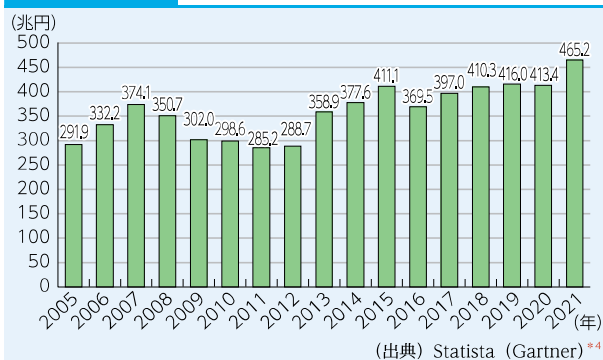
アクセス



- 山科・京都・丹波橋・六地藏の各駅からキャンパスまで乗り換えなしの直通バスが運行されています。
- 京都市営地下鉄の「柳辻(なぎつじ)駅」からは徒歩約15分です。

上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

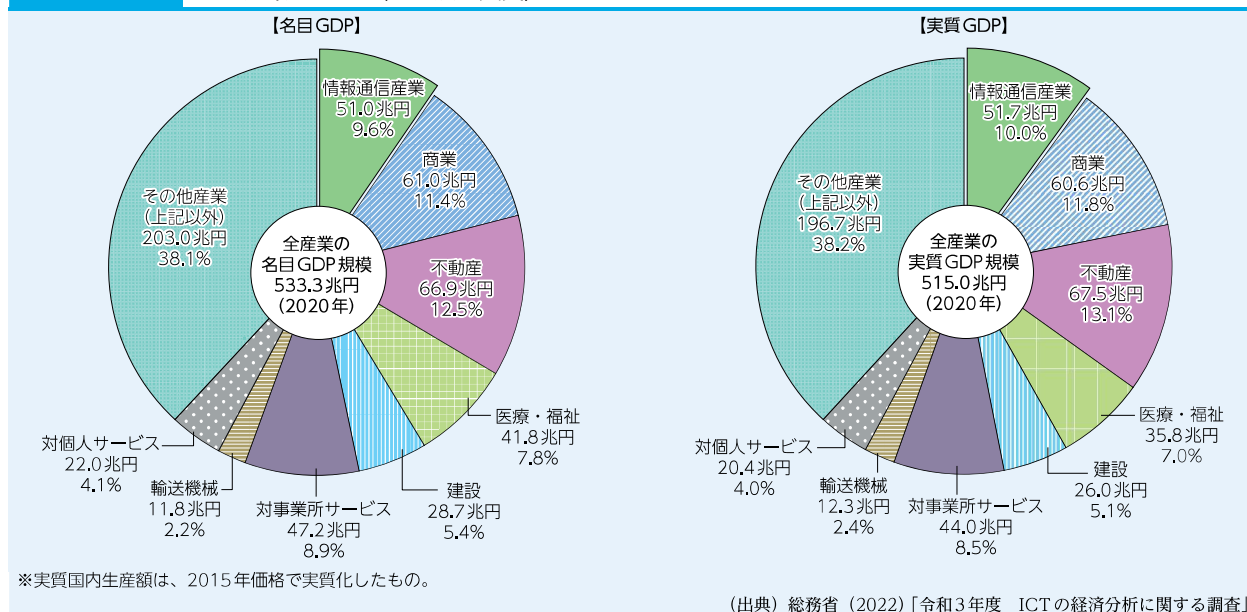


図表3-1-1-2 世界のICT市場規模（支出額）の推移<sup>\*3</sup>図表3-1-1-3 日本の民間ICT市場規模（ICT投資額）の推移及び予測<sup>\*5</sup>

## 2 情報通信産業<sup>\*7</sup>の国内総生産（GDP）

2020年の情報通信産業の名目GDPは51.0兆円であり、前年（52.3兆円）と比較すると2.5%の減少となった（図表3-1-2-1、図表3-1-2-2）。

図表3-1-2-1 主な産業のGDP（名目及び実質）



<sup>\*3</sup> ICT市場には、データセンターシステム、エンタープライズソフトウェア、デバイス、ICTサービス、通信サービスが含まれる。

<sup>\*4</sup> <https://www.statista.com/statistics/203935/overall-it-spending-worldwide/>

<sup>\*5</sup> ICT市場には、国内民間企業のICT投資（ハードウェア、スクラッチ開発やパッケージ導入（カスタマイズを含む）などのソフトウェア、保守関連や運用管理・アウトソーシングなどのサービス、ASP・クラウドなどのオンライン・サービス、回線利用料、その他コンサルティングなど）が含まれる。

<sup>\*6</sup> [https://www.yano.co.jp/press-release/show/press\\_id/2856](https://www.yano.co.jp/press-release/show/press_id/2856)

<sup>\*7</sup> 情報通信産業の範囲は、「通信業」、「放送業」、「情報サービス業」、「インターネット附随サービス業」、「映像・音声・文字情報制作業」、「情報通信関連製造業」、「情報通信関連サービス業」、「情報通信関連建設業」、「研究」の9部門としている。

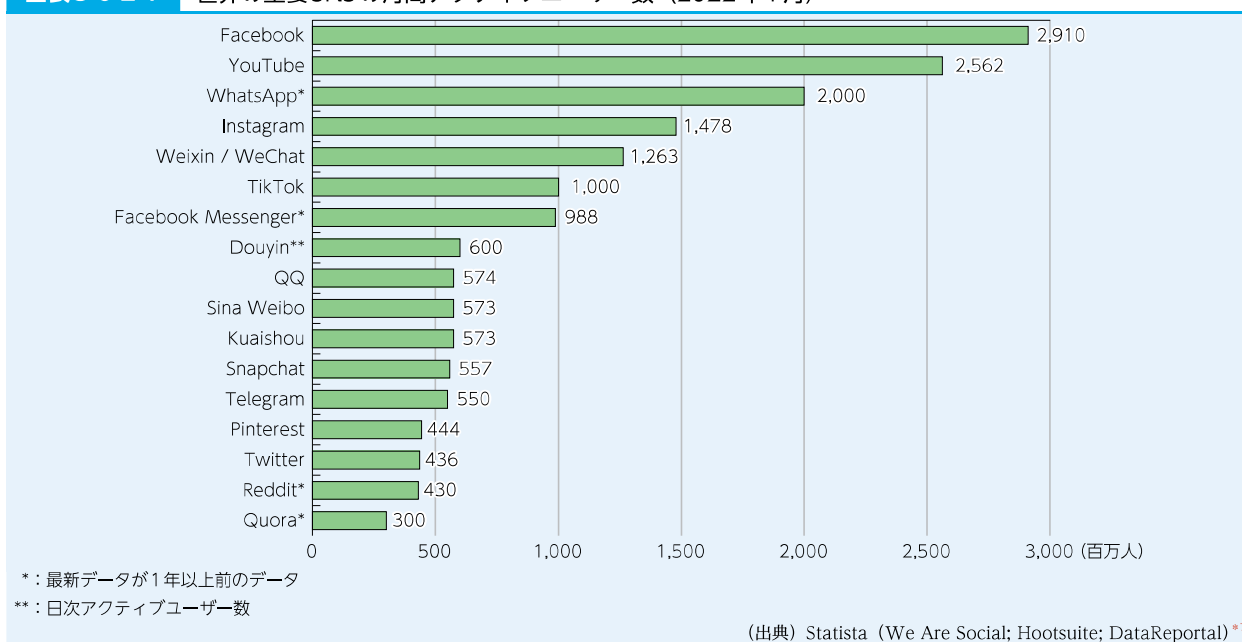
## 資料23 データで見る世界のITエンジニアレポート

出典 ヒューマンリソシアホールディングスHP

引用範囲 <https://www.athuman.com/news/2021/12531/>

説明 ヒューマンリソシア株式会社調査結果から図表①・図表④を抜粋

図表3-6-2-1 世界の主要SNSの月間アクティブユーザー数(2022年1月)



### 3 EC

世界のEC市場の売上高は、2020年に新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で大きく増加し、2021年も堅調に推移して542.0兆円(前年比19.5%増)となっている。国別には、中国が178.4兆円と最も大きく、次いで米国101.7兆円、日本28.0兆円、ドイツ17.2兆円、英国16.6兆円、韓国13.7兆円となっている。



【関連データ】

世界のEC市場の売上高の推移及び予測、各国のEC市場の売上高の予測(2022年)  
 出典: Statista (eMarketer)、Statista [Digital Market Outlook]  
 URL: <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r04/html/nf306000.html> (データ集)

### 4 電子決済\*8

2020年の世界のモバイル決済(モバイルウォレット)での取引額は214.4兆円\*9となっており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う感染症対策やクーポン、ポイント付与などのメリットによって拡大が予想される。各国のモバイル決済での取引額を比較すると、中国が圧倒的に大きく、次いで米国となっており、日本は欧州諸国と同程度の規模になっている。

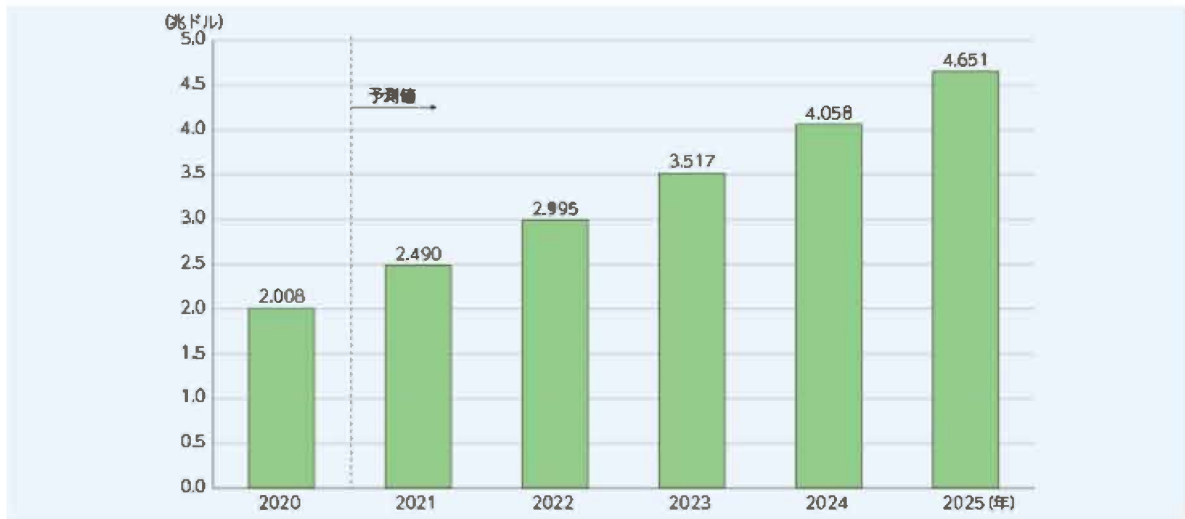


【関連データ】

世界のモバイル決済での取引額の推移及び予測、各国のモバイル決済での取引額(2020年)  
 出典: Statista [Digital Payments report 2021] ほか  
 URL: <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r04/html/nf306000.html> (データ集)

\*7 <https://www.statista.com/statistics/272014/global-social-networks-ranked-by-number-of-users/>  
 \*8 現金ではなく電子的なデータの送受によって決済する方式。  
 \*9 2020年が調査初年度であり前年比はなし。

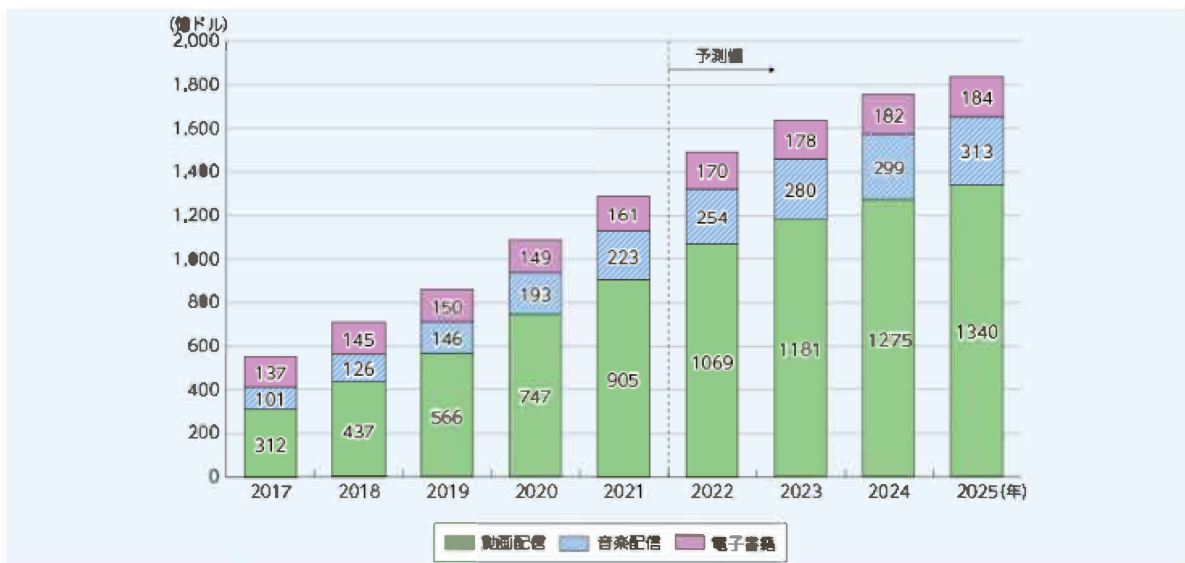
## 8. 世界のモバイル決済での取引額の推移及び予測



(出典) Statista「Digital Payments report 2021」

図

## 12. 世界の動画配信・音楽配信・電子書籍の市場規模の推移及び予測 | 白書掲載番号(3-6-6-1)



(出典) Statista, Statista「Digital Market Outlook」

## 5 検索サービス

検索エンジンの世界市場はGoogleが85%以上のシェアを誇っているものの、近年は徐々に低下してきており、Bingのシェアが僅かに拡大している。日本では、パソコン・スマートフォンともにGoogleが最も多いものの、スマートフォンではYahoo!も20%程度のシェアを占めている。

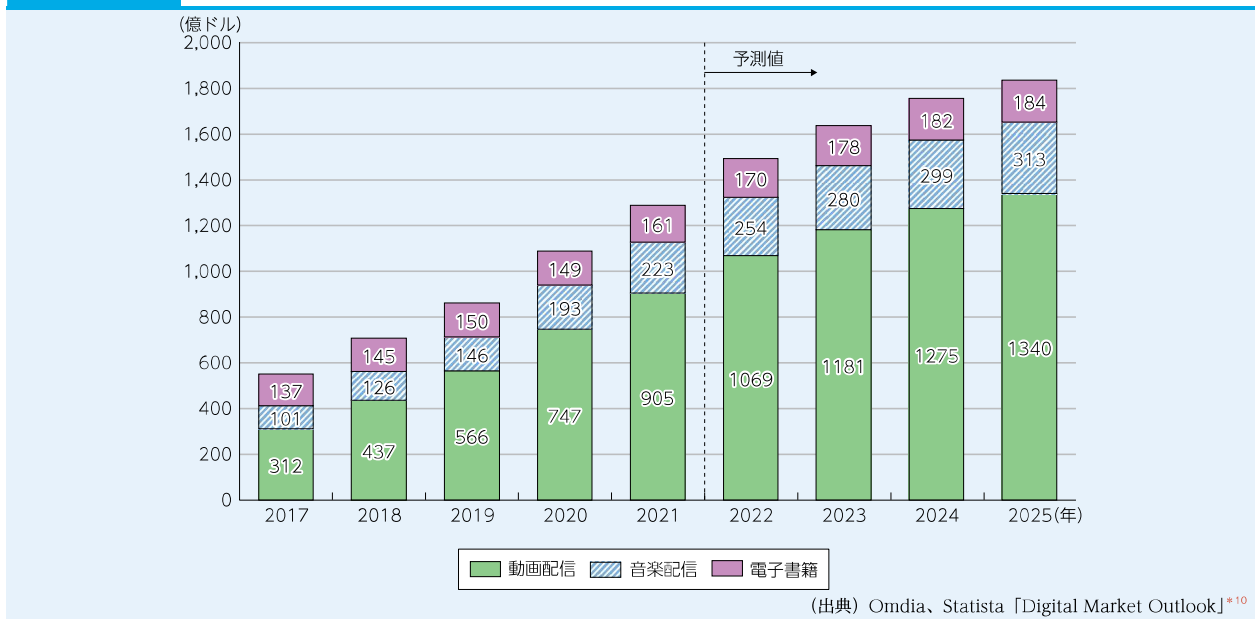


【関連データ】  
 世界における検索エンジンのシェアの推移、日本における検索エンジンのシェア（利用端末別）  
 出典：Statista (StatCounter)  
 URL：https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r04/html/nf306000.html（データ集）

## 6 動画配信・音楽配信・電子書籍

世界の動画配信・音楽配信・電子書籍市場は、定額制サービスの普及や新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う巣ごもり需要の拡大などにより、2021年には合計で14兆1,452億円（前年比21.7%増）となっており（図表3-6-6-1）、日本では、2021年には合計で1兆171億円（前年比18.4%増）となっている。

図表3-6-6-1 世界の動画配信・音楽配信・電子書籍の市場規模の推移及び予測



個別の市場をみると、2021年には、世界の動画配信市場は9兆9,310億円（前年比24.5%増）、音楽配信市場は2兆4,462億円（前年比18.6%増）、電子書籍市場は1兆7,680億円（前年比11.5%増）となっており、いずれの市場も成長している。日本の動画配信市場は4,614億円（前年比19.0%増）、音楽配信市場は895億円（前年比14.3%増）、電子書籍市場は4,662億円（前年比18.6%増）となっており、世界の動向と同じく、いずれの市場も成長している。

\*10 <https://www.statista.com/forecasts/1294207/ebook-market-revenue-worldwide>



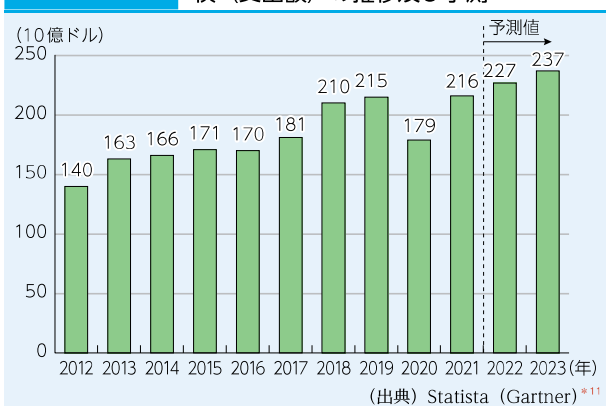
【関連データ】  
日本の動画配信・音楽配信・電子書籍市場規模の推移  
出典：GEM Partners、一般社団法人日本レコード協会、全国出版協会・出版科学研究所ほか  
URL：https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r04/html/nf306000.html（データ集）

## 7 データセンター市場の動向

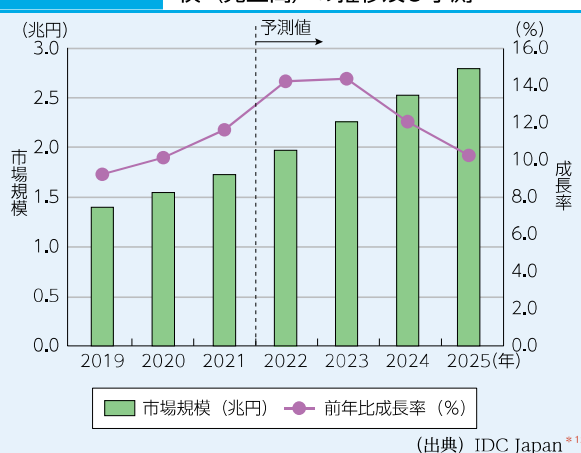
世界の大規模データセンターの数は、増加傾向が継続し、2021年第3四半期末におよそ700にまで増加している。世界のデータセンター容量に占める割合は、米国が49%とほぼ半分を占めており、次いで欧州・中東・アフリカ地域（19%）、中国（15%）、中国以外のアジア・太平洋地域（13%）となっている。

世界のデータセンターシステムの市場規模（支出額）は、2021年に23兆7,069億円（前年比24.0%増）となっている（図表3-6-7-1）。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で2020年は一時的に減少に転じたものの、2021年は2019年とほぼ同じ水準に戻っている。日本のデータセンターサービスの市場規模（売上高）は、2021年に1兆7,341億円（前年比11.6%増）となっている（図表3-6-7-2）。

図表3-6-7-1 世界のデータセンターシステム市場規模（支出額）の推移及び予測



図表3-6-7-2 日本のデータセンターサービス市場規模（売上高）の推移及び予測



【関連データ】  
世界の大規模データセンター数の推移  
出典：Synergy [Hyperscale Data Center Capacity Doubles in Under Four Years; the US Still Accounts for Half]  
URL：https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r04/html/nf306000.html（データ集）

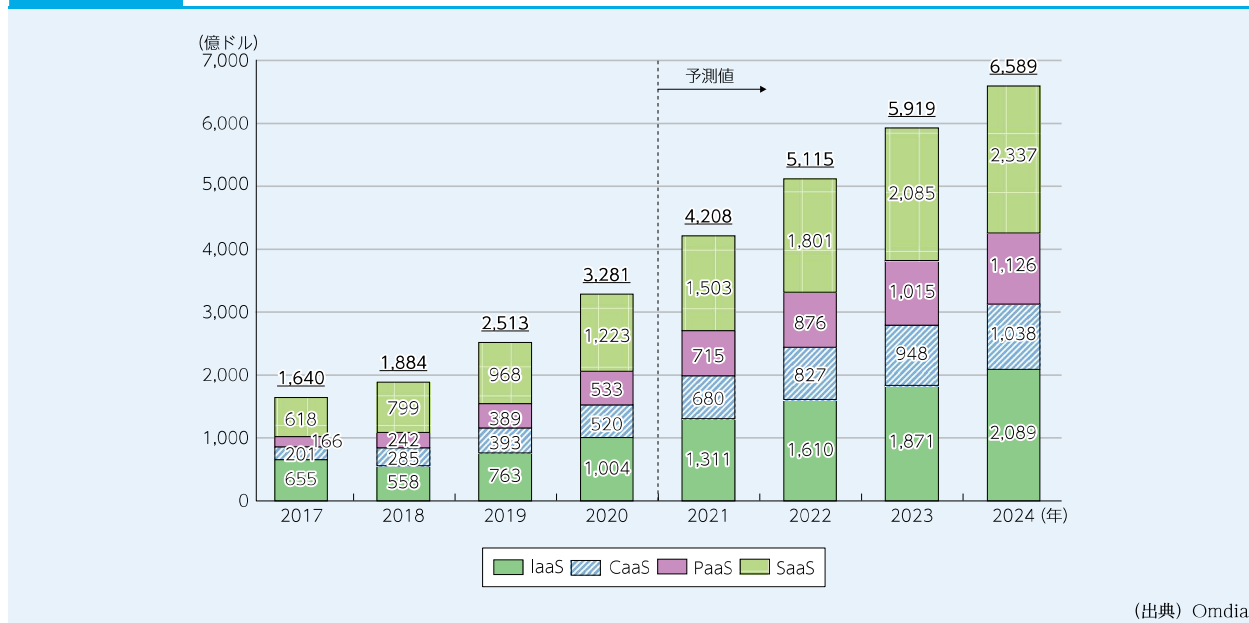
## 8 クラウドサービス市場の動向

世界のパブリッククラウドサービス市場は、2020年は35兆315億円（前年比27.9%増）となっている（図表3-6-8-1）。特にPaaS市場が成長しており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けた企業活動で重要な役割を果たしたと考えられる。

\* 11 <https://www.statista.com/statistics/314596/total-data-center-systems-worldwide-spending-forecast/>

\* 12 <https://www.idc.com/getdoc.jsp?containerId=prJP48272821>

図表3-6-8-1 世界のパブリッククラウドサービス市場規模（売上高）の推移及び予測<sup>\*13</sup>



世界のパブリッククラウドサービス市場は、2021年上期は上位5社（Microsoft、Amazon、IBM、Salesforce、Google）が全体の48.1%を占めており、寡占化が進んでいる。

日本のパブリッククラウドサービス市場は、2021年は1兆5,879億円（前年比28.5%増）となっており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機としたオフィスの移転・縮小に伴うクラウドへの移行やDX（デジタル・トランスフォーメーション）、データ駆動型ビジネスを進めるためにクラウドを活用したICT基盤の強化が進むことなどによって今後も拡大が予想される。



【関連データ】

世界のパブリッククラウドサービス市場のシェア、日本のパブリッククラウドサービス市場規模（売上高）の推移及び予測  
 出典：Omdia、IDC Japan  
 URL：<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r04/html/nf306000.html>（データ集）

9 AI

1 市場概況

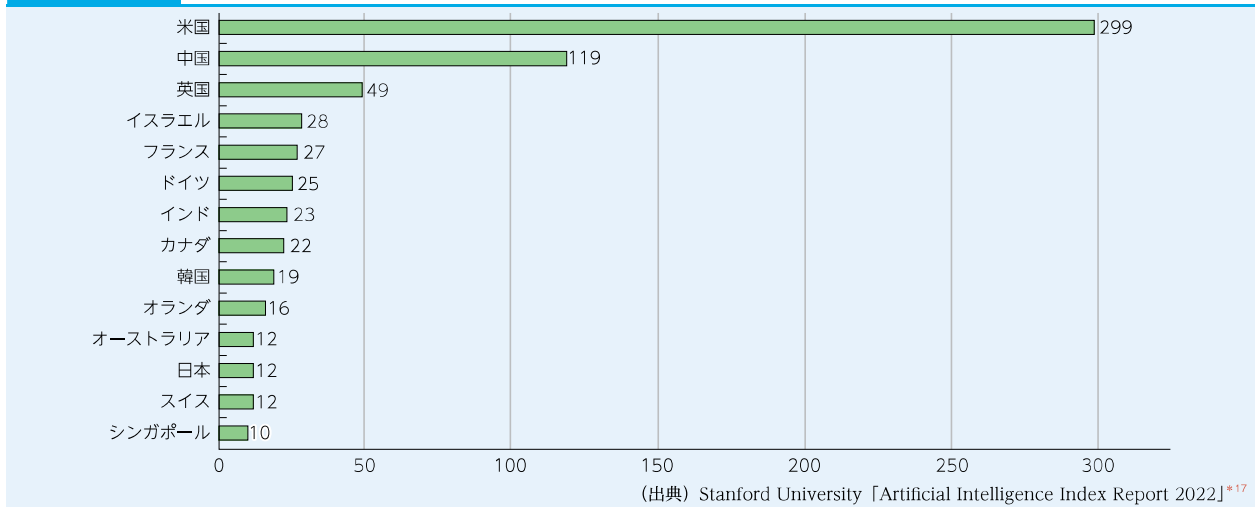
世界のAIに関連するソフトウェアの市場規模は、2021年の売上高3,827億円から2022年には前年比55.7%増の5,957億円まで成長すると見込まれている<sup>\*14</sup>。

また、AIのユースケースや機能として、画像認識や音声認識、テキスト・マイニングなどがある。ITRの調査によれば、機械学習プラットフォーム、時系列データ分析、検索・探索、翻訳、テキスト・マイニング/ナレッジ活用、音声合成、音声認識、画像認識のAI主要8市場全体の日本の2020年度の売上金額は前年度比19.9%増の513億3,000万円となり、2025年度には1,200億円に達すると予測されている（図表3-6-9-1）。市場別では、AI環境の自作を支援する機械学習プラットフォームの増加が最も見込まれる。

<sup>\*13</sup> IaaS (Infrastructure as a Service)：インターネット経由でハードウェアやICTインフラを提供。  
 CaaS (Cloud as a Service)：クラウド上で他のクラウドのサービスを提供。  
 PaaS (Platform as a Service)：インターネット経由でアプリケーションを実行するためのプラットフォームを提供。  
 SaaS (Software as a Service)：インターネット経由でソフトウェアパッケージを提供。

<sup>\*14</sup> <https://www.statista.com/statistics/941835/artificial-intelligence-market-size-revenue-comparisons/>

図表 3-6-9-2 新たに資金調達を受けたAI企業数 (国別・2021年)

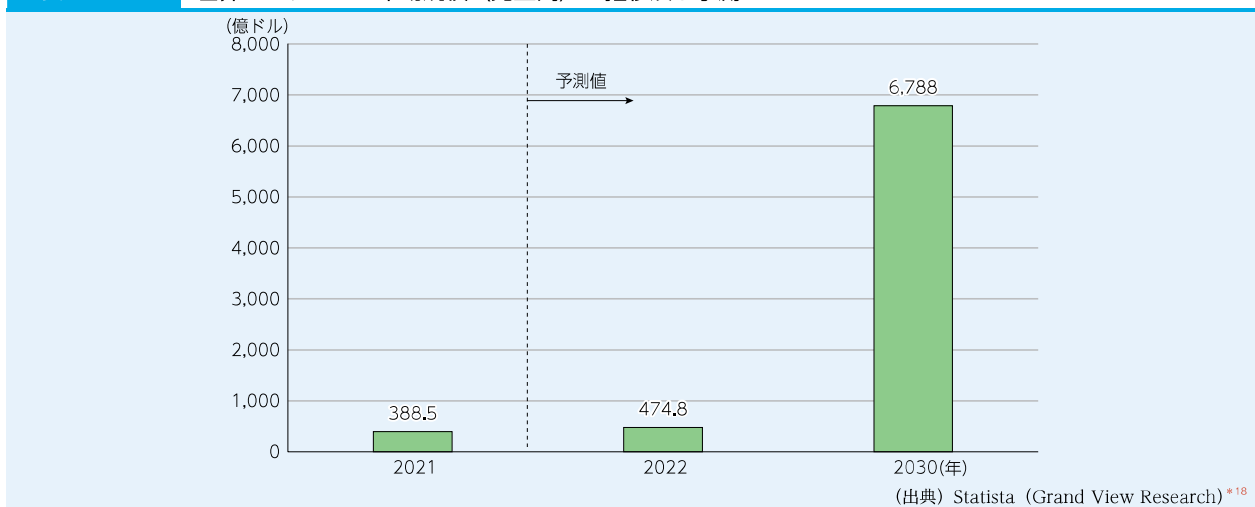


【関連データ】  
 世界のAI関連主要事業者、中国のAI市場支出予測  
 出典：IDC: Worldwide Artificial Intelligence Spending Guide 2022V1ほか  
 URL：https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r04/html/nf306000.html (データ集)

## 10 仮想空間市場など

メタバースは、インターネット上の仮想空間であり、利用者はアバターを操作して他者と交流するほか、仮想空間上での商品購入などの試験的なサービスも行われている。技術の進展とサービス開発によって、メタバースの世界市場は2021年に4兆2,640億円だったものが2030年には78兆8,705億円まで拡大すると予想されている(図表3-6-10-1)。メディアやエンターテインメントだけではなく、教育、小売りなど様々な領域での活用が期待されている。

図表 3-6-10-1 世界のメタバース市場規模(売上高)の推移及び予測



\* 17 [https://aiindex.stanford.edu/wp-content/uploads/2022/03/2022-AI-Index-Report\\_Master.pdf](https://aiindex.stanford.edu/wp-content/uploads/2022/03/2022-AI-Index-Report_Master.pdf)

\* 18 <https://www.statista.com/statistics/1295784/metaverse-market-size/>



## 資料25 国内情報通信業の外国人雇用事業所数及び外国人労働者数

項目	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
事務所数	9,247 カ所	10,037 カ所	11,058 カ所	11,912 カ所	12,180 カ所
外国人労働者数	52,038 人	57,520 人	67,540 人	71,284 人	70,608 人

出典：厚生労働省 産業別・外国人雇用事業所数及び外国人労働者数 2017～2021年版より作成